



Satera

LBP162 / LBP162L / LBP161

ユーザーズガイド

もくじ

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	9
消耗品について	10
セットアップ	14
おもな機能のご紹介	15
お使いになるために必要な作業	16
不正アクセス防止対策について	17
設定ナビでセットアップする	19
日付／時刻を設定する	20
ネットワーク環境を設定する	22
有線 LAN か無線 LAN かを選択する	24
有線 LAN に接続する	25
無線 LAN に接続する	26
WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）	28
WPS PIN コード方式で設定する	30
無線 LAN ルーターを選んで設定する	32
すべて入力して設定する	35
SSID やネットワークキーを確認する	38
IP アドレスを設定する	39
IPv4 アドレスを設定する	40
IPv6 アドレスを設定する	43
ネットワークの設定を確認する	46
パソコンとの通信設定をする	48
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	49
印刷ポートの設定をする	51
プリントサーバーを設定する	55
使用するネットワーク環境に合わせる	58
Ethernet の設定をする	59
送信パケットの最大サイズを変更する	61
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	62
DNS の設定をする	63
SNMP で監視／制御する	67
SNTP の設定をする	71
ドライバーをインストールする	73
基本操作	75
各部の名称とはたらき	77
本体前面	78

本体背面	80
手差しトレイ	81
給紙カセット	82
操作パネル	83
電源を入れる	85
電源を切る	86
操作パネルを使う	87
おもな画面	88
ホーム画面	89
<状況確認>画面	90
メッセージ表示	92
おもな操作方法	93
文字を入力する	95
用紙をセットする	96
給紙カセットにセットする	98
手差しトレイにセットする	101
封筒・はがきをセットする	104
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	109
用紙サイズと種類を設定する	111
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	112
手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する	113
定形外サイズの用紙を登録する	115
用紙サイズを絞り込んで表示する	116
静音モードにする	117
スリープモードにする	119
プリントする	121
パソコンから印刷する	122
印刷を中止する	124
印刷状況や履歴を確認する	126
モバイル機器と連携する	129
モバイル機器と接続する	130
無線 LAN ルーターを介して接続する (LAN 接続)	131
ダイレクト接続する (アクセスポイントモード)	132
アプリを使って本機を活用する	135
AirPrint を使う	136
AirPrint で印刷する	140
AirPrint を使用できないときは	143
Google Cloud Print を使う	144
本機を遠隔管理する	146
本機を管理する	148
アクセス権限を設定する	150

システム管理暗証番号を設定する	151
リモート UI の暗証番号を設定する	153
ネットワークセキュリティを設定する	155
ファイアウォールで通信制限する	157
IP アドレスでファイアウォールを設定する	158
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	161
ポート番号を変更する	163
プロキシを設定する	164
TLS 用の鍵と証明書を設定する	166
ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する	168
鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する	171
ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する	174
IEEE 802.1X 認証の設定をする	176
機能を制限する	180
USB の使用を制限する	181
HTTP 通信を無効にする	182
リモート UI を無効にする	183
パソコンから本機を管理する (リモート UI)	184
リモート UI を起動する	185
状況や履歴を確認する	188
本機の設定を変更する	193
ファームウェアをアップデートする	196
設定を初期化する	199

設定メニュー一覧 202

<ダイレクト接続>	203
<ネットワーク設定>	204
<レポート出力>	214
<環境設定>	215
<タイマー設定>	218
<共通設定>	221
<プリンター設定>	223
<用紙設定(モバイル)>	225
<調整/メンテナンス>	226
<システム管理設定>	231

メンテナンス 238

日常のお手入れ	240
本体外部を清掃する	241
定着器を清掃する	242
トナーカートリッジを交換する	243
ドラムカートリッジを交換する	247
消耗品の残量を確認する	251
本機を移動する	252

印刷ページ数を確認する	254
レポートやリストを印刷する	255
無償保証や保守サービスについて	257
無償保証について	258
キヤノンサービスパック (CSP)	259
キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG)	261
消耗品	263

困ったときは 267

よくあるトラブル	269
設置／設定のトラブル	270
印刷 (プリント) のトラブル	274
正しく印刷できない	277
きれいに印刷できない	279
用紙がしわになったり、カールしたりする	288
用紙が正しく送られない	290
メッセージや#で始まる番号 (エラーコード) が表示される	291
メッセージごとの対処方法	292
エラーコードごとの対処方法	302
紙が詰まったら	303
本体内部に用紙が詰まった	304
トラブルが解決しないときは	308

付録 310

第三者のソフトウェアについて	311
活用術	312
節約してエコロジー	313
効率アップの使いこなし術	314
まだあるこんな使い方	315
おもな仕様	317
本体	318
用紙について	321
プリント機能	324
管理機能	325
サポート環境	326
ネットワーク環境	327
オプション機器について	329
マニュアルの種類と内容	330
ユーザーズガイドの使いかた	331
ユーザーズガイドの画面構成	332
ユーザーズガイドの読みかた	335
Windows の基本操作	337
メニュールートマップ	345

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	9
消耗品について	10

安全にお使いいただくために

423Y-000

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

- 設置について(P. 3)
- 電源について(P. 5)
- 取り扱いについて(P. 7)
- 保守／点検について(P. 9)
- 消耗品について(P. 10)

設置について

423Y-001

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐおそれのある場所
(壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上等)
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光のあたる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注意

次のような場所には設置しない

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
 - 不安定な場所
 - 振動のある場所



その他の注意

- 本機を持ち運ぶときは、マニュアルの指示に従って正しく持ってください。誤った持ち方をすると、落とすなどして、けがの原因になることがあります。
- 本機を設置する場合は、床面や壁との間などに手を挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

注意

風通しの悪い場所には設置しない

- 本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。



次のような場所には設置しない

- 故障の原因になることがあります。
 - 急激な温度変化や湿度変化がある場所
 - 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
 - 実験室など、化学反応が生ずる場所
 - 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
 - 本機の重みによってゆがみや沈みが生じる可能性がある場所（じゅうたん／畳の上など）



結露の発生する場所には設置しない

- 部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

海拔 3000 m 以上の高地の場合

- ハードディスクを搭載している製品は、高地（海拔 3000 m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について

423Y-002

警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードを用いて本機を確実にアース端子付きコンセントに接続してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

アース線を接続してください

- コンセントのアース端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。

- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電氣的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

取り扱いについて

423Y-003

警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機とパソコンの電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。



心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- 本機から微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなる場合がありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。

⚠️ 注意



レーザー光について

- 万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

⚠️ ご注意

移転や引っ越しなどで本機を輸送するとき

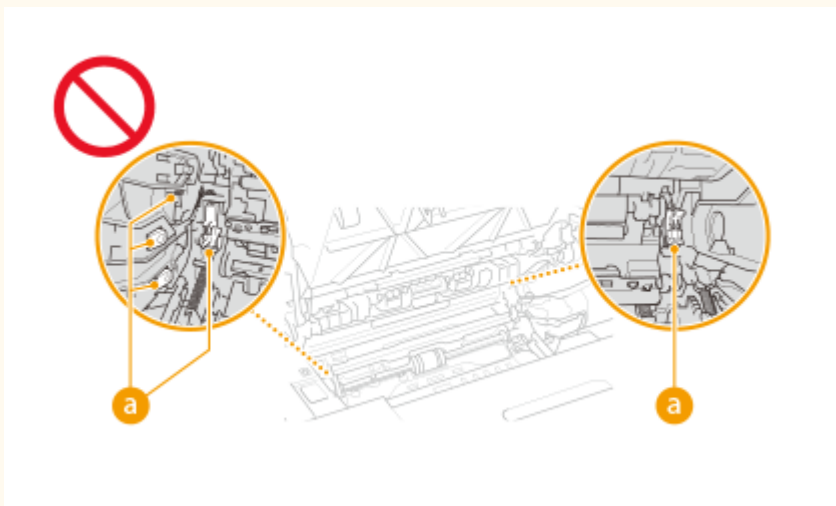
- 輸送中の破損や故障を避けるため、次のようにしてください。
 - トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを取り外す
 - 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

稼働音が気になる場合

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

その他の注意事項

- 本機にあるラベルなどの注意表示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体内部の接点部（a）に触れないでください。故障の原因になることがあります。



- 印刷中は電源を切らないでください。また、カバーの開閉、用紙の出し入れも行わないでください。紙づまりの原因となります。

保守／点検について

423Y-004

定期的には本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。

お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、**▶困ったときは(P. 267)** を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

ご注意

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

消耗品について

423Y-005

警告

- トナーカートリッジなどを火中に投げないでください。また、トナーカートリッジまたはドラムカートリッジや用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になることがあります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れ、医師にご相談ください。

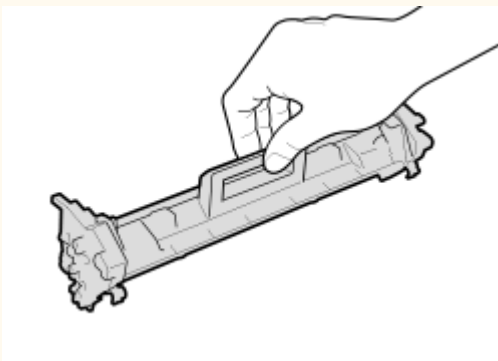
注意

- トナーを吸い込まないように注意してください。万一、吸い込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーが目や口などに入らないように注意してください。万一、トナーが目や口などに入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーが皮膚に付着しないように注意してください。万一、皮膚に付着した場合は、石鹸を使って水で洗い流してください。皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを分解、改造しないでください。トナーが飛び散ることがあります。

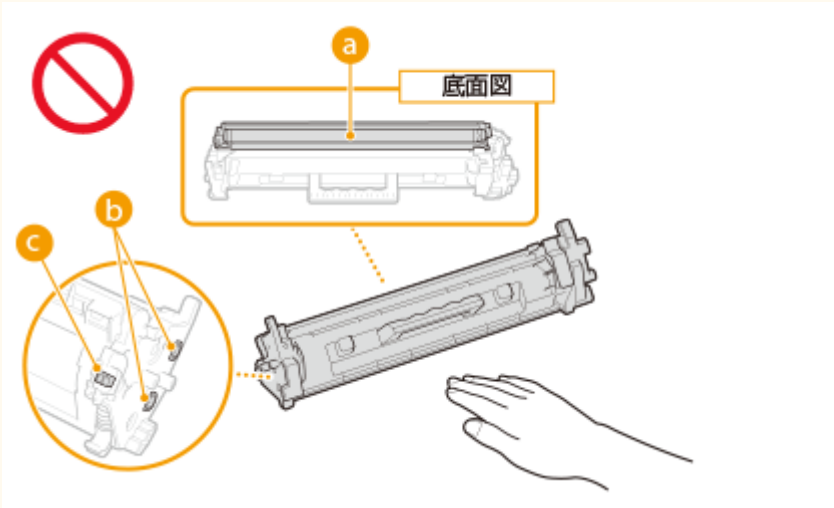
ご注意

トナーカートリッジの取り扱いかた

- 必ず取っ手を持ってください。



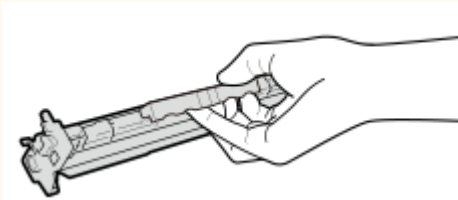
- トナー供給部 (a) や電気接点部 (b)、トナーカートリッジメモリー (c) には触れないでください。



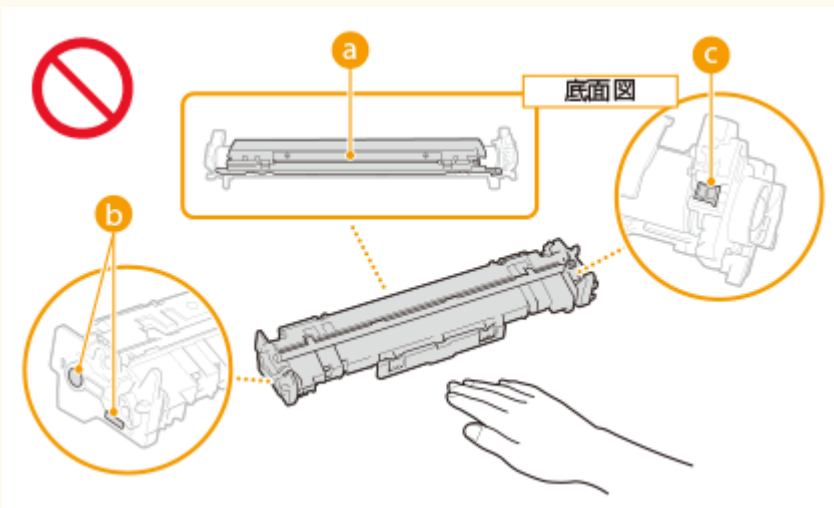
- 必要なとき以外は、梱包材や本機からトナーカートリッジを取り出さないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気が影響する製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

ドラムカートリッジの取り扱いかた

- 必ず取っ手を持ってください。



- 内部のドラム表面を傷つけたり、光にさらしたりしないよう、ドラム保護シャッター（**a**）は開けないでください。また、電気接点部（**b**）やドラムカートリッジメモリー（**c**）には触れないでください。



- 必要なとき以外は、梱包材や本機からドラムカートリッジを取り出さないでください。

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの保管方法

- 安全かつ快適にご使用いただくために、以下の環境で保管してください。
保管温度範囲：0～35℃
保管湿度範囲：35～85%RH（相対湿度／結露しないこと）*
- 使用する直前まで未開封の状態でご保管してください。
- 本機からトナーカートリッジまたはドラムカートリッジを取り外して保管する場合は、梱包材に入れてください。
- トナーカートリッジを保管する場合は、立てたり、裏返したり、逆さにしないでください。中のトナーが固まり、振っても元に戻らなくなる恐れがあります。

*保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあります（結露）。結露は印字品質に悪影響を及ぼします。

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを次のような場所に保管しない

- 火気のある場所
- 直射日光や電灯の光に5分以上当たる場所
- 空気中に塩分を多く含む場所
- 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
- 高温多湿の場所
- 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
- ホコリの多い場所
- 幼児の手の届く場所

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの偽造品に関するご注意

- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

global.canon/ctc

補修用性能部品とトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの保有期間

- 本機の補修用性能部品およびトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの梱包材について

- 梱包材は保管しておいてください。本機を移動するときなどに必要になります。
- 梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されたりすることがあります。

使用済みトナーカートリッジまたはドラムカートリッジなどを処分するとき

- 環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの回収にご協力ください（[資源再利用について\(P. 348\)](#)）。廃棄する場合は、梱包材に入れて中のトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

セットアップ

セットアップ	14
おもな機能のご紹介	15
お使いになるために必要な作業	16
不正アクセス防止対策について	17
設定ナビでセットアップする	19
日付／時刻を設定する	20
ネットワーク環境を設定する	22
有線 LAN か無線 LAN かを選択する	24
有線 LAN に接続する	25
無線 LAN に接続する	26
WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）	28
WPS PIN コード方式で設定する	30
無線 LAN ルーターを選んで設定する	32
すべて入力して設定する	35
SSID やネットワークキーを確認する	38
IP アドレスを設定する	39
IPv4 アドレスを設定する	40
IPv6 アドレスを設定する	43
ネットワークの設定を確認する	46
パソコンとの通信設定をする	48
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	49
印刷ポートの設定をする	51
プリントサーバーを設定する	55
使用するネットワーク環境に合わせる	58
Ethernet の設定をする	59
送信パケットの最大サイズを変更する	61
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	62
DNS の設定をする	63
SNMP で監視／制御する	67
SNTP の設定をする	71
ドライバーをインストールする	73

セットアップ

423Y-006

本機の各機能をお使いいただく前に、あらかじめ使用環境の設定が必要です。はじめにセットアップ完了までの一連の流れをご確認いただき、その上で実際の設定を行ってください。👉**お使いになるために必要な作業(P. 16)**



- お買い上げの機種によって搭載機能が異なります。あらかじめ、👉**おもな機能のご紹介(P. 15)** を参照してご使用になれる機能を確認してください。



本機の初期設定を行う（設定ナビ）

- 日付／時刻やネットワークの設定など、本機を使うために必要な初期設定を画面の案内に従ってかんたんに設定することができます。👉**設定ナビでセットアップする(P. 19)**

おもな機能のご紹介

423Y-007

本マニュアルは、お買い上げの機種シリーズすべての機能を網羅しております。はじめに、お買い上げの機種でどの機能が使えるのかをご確認ください。

○：機能あり ×：機能なし

機能	LBP162	LBP162L	LBP161
ディスプレイ	モノクロ液晶	モノクロ液晶	モノクロ液晶
両面印刷	○	○	○
有線 LAN	○	×	○
無線 LAN	○	○	×
ダイレクト接続	○	○	×
リモート UI	○	○	○
システム管理暗証番号の初期値	未設定	未設定	未設定



MEMO

- お使いになれるドライバーの種類は、付属の CD-ROM/DVD-ROM またはキヤノンホームページ (<https://global.canon>) で確認してください。



関連項目

- ユーザーズガイドの読みかた(P. 335)

お使いになるために必要な作業

423Y-008

Step 1～3の順で本機のセットアップを行います。リンクをクリックして該当するページを表示し、詳細を確認してください。また、本機を安全にお使いいただくために、**不正アクセス防止対策について(P. 17)** もあわせて確認してください。

Step 1

設定ナビでセットアップする



Step 2

ネットワーク環境を設定する

- 設定ナビに含まれていないネットワークの設定を行います。また、設定ナビを使わない場合は、ここからネットワークの設定を行ってください。



Step 3

ドライバーをインストールする



リモート UI から設定する

- ネットワーク環境の設定が完了したら、パソコンからリモート UI を使って本機を効率的に設定できるようになります。**リモート UI を起動する(P. 185)**

不正アクセス防止対策について

423Y-009

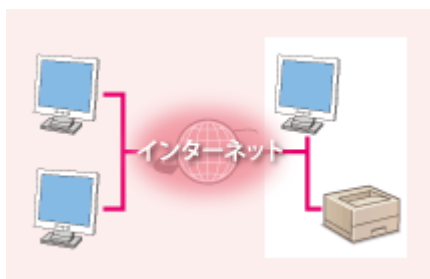
外部ネットワークからの不正アクセス防止対策について記載しています。本機や他のプリンター、複合機をネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前に必ずお読みください。近年のプリンターや複合機は、ネットワークに接続することでコンピューターから印刷やリモート操作をしたり、スキャンした原稿をインターネット経由で送信したりなど、さまざまな機能を利用できるようになっています。その反面、ネットワーク上では外部からの不正アクセスや盗聴による脅威にもさらされるため、情報漏えい等のセキュリティリスクへの対策が不可欠です。以降では、ネットワーク環境でプリンターや複合機を使用する際に必ず行っていただきたい不正アクセス対策のポイントについて説明します。

外部からの不正アクセス対策のポイント

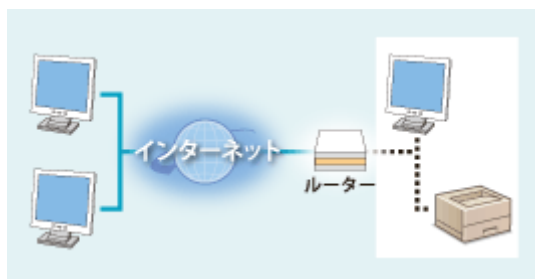
- ▶ **プライベート IP アドレスで運用する(P. 17)**
- ▶ **ファイアウォールで通信を制限する(P. 18)**
- ▶ **TLS 暗号化通信を設定する(P. 18)**
- ▶ **複合機が持つ情報を暗証番号で管理する(P. 18)**

プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」と呼びます。プリンター、複合機に設定されている IP アドレスがグローバル IP アドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベート IP アドレスが設定されているプリンター、複合機なら、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。



【グローバル IP アドレス】
外部からアクセス可



【プライベート IP アドレス】
ローカルエリア内でのみアクセス可

基本的には、プリンター、複合機の IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンター、複合機に設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかを確認してください。

■ プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

IP アドレスの確認手順については、▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 40)** を参照してください。



- プリンター、複合機にグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。プリンター、複合機にグローバル IP アドレスを設定して運用したいときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

ファイアウォールで通信を制限する

ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、ローカルエリア内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。お使いのネットワーク環境で、特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、危険と思われる外部からのアクセスをあらかじめ遮断できます。キヤノンのプリンター、複合機に搭載された機能でも IP アドレスのフィルタリングができます。IP アドレスのフィルタリングについては、**🔴IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 158)** を参照してください。

TLS 暗号化通信を設定する

TLS 通信については **🔴ネットワークセキュリティーを設定する(P. 155)** を、設定手順については **🔴TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 166)** を参照してください。

複合機が持つ情報を暗証番号で管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、プリンター、複合機が持つさまざまな情報を暗証番号で保護しておけば、情報漏えいによるリスクを大幅に軽減できます。キヤノンのプリンター、複合機は、さまざまな情報を暗証番号で保護できるようになっています。

■各機能の暗証番号設定

- リモート UI の暗証番号設定
詳細は、**🔴リモート UI の暗証番号を設定する(P. 153)** を参照のうえ、設定してください。
- システム管理項目の暗証番号設定
詳細は、**🔴システム管理暗証番号を設定する(P. 151)** を参照のうえ、設定してください。

上記は不正アクセス防止対策の一例です。その他の詳細は **🔴本機を管理する(P. 148)** を参照のうえ、お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。

設定ナビでセットアップする

423Y-00A

初めて本機に電源を入れたとき（▶**電源を入れる(P. 85)**）、画面に沿って本機の初期設定を行う設定ナビが始まります。設定ナビは、次の順番で設定画面が表示されます。

Step 1

日付時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。

- 1 日付と時刻を入力し、**OK** を押す

Step 2

アクセス保護対策を設定する

リモート UI へアクセスするための暗証番号を設定します。リモート UI はパソコンから本機の設定を変更できるため、暗証番号を設定することをおすすめします。

- 1 <はい>を選ぶ
 - <いいえ>を選ぶと、暗証番号を設定せずに Step 3 へ進みます。
 - リモート UI のアクセス保護対策は、あとで設定することもできます。▶**リモート UI の暗証番号を設定する(P. 153)**
- 2 暗証番号を入力し、<確定>を選ぶ
- 3 同じ暗証番号を入力し、<確定>を選ぶ

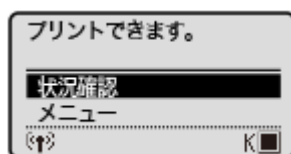
Step 3

無線 LAN を設定する

無線 LAN でネットワークに接続するための設定をします。

- 1 <はい>を選ぶ
 - <いいえ>を選ぶと、無線 LAN を設定せずに設定ナビを完了します。メッセージを確認し、**OK** を押してください。
- 2 <OK>を選ぶ
- 3 設定方式を選ぶ
 - 無線 LAN の設定について詳しくは、▶**無線 LAN に接続する(P. 26)** を参照してください。
- 4 メッセージを確認し、**OK** を押す

⇒⇒⇒ 設定ナビが完了すると、ホーム画面が表示されます。



日付／時刻を設定する

423Y-00C

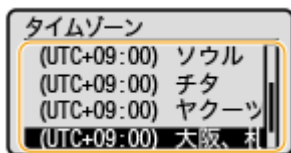
本機の日付と時刻を設定します。設定した日時は、時刻を指定する機能の基準として使われますので正確にセットしてください。

- ▶ **タイムゾーンを設定する(P. 20)**
- ▶ **現在日時を設定する(P. 20)**

タイムゾーンを設定する

タイムゾーンを変更すると、それに合わせて<現在日時の設定>で設定した値も自動的に変更されます。

- 1** ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ **ホーム画面(P. 89)**
- 2** <タイマー設定> ▶ <日付/時刻の設定> ▶ <タイムゾーン>の順に進む
- 3** タイムゾーンを選ぶ



UTC とは

- UTCとは世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本はUTCとの間に+9時間の時差があります。インターネットを介した通信では、正しく設定することが前提となっています。

現在日時を設定する

- 1** ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ **ホーム画面(P. 89)**
- 2** <タイマー設定> ▶ <日付/時刻の設定> ▶ <現在日時の設定>の順に進む
- 3** 日付と時刻を入力する
 - カーソルは◀/▶で移動し、▲/▼で日時を入力します。

4 を押す



- ここでの設定を行う前に、まず<タイムゾーン>を設定してください。<タイムゾーン>をあとで設定すると、ここの設定は自動的に変更されてしまいます。

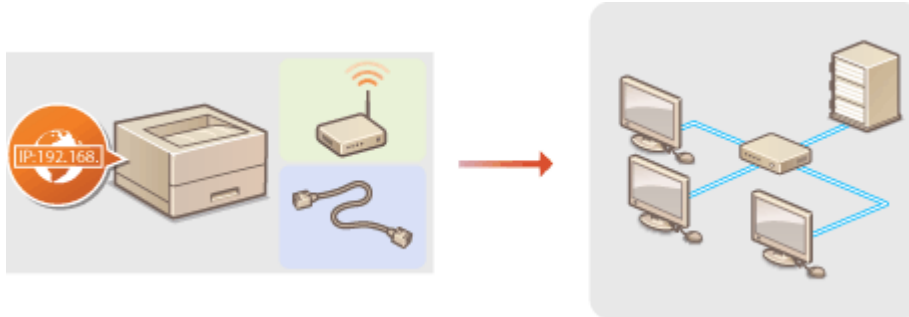


- 日付と時刻の表示形式をそれぞれ変更することができます。
 - ▶ <日付の形式> (P. 218)
 - ▶ <時刻の形式> (P. 218)

ネットワーク環境を設定する

423Y-00E

本機をネットワークに接続するには「無線 LAN による接続」と「有線 LAN による接続」の 2 つの方法があり、いずれの場合もネットワーク内で固有の IP アドレスを使用します。接続方法については、通信環境やお使いの機器に合わせてお選びください。設定する IP アドレスについては、お使いのプロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



- 十分なセキュリティ対策が行われていないネットワークに接続すると、個人情報などのデータが第三者に漏えいする恐れがあります。



- 有線 LAN と無線 LAN は同時に使用できません。
- 本機には LAN ケーブルやルーターは付属していません。別途ご用意ください。
- お使いのルーターが有線 LAN または無線 LAN のどちらに対応しているかわからない場合は、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

■作業の前に確認してください

次の順序でネットワークへの接続作業を行います。



はじめに確認する

- パソコンとルーターは正しくつながっていますか？詳しくはそれぞれの機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- パソコン側のネットワーク設定は完了していますか？設定が正しく完了していないと、以降の手順を行ってもネットワークでお使いいただくことができません。



- お使いの環境によっては、ネットワークの通信方式や Ethernet の種類の設定を変更する必要があります（[Ethernet の設定をする \(P. 59\)](#)）。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機の MAC アドレスを確認するとき

- ▶有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 46)
- ▶無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する(P. 47)
- IEEE 802.1X を導入したネットワークに接続するとき ▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)

2



有線 LAN か無線 LAN かを選ぶ

- ▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 24)

3



有線 LAN または無線 LAN に接続する

- 手順 2 で選んだ設定に応じて次のどちらかを選びます。
 - ▶有線 LAN に接続する(P. 25)
 - ▶無線 LAN に接続する(P. 26)

4



必要に応じて IP アドレスを設定する

- お買い上げ時、IP アドレスは自動取得するように設定されています。特定の IP アドレスを使用したいときは設定を変更してください。▶IP アドレスを設定する(P. 39)



関連項目

- ▶パソコンとの通信設定をする(P. 48)
- ▶使用するネットワーク環境に合わせる(P. 58)


有線 LAN か無線 LAN かを選択する

423Y-00F

本機とパソコンを無線 LAN で接続するのか、有線 LAN で接続するのかを決めたら、実際に操作パネルで設定します。なお、有線 LAN を無線 LAN、または無線 LAN を有線 LAN に設定変更した場合は、すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてからインストールしなおす必要がありますのでご注意ください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ホーム画面(P. 89)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ




- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 <有線/無線 LAN 選択>を選ぶ

4 <有線 LAN >または<無線 LAN >を選ぶ



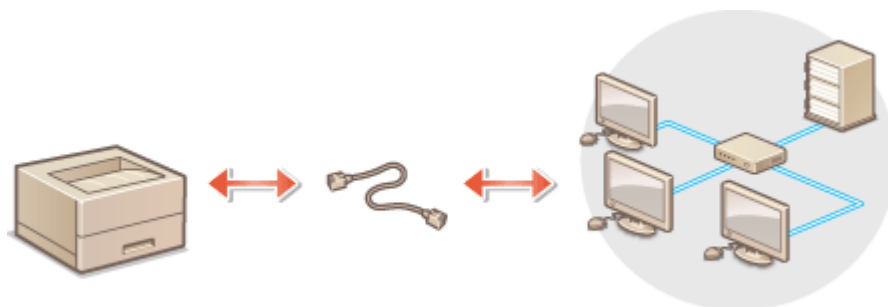
関連項目

-  ネットワーク環境を設定する(P. 22)
-  有線 LAN に接続する(P. 25)
-  無線 LAN に接続する(P. 26)

有線 LAN に接続する

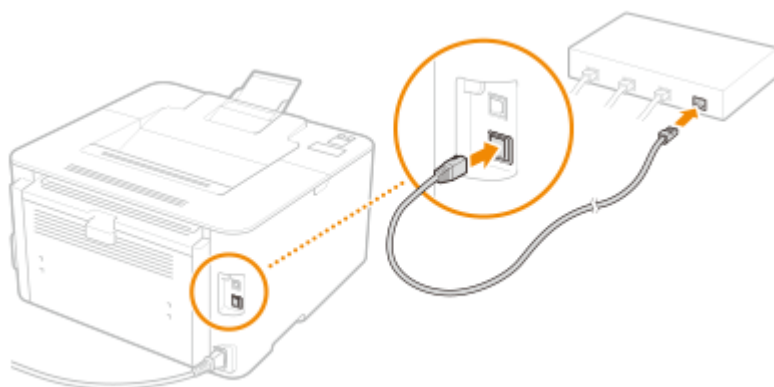
423Y-00H

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。接続には LAN ケーブルを使用します。



1 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルを使って、本機をルーターに接続します。
- コネクタがきちんとポートに収まるよう、カチッと音がするまで押し込んでください。



2 そのまま数分間待つ

⇒ IP アドレスが自動的に設定されます。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 39\)](#)



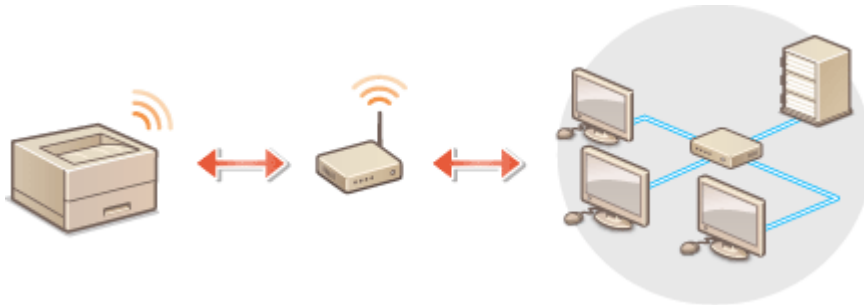
関連項目

- ▶ [ネットワーク環境を設定する\(P. 22\)](#)

無線 LAN に接続する

423Y-00J

無線 LAN ルーター（またはアクセスポイント）を介して、本機とパソコンを無線（電波）で接続します。無線 LAN ルーターが WPS/AOSS/らくらく無線スタートに対応している場合はボタン操作でかんたんに接続できます。これらの規格に対応していない場合や、認証や暗号化などの設定を詳しく指定したい場合は手動で設定します。パソコン側の接続はあらかじめ済ませておいてください。



● WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する(P. 26)

● 手動で設定する(P. 27)



情報漏えいのリスクについて

- 無線通信に使用する電波は一定の範囲内であれば壁などの障害物を越えてしまうため、十分なセキュリティで保護されていないネットワークに接続した場合は、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする恐れがあります。本機を無線 LAN に接続するときは、お客様ご自身の判断と責任において使用してください。

無線 LAN のセキュリティ規格

- 本機の無線 LAN は、WEP、WPA-PSK、および WPA2-PSK に対応しています。お使いの無線 LAN ルーターが対応しているかどうかについては、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。



無線 LAN 接続に必要な機器

- 本機に無線 LAN ルーターは付属していません。必要に応じて別途ご用意ください。

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する

お使いの無線 LAN ルーターが AOSS またはらくらく無線スタートに対応している場合は、プッシュボタン方式でかんたんに設定することができます。WPS に対応している場合は、プッシュボタン方式に加えて WPS PIN コード方式による設定も可能です。

■ プッシュボタン方式

無線 LAN ルーターの外装箱に次のようなマークが記載されているか、または機器本体にこれらのボタンがあればプッシュボタン方式で設定できます。▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する(プッシュボタン方式)(P. 28)



■ WPS PIN コード方式

WPS 対応ルーターの中にはプッシュボタン方式に対応していないものがあり、この場合は PIN コードを入力して設定します。外装箱または取扱説明書の WPS PIN コードの記載を確認してください。▶WPS PIN コード方式で設定する(P. 30)



- 無線 LAN ルーターが WEP 認証を使用するように設定されている場合、WPS では接続できないことがあります。

手動で設定する

手動設定には、アクセスポイント選択方式と手動入力方式があります。どちらの場合もあらかじめ SSID やネットワークキーなどの必要情報を手元にご用意ください。▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)

■ アクセスポイント選択方式

手動設定でも、できるかぎりかんたんに設定を済ませたいときは、この方法で設定します。▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)

■ 手動入力方式

認証や暗号化などのセキュリティ設定を詳しく指定したい場合は、SSID やネットワークキーを自分で入力して設定します。▶すべて入力して設定する(P. 35)



関連項目

- ▶ネットワーク環境を設定する(P. 22)
- ▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 24)

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）

423Y-00K

お使いの無線 LAN ルーターが、WPS/AOSS/らくらく無線スタートのプッシュボタン方式に対応している場合には、ボタン操作によってかんたんに設定できます。



- 無線 LAN ルーターの操作方法は、機器によって異なります。必ずお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ホーム画面(P. 89)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか？>または<現在のWi-Fi接続が一度切断されます。よろしいですか？>と表示されたら、<はい>を選んでください。

4 メッセージを確認し、< OK >を選ぶ

5 < WPS プッシュボタン方式 >、< AOSS >、または<らくらく無線スタート>を選ぶ

- お使いの無線 LAN ルーターが対応している機能を選んでください。

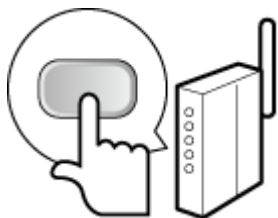
6 <はい>を選ぶ

7 無線 LAN ルーターのボタンを押す

■WPS/AOSS の場合

WPS の場合は 2 分以内、AOSS の場合は 1 分 30 秒以内にボタンを押します。

- お使いの無線 LAN ルーターによっては、ボタンを 2 秒以上押す必要があります。必ずお使いの機器の取扱説明書で確認してください。



■らくらく無線スタートの場合

- 1 1分以内にボタンを長押しし、無線 LAN ルーターの POWER ランプが緑色に点滅するのを待つ
 〓 ボタンを離すと、POWER ランプがオレンジ色の点滅に変わります。
- 2 30秒以内に再びボタンを長押しし、POWER ランプがオレンジ色に点灯するのを待つ



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる>を選び、手順5からやりなおしてください。

8 <接続しました。>が表示されるまで待つ

〓 IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度 (RSSI) が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 39\)](#)
- 無線 LAN 接続中は、ホーム画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ [ホーム画面\(P. 89\)](#)



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ [<パワーセーブモード>\(P. 205\)](#)

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶ [無線 LAN に接続する\(P. 26\)](#)

WPS PIN コード方式で設定する

423Y-00L

お使いの無線 LAN ルーターが WPS の PIN コード方式に対応している場合は、本機で生成した PIN コードをパソコンなどを使って無線 LAN ルーターに登録します。



- 無線 LAN ルーターの操作方法は、機器によって異なります。必ずお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

パソコンから


1 お使いの無線 LAN ルーターにパソコンなどからアクセスし、WPS PIN コードの設定画面を表示する

- 操作方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書をご覧ください。

操作パネルから

2 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ホーム画面(P. 89)

3 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

4 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか?>または<現在のデータ接続が一度切断されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。

5 メッセージを確認し、<OK>を選ぶ

6 <WPS PIN コード方式>を選ぶ

7 <はい>を選ぶ

- ⇒ 生成された PIN コードがディスプレイに表示されます。

パソコンから

8 生成された PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する

- 手順 1 の WPS PIN コードの設定画面を使って登録します。
- PIN コードは手順 7 で<はい>を選んでから 10 分以内に登録してください。



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる>を選び、手順 6 からやりなおしてください。

操作パネルから

9 <接続しました。>が表示されるまで待つ

⇒ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度 (RSSI) が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 39\)](#)
- 無線 LAN 接続中は、ホーム画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ [ホーム画面\(P. 89\)](#)



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ [<パワーセーブモード>\(P. 205\)](#)

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。

関連項目

- ▶ [無線 LAN に接続する\(P. 26\)](#)

無線 LAN ルーターを選んで設定する

423Y-00R

接続可能な無線 LAN ルーター（またはアクセスポイント）を本機のディスプレイから選びます。ネットワークキーには WEP キーまたは PSK を入力して設定します。SSID やネットワークキーなどの必要情報はあらかじめ確認のうえ、メモしておいてください（[SSID やネットワークキーを確認する\(P. 38\)](#)）。



セキュリティー設定について

- 無線 LAN ルーターを選んで設定すると、WEP の認証方式は＜オープンシステム＞に、WPA/WPA2 の暗号化方式は＜自動＞（AES-CCMP または TKIP）に設定されます。WEP の認証方式に＜共有キー＞を選びたい場合や、WPA/WPA2 の暗号化方式に＜AES-CCMP＞を指定したい場合は、＜手動入力＞で設定してください。[すべて入力して設定する\(P. 35\)](#)

1 ホーム画面で、＜メニュー＞を選ぶ [ホーム画面\(P. 89\)](#)

2 ＜ネットワーク設定＞を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。[システム管理暗証番号を設定する\(P. 151\)](#)

3 ＜無線 LAN 設定＞を選ぶ

- ＜無線 LAN を有効にしますか？＞または＜現在のデータ外接続が一度切断されます。よろしいですか？＞と表示されたら、＜はい＞を選んでください。

4 メッセージを確認し、＜OK＞を選ぶ

5 ＜SSID 設定＞を選ぶ

6 ＜アクセスポイント選択＞を選ぶ

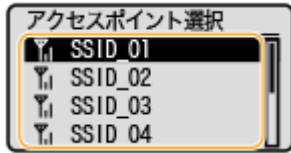
⇒ 接続可能な無線 LAN ルーターが探索されます。



- アクセスポイントが見つからないメッセージが表示されたとき [メッセージごとの対処方法\(P. 292\)](#)

7 目的の無線 LAN ルーターを選ぶ

- メモしておいた SSID と一致する機器を選んで、**OK** を押します。



接続したい無線 LAN ルーターが見つからないとき

- ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶ **設置／設定のトラブル(P. 270)**

8 メモしておいたネットワークキーを入力する

- ネットワークキーを入力し、<確定>を選びます。
- 文字の入力方法については、▶ **文字を入力する(P. 95)** を参照してください。

9 <はい>を選ぶ



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる>を選び、ネットワークキーが正しいか確認したあと、手順 5 からやりなおしてください。

10 <接続しました。>が表示されるまで待つ

▶▶ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度 (RSSI) が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ **IP アドレスを設定する(P. 39)**
- 無線 LAN 接続中は、ホーム画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ **ホーム画面(P. 89)**



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ **<パワーセーブモード>(P. 205)**

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶ **無線 LAN に接続する(P. 26)**

すべて入力して設定する

423Y-00S

セキュリティーの設定などを詳しく指定したい場合や、他の方法で接続できない場合は、無線 LAN 接続の設定をすべて手動入力で行います。SSID やネットワークキー、セキュリティー規格や認証／暗号化方式などの必要な情報は、あらかじめ確認／メモしておいてください。▶**SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)**

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ホーム画面(P. 89)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶**システム管理暗証番号を設定する(P. 151)**

3 <無線 LAN 設定>を選ぶ

- <無線 LAN を有効にしますか?>または<現在のデータ接続が一度切断されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んでください。

4 メッセージを確認し、<OK>を選ぶ

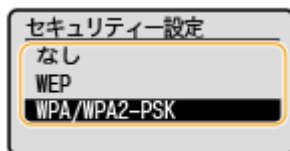
5 <SSID 設定> ▶<手動入力>の順に進む

6 メモしておいた SSID を入力する

- SSID を入力し、<確定>を選びます。
- 文字の入力方法については、▶**文字を入力する(P. 95)** を参照してください。

7 メモしておいた情報をもとにセキュリティーの設定をする

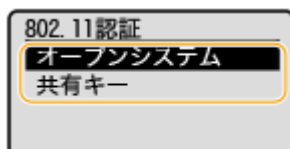
- セキュリティーの設定をしないときは<なし>を選びます。



■WEP を使用する

1 <WEP>を選ぶ

2 認証方式を選ぶ



<オープンシステム>

一般に「オープン認証」と呼ばれる認証方式です。

<共有キー>

パスワードとして WEP キーを使用する認証方式です。



<オープンシステム>を選んだ場合

- 無線 LAN ルーターが共有キー認証を使用している場合は接続時に認証エラーが生じますが、本機の設定は自動的に<共有キー>に変更され再接続が試みられます。

3 編集する WEP キーを選ぶ

- < WEP キー編集 > ▶ WEP キー (1~4) の順に選びます。
- WEP キーは4つまで設定できます。

4 確認/メモしておいたネットワークキーを入力する

- ネットワークキーを入力し、<確定>を選びます。

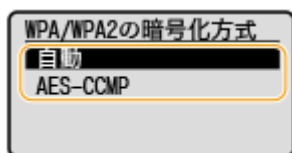
5 使用する WEP キーを選ぶ

- < WEP キー選択 > ▶ 編集した WEP キーの順に選びます。

■ WPA-PSK または WPA2-PSK を使用する

1 < WPA/WPA2-PSK >を選ぶ

2 暗号化方式を選ぶ



<自動>

接続する無線 LAN ルーターに合わせて、自動的に AES-CCMP または TKIP を設定します。

< AES-CCMP >

暗号化方式に AES-CCMP を指定するときに選びます。

3 メモしておいたネットワークキーを入力する

- ネットワークキーを入力し、<確定>を選びます。

8 <はい>を選ぶ



設定中にエラーメッセージが表示されたら

- <閉じる>を選び、設定した内容が正しいか確認したあと、手順 5 からやりなおしてください。

9 <接続しました。>が表示されるまで待つ

⇒ IP アドレスなどが自動的に設定されるまで、数分間お待ちください。



電波の強度について

- 接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



- IP アドレスは手動でも設定できます。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 39\)](#)
- 無線 LAN 接続中は、ホーム画面に Wi-Fi アイコンが表示されます。▶ [ホーム画面\(P. 89\)](#)



消費電力を抑えたいとき

- <パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ [<パワーセーブモード>\(P. 205\)](#)

本機の IP アドレスが変更された場合

- DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶ [無線 LAN に接続する\(P. 26\)](#)

SSID やネットワークキーを確認する

423Y-00U

手動設定では、無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーなどを指定する必要があります。SSID やネットワークキーは無線 LAN ルーターに表記されている場合がありますので、あらかじめ確認／メモしておいてください。詳しくは、各機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

SSID	無線 LAN のネットワークを識別するための名前です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」などと表記されることもあります。
ネットワークキー	データの暗号化に使用されるキーワード、またはネットワークの認証時に使用されるパスワードです。「暗号化キー」、「WEP キー」、「WPA/WPA2 パスフレーズ」、「PSK」、「事前共有キー」などと表記されることもあります。
セキュリティ規格 (認証／暗号化)	手動入力方式では、セキュリティ規格や認証／暗号化などの方法を指定する必要があります。次のような情報を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティ規格 (WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK) ● 認証方式 (オープンシステム／共有キー) ● 暗号化方式 (TKIP/AES-CCMP)

■ パソコンから SSID やネットワークキーを確認する

「SSID やネットワークキーが変更されてしまって現在の設定値がわからない」というような場合は、「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」を使って確認します。キヤノンホームページ (<https://global.canon>) から「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」をダウンロードし、無線 LAN に接続されたパソコンから起動してください。



- 「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」を起動しても画面にアクセスポイントが表示されない場合は、パソコンと無線 LAN ルーターの設定が完了しているか確認してください。



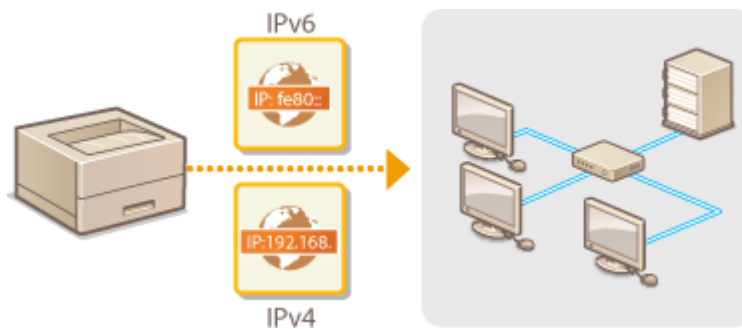
関連項目

- 無線 LAN に接続する (P. 26)
- 無線 LAN ルーターを選んで設定する (P. 32)
- すべて入力して設定する (P. 35)

IP アドレスを設定する

423Y-00W

本機をネットワークに接続するには、そのネットワーク内で固有の IP アドレスが必要です。IP アドレスには「IPv4」と「IPv6」という 2 つのバージョンがありますので、お使いの環境に合わせて設定してください。なお、IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要があります。



- ▶ IPv4 アドレスを設定する(P. 40)
- ▶ IPv6 アドレスを設定する(P. 43)

IPv4 アドレスを設定する

423Y-00X

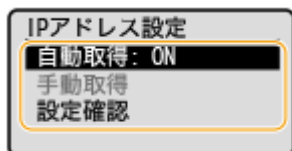


IPv4 アドレスの設定方法には、DHCP などを使って自動で割り当てる方法と、自分で入力する方法がありますのでいずれかを選択してください。有線 LAN に接続するときは、作業を始める前にまず LAN ケーブルのコネクタがポートにしっかり差し込まれているか再確認してください（[有線 LAN に接続する\(P. 25\)](#)）。また、必要に応じて接続テストを行ってください。

- IPv4 アドレスを設定する(P. 40)
- 接続テストをする(P. 41)

IPv4 アドレスを設定する

- 1 ホーム画面で、**<メニュー>**を選ぶ [●ホーム画面\(P. 89\)](#)
- 2 **<ネットワーク設定>**を選ぶ
 - 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 [●システム管理暗証番号を設定する\(P. 151\)](#)
- 3 **<TCP/IP 設定>** ▶ **<IPv4 設定>** ▶ **<IP アドレス設定>**の順に進む
- 4 IP アドレスを設定する



<自動取得>

DHCP によって IP アドレスを自動的に割り当てるときに選びます。< ON >と表示されているときは、自動割り当てが行われています。

<手動取得>

IP アドレスを自分で入力して設定するときを選びます。自動取得が< OFF >のときだけ設定できます。

<設定確認>

現在の IP アドレス設定を確認できます。

■自動的に割り当てる

- 1 **<自動取得>**を選ぶ
- 2 プロトコルを選択する
 - **<プロトコル選択>** ▶ **<DHCP >**の順に選びます。



IP アドレスの自動割り当てに DHCP を使わないとき

- < OFF > を選びます。DHCP を使用できないときに設定すると、本機はネットワーク内でサービスが提供されているか確認し続けるので、無駄な通信が発生します。
- 3 < Auto IP > が < ON > になっているか確認する
 - < OFF > のときは、< ON > に変更します。
 - 4 < 確定 > を選ぶ



- Auto IP が有効でも、DHCP で取得された IP アドレスが優先されます。

■自分で入力して設定する

- 1 自動取得しないように設定する
 - < 自動取得 > を選んだあと、< プロトコル選択 > と < Auto IP > を < OFF > に設定します。
- 2 < 手動取得 > を選ぶ
- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する
 - それぞれの画面にテンキーで入力し、< 確定 > を押します。
 - 文字の入力方法については、**▶文字を入力する(P. 95)** を参照してください。



正しく設定できたか確認するには

- パソコンでリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください（**▶リモート UI を起動する(P. 185)**）。パソコンが使えないときは、本機の操作パネルから確認することもできます（**▶接続テストをする(P. 41)**）。

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- MFNP ポートを使用している場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されますので、新しいポートを追加する必要はありません。標準 TCP/IP ポートを使用している場合は、新しいポートを追加する必要があります。**▶印刷ポートの設定をする(P. 51)**

*使用しているポートがどちらなのかわからないときは、プリンターポートの確認方法を参照してください。**▶プリンターポートの確認方法(P. 341)**

接続テストをする

- 1 ホーム画面で、< メニュー > を選ぶ **▶ホーム画面(P. 89)**
- 2 < ネットワーク設定 > を選ぶ
 - 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。**▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)**
- 3 < TCP/IP 設定 > ▶ < IPv4 設定 > ▶ < PING コマンド > の順に進む

4 ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスを入力し、<確定>を選ぶ

⇒ 正しく接続されているときは、<ホストから応答がありました。>と表示されます。



関連項目

- ▶ IPv6 アドレスを設定する(P. 43)
- ▶ ネットワークの設定を確認する(P. 46)

IPv6 アドレスを設定する

423Y-00Y



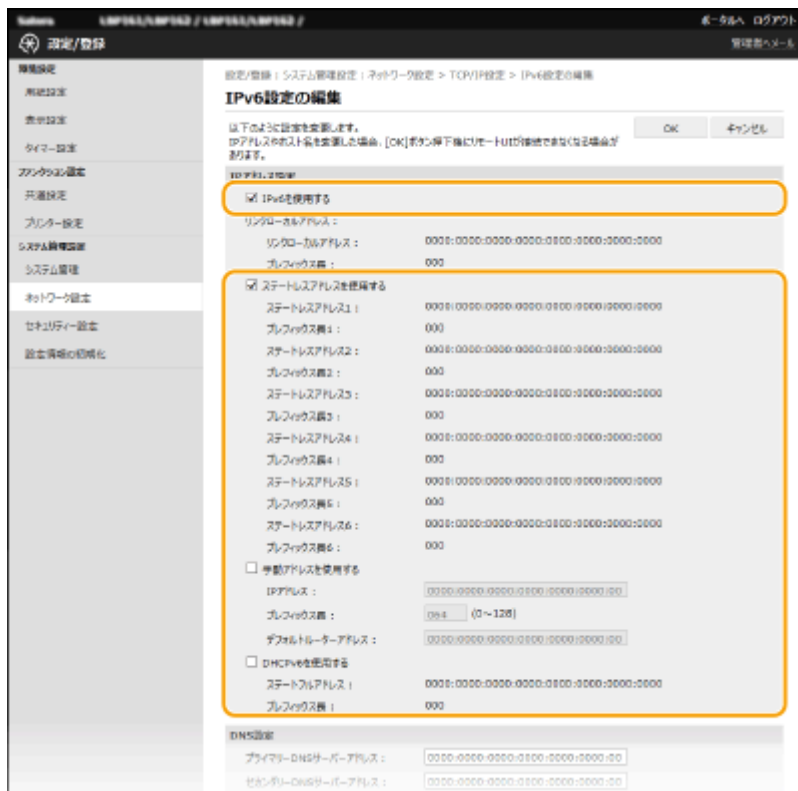
IPv6 アドレスはリモート UI を使って設定します。IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要がありますのであらかじめ確認しておいてください (**▶IPv4 の設定を確認する(P. 46)**)。IPv6 は、次のような複数のアドレスを登録できません。

種類	解説
リンクローカルアドレス	同一リンク内でのみ使用できるアドレスです (ルーターを超える範囲の通信には使用できません)。IPv6 アドレスを使用するときは自動的に設定されます。
手動アドレス	手動で入力するアドレスです。プレフィックス長およびデフォルトルーターアドレスを指定します。
ステートレスアドレス	ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。本機の再起動 (または電源 ON) 時に破棄されます。
ステートフルアドレス	DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得します。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、 **▶本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 185)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 186)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4** [IPv6 設定] の [編集] をクリックする
- 5** [IPv6 を使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[IPv6 を使用する]

本機で IPv6 を使用するときにはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[ステートレスアドレスを使用する]

ステートレスアドレスを使用するときにはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[手動アドレスを使用する]

アドレスを入力して設定するときにはチェックマークを付け、[IP アドレス]、[プレフィックス長]、[デフォルトルーターアドレス] を入力します。

[IP アドレス]

IPv6 アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）とループバックアドレス (::1) は入力できません。

[プレフィックス長]

ネットワークアドレス部の長さを入力します。

[デフォルトルーターアドレス]

必要に応じてデフォルトルーターをアドレスで指定します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）とループバックアドレス (::1) は入力できません。

[DHCPv6 を使用する]

ステートフルアドレスを使用するときにはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

6 [OK] をクリックする



正しく設定できたか確認するには

- 本機の IPv6 アドレスを使ってリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください。▶ **リモート UI を起動する(P. 185)**

操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>から IPv6 設定を行うこともできます。▶ **<IPv6 設定>(P. 208)**

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- 新しいポートを追加する必要があります。▶ **印刷ポートの設定をする(P. 51)**



関連項目

- ▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 40)**
- ▶ **ネットワークの設定を確認する(P. 46)**

ネットワークの設定を確認する

423Y-010

- ▶ IPv4 の設定を確認する(P. 46)
- ▶ IPv6 の設定を確認する(P. 46)
- ▶ ダイレクト接続情報を確認する(P. 46)
- ▶ 有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 46)
- ▶ 無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する(P. 47)



- IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切にアドレス設定されていません。
- IP アドレスが正しく設定されていても、本機をスイッチングハブなどに接続しているとネットワークに接続されないことがあります。この場合は、本機の通信開始のタイミングを遅らせて接続しなおしてください。▶ **ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 62)**
- ネットワークの設定情報は一覧形式で印刷できます。▶ **ユーザーデータリスト(P. 255)**

IPv4 の設定を確認する



<状況確認> ▶ <ネットワーク情報> ▶ <IPv4> ▶ 確認したい項目を選択 ▶ 設定を確認

IPv6 の設定を確認する



<状況確認> ▶ <ネットワーク情報> ▶ <IPv6> ▶ 確認したい項目を選択 ▶ 設定を確認

ダイレクト接続情報を確認する



<状況確認> ▶ <ネットワーク情報> ▶ <ダイレクト接続情報> ▶ <接続詳細> ▶ 設定を確認

有線 LAN の MAC アドレスを確認する

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ **ホーム画面(P. 89)**

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶ **システム管理暗証番号を設定する(P. 151)**

3 < Ethernet ドライバー設定 > を選ぶ

⇒ MAC アドレスが表示されます。

無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ◀ホーム画面(P. 89)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

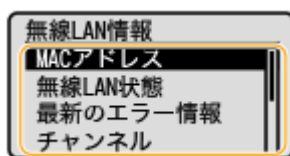
- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 ▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 <無線 LAN 設定>を選ぶ

4 メッセージを確認し、<OK>を選ぶ

5 <無線 LAN 情報>を選ぶ

6 確認したい項目を選ぶ



セキュリティ情報を確認する

- WEP や WPA/WPA2-PSK の情報を確認するには次の操作を行います。

<セキュリティ設定> ▶ 表示されたセキュリティ規格を選択 ▶ 確認したい項目を選択

<状況確認>画面から確認する

- <無線 LAN 状態>と<最新のエラー情報>を確認するだけであれば、<状況確認>からの操作も可能です。

<状況確認> ▶ <ネットワーク情報> ▶ <ネットワーク接続方式> ▶ <接続情報> ▶ 確認したい項目を選択



関連項目

- ▶無線 LAN に接続する(P. 26)
- ▶IPv4 アドレスを設定する(P. 40)
- ▶IPv6 アドレスを設定する(P. 43)
- ▶DNS の設定をする(P. 63)

パソコンとの通信設定をする

423Y-011

ネットワークを介して本機をパソコンから使用する場合、プロトコルやポートの設定を行うことができます。また、ネットワーク内にプリントサーバーを設けることも可能です。ただし、基本的な準備作業はあらかじめ済ませておいてください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



- ▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 49)
- ▶印刷ポートの設定をする(P. 51)
- ▶プリントサーバーを設定する(P. 55)

MEMO

- ここで説明するプロトコルは、パソコンと本機の間で文書データをやりとりするための方法で、用途やネットワーク環境に応じて使い分けます。
- ポートとは、ネットワーク機器の間でデータを受け渡すするいわば出入口に相当する部分です。ネットワーク接続で通信できないときは、このポートの設定に原因がある場合があります。

印刷プロトコルや Web サービスの設定をする

423Y-012

パソコンから文書を印刷するとき使用する印刷プロトコルの設定をします。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 185)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 186)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4** 印刷プロトコルの設定をする

■LPD または RAW の設定をする

- 1** [LPD 印刷設定] または [RAW 印刷設定] の [編集] をクリックする
- 2** 必要に応じて設定する



[LPD 印刷を使用する]

LPD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[RAW 印刷を使用する]

RAW を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

- 3** [OK] をクリックする

■WSD の設定をする

- 1** [WSD 設定] の [編集] をクリックする

2 必要に応じて設定する



[WSD 印刷を使用する]

WSD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[WSD 参照を使用する]

WSD を使用してパソコンから本機の情報を取得するときはチェックマークを付けます。[WSD 印刷を使用する] にチェックマークが付いているときは必ずチェックマークが付きます。

[マルチキャスト探索を使用する]

マルチキャストによる本機の探索に対して応答するときは、チェックマークを付けます。チェックマークを外すと、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

3 [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>から、LPD、RAW、および WSD の設定を行うこともできます。
 - ▶< LPD 印刷の設定 > (P. 210)
 - ▶< RAW 印刷の設定 > (P. 210)
 - ▶< WSD の設定 > (P. 210)

WSD ネットワークデバイスを追加する

- WSD ネットワークデバイスは、プリンターフォルダーから追加できます。プリンターフォルダーを開き（▶**プリンターフォルダーの表示方法**(P. 337)）、[デバイスの追加] または [プリンターの追加] をクリックしたあと、画面の指示に従ってください。WSD ネットワークでドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

ポート番号を変更するには

- 印刷プロトコルのポート番号は、本機側とパソコン側の設定を同じにする必要があります。
 - ▶**印刷ポートの設定をする**(P. 51)
 - ▶**ポート番号を変更する**(P. 163)



- ▶**印刷ポートの設定をする**(P. 51)

印刷ポートの設定をする

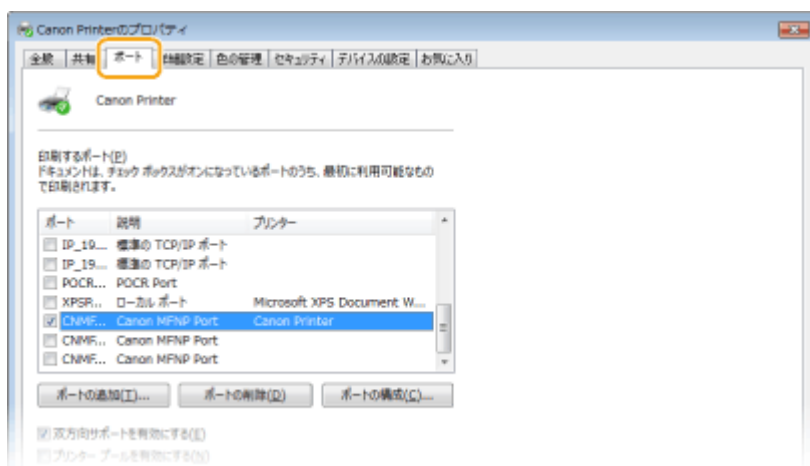
423Y-013

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows のプリンターフォルダーでプリンターを追加したりすると、パソコンから文書を印刷しようとしてもエラーが発生して印刷できないことがあります。これは「パソコン側でプリンタードライバーに設定した印刷ポートの種類や番号が間違っている」など、印刷ポートの設定に問題がある場合に発生するトラブルです。このような場合は、パソコンから印刷ポートの設定を行ってください。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。

- 1 プリンターフォルダーを開く ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 337)
- 2 本機のドライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [ポート] タブをクリックし、必要な設定をする



■ポートを追加する

IP アドレスを変更した場合やプリンタードライバーを Windows のプリンターフォルダーからインストールした際に正しいポートを選択しなかった場合などは、新しいポートを追加します。ポートには、「MFNP ポート」と「標準 TCP/IP ポート」の 2 つがあります。お使いの環境などに合わせて追加するポートの種類を選んでください。

MFNP ポート
(IPv4 環境のみ)

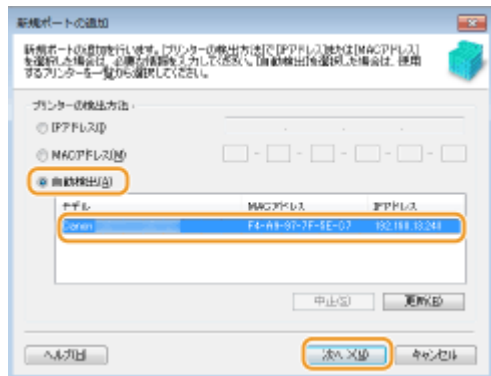
本機の IP アドレスを自動検出することができるポートです。本機の IP アドレスを変更しても本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。そのため、IP アドレスを変更するたびに新しいポートを追加する必要はありません。IPv4 環境で本機をお使いの場合、通常はこちらを選んでください。



	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーを CD-ROM/DVD-ROM からインストールした場合や、キヤノンホームページからダウンロードしてインストールした場合にのみ追加することができます。
標準 TCP/IP ポート	Windows に標準搭載されているポートです。本機の IP アドレスを変更したときは、その都度新しいポートを追加する必要があります。IPv6 環境で本機をお使いの場合や、MFNP ポートを追加できない場合に選びます。

MFNP ポートを追加する場合

- 1 [ポートの追加] をクリックする
- 2 [利用可能なポートの種類] で [Canon MFNP Port] を選び、[新しいポート] をクリックする
- 3 [自動検出] を選択し、本機が表示されたらそれを選んだあと、[次へ] をクリックする



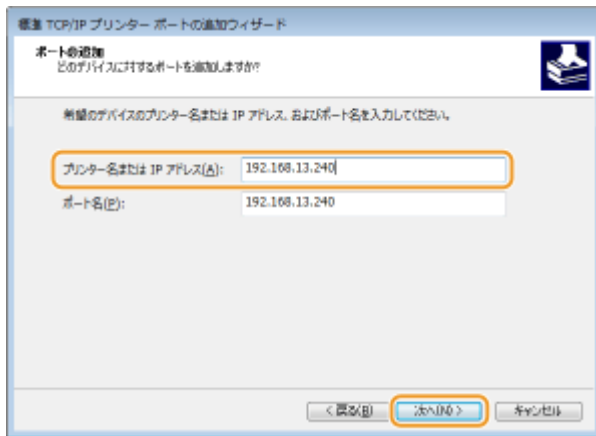
本機が表示されないとき

- [更新] をクリックします。それでも表示されないときは、[IP アドレス] または [MAC アドレス] を選択し、本機の IP アドレスまたは MAC アドレス（[ネットワークの設定を確認する\(P. 46\)](#)）を入力してから [次へ] をクリックします。

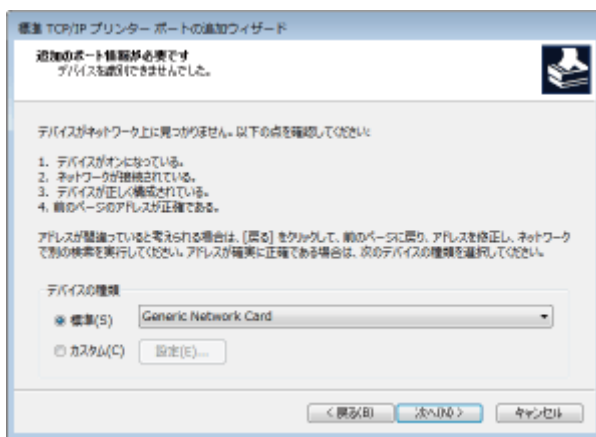
- 4 [追加] ▶ [完了] をクリックする
- 5 [閉じる] をクリックする

標準 TCP/IP ポートを追加する場合

- 1 [ポートの追加] をクリックする
- 2 [利用可能なポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選び、[新しいポート] をクリックする
- 3 [次へ] をクリックする
- 4 本機の IP アドレスまたは DNS 名を入力し、[次へ] をクリックする
 - [ポート名] は自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。



- 次の画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。



* [デバイスの種類] を設定する場合は、[標準] の [Canon Network Printing Device with P9100] を選んでください。

- 5 [完了] をクリックする
- 6 [閉じる] をクリックする

■ポートの種類や番号を変更する

本機側で印刷プロトコル (LPD または RAW) の設定を変更した場合 (●印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 49)) やポート番号を変更した場合 (●ポート番号を変更する(P. 163)) は、パソコン側の設定も同じ内容に変更します。なお、WSD ポートの場合、この操作は不要です。

MFNP ポートの場合

- 1 [ポートの構成] をクリックする
- 2 [プロトコル] で [RAW] または [LPR] を選び、[ポート番号] を変更する
- 3 [OK] をクリックする

標準 TCP/IP ポートの場合

- 1 [ポートの構成] をクリックする
- 2 [プロトコル] で [Raw] または [LPR] を選ぶ

- [Raw] を選んだときは [ポート番号] を変更します。
- [LPR] を選んだときは [キュー名] に「lp」と入力します。

3 [OK] をクリックする

4 [閉じる] をクリックする



関連項目

▶ [プリントサーバーを設定する\(P. 55\)](#)

プリントサーバーを設定する

423Y-014

プリントサーバーを設定すると、印刷を行うパソコンにかかる負荷を軽減できます。ネットワークを介して他のパソコンにもドライバーをインストールできるようになりますので、パソコンごとに CD-ROM/DVD-ROM からドライバーをインストールする手間も省けます。プリントサーバーにするパソコンをネットワーク内から選び、そのパソコンに対してプリンターの共有設定を行います。



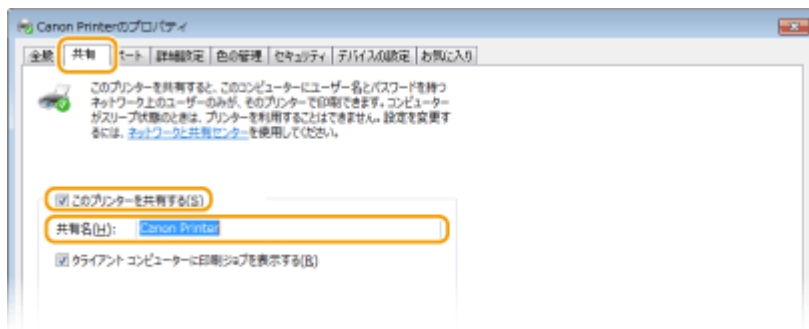
ご注意

- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。
- プリントサーバーの OS とパソコンの OS が 32 ビット版と 64 ビット版とで異なる場合、ネットワークを介したドライバーのインストールができないことがあります。
- ドメイン環境でプリントサーバーを設定する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 337)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする

3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] を選んだあと、共有名を入力する



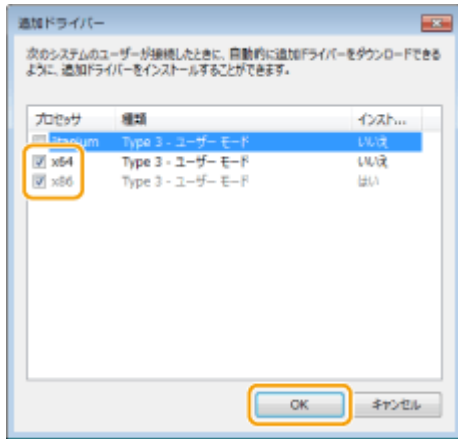
- [共有オプションの変更] ボタンが表示されているときは、ボタンをクリックします。

4 必要に応じて追加ドライバーをインストールする

- この作業は、プリントサーバーとはプロセッサバージョン (32 ビット/64 ビット) が異なるパソコンに、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールしたいときに必要です。

1 [追加ドライバー] をクリックする

2 追加ドライバーを選び、[OK] をクリックする



- 追加ドライバーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように選択してください。

プリントサーバー	選択する追加ドライバー
32 ビット版 OS	[x64] にチェックマークを付けます。
64 ビット版 OS	[プロセッサ] が [x86] の項目にチェックマークを付けます。



- 32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからないときは、**▶ プロセッサバージョンの確認方法 (P. 340)** を参照してください。

- 付属の CD-ROM/DVD-ROM をセットし、[参照] をクリックしてドライバーが収録されているフォルダーを指定したあと、[OK] をクリックする
 - プリントサーバーが 32 ビット版 OS の場合は、CD-ROM/DVD-ROM 内の [CARPS2] ▶ [x64] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
 - プリントサーバーが 64 ビット版 OS の場合は、CD-ROM/DVD-ROM 内の [CARPS2] ▶ [32BIT] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
- 画面の指示に従って追加ドライバーをインストールする

5 [OK] をクリックする

■ プリントサーバーを介してパソコンにドライバーをインストールする

- プリントサーバーの共有プリンターを表示する **▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 338)**
- 共有プリンターをダブルクリックする
- 画面の指示に従ってドライバーをインストールする



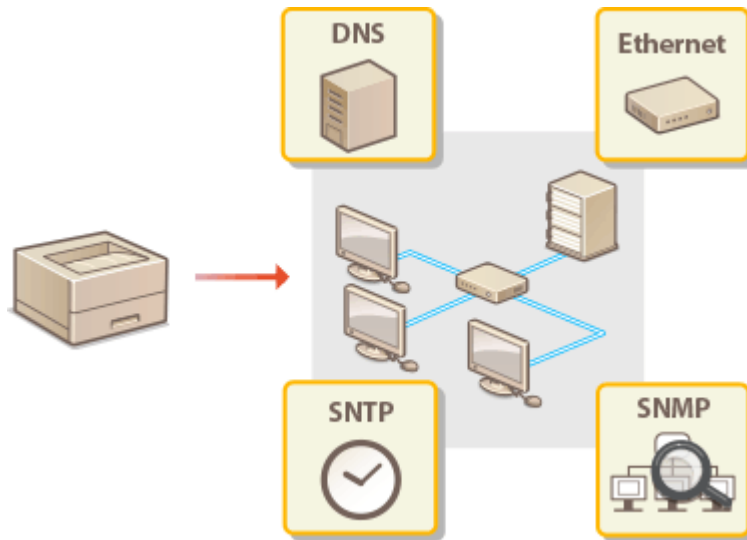
関連項目

▶ **パソコンから印刷する(P. 122)**

使用するネットワーク環境に合わせる

423Y-015

ネットワークの規模や形態は、目的用途によってさまざまです。本機はできるかぎり多くの環境に適合するよう、多様な技術を取り入れています。あらかじめネットワーク管理者にご相談のうえ、お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。



- ◉Ethernet の設定をする(P. 59)
- ◉送信パケットの最大サイズを変更する(P. 61)
- ◉ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 62)
- ◉DNS の設定をする(P. 63)
- ◉SNMP で監視／制御する(P. 67)
- ◉SNTP の設定をする(P. 71)

Ethernet の設定をする

423Y-016



Ethernet は LAN 内の通信方法を定めた規格です。本機では通信方式や Ethernet の種類を設定できます。通常は初期値（▶< Ethernet ドライバー設定 > (P. 213)）のままで使用できますが、お使いの環境に合うよう、必要に応じて変更してください。

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ホーム画面(P. 89)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 < Ethernet ドライバー設定 > ▶ <自動検出>の順に進む

4 自動または手動の設定をする

- 自動検出する設定にすると、使用できる Ethernet の通信方式や種類が検出されて自動的に設定されます。



■ Ethernet の設定を自動検出する

<自動検出>で< ON >を選びます。

■ Ethernet の設定を手動でする

- 1 自動検出しないように設定する
<自動検出>で< OFF >を選びます。
- 2 <通信方式> ▶ 通信方式を選ぶ



a <半二重>

送信／受信を交互に行います。接続するルーターが半二重通信を使うように設定されているときに選びます。

b <全二重>

送信／受信を同時に行います。通常はこちらを選んでください。

3 < Ethernet の種類 > ▶ Ethernet の種類を選ぶ

4 < 確定 > を選ぶ



関連項目

- ▶送信パケットの最大サイズを変更する(P. 61)
- ▶ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 62)


送信パケットの最大サイズを変更する

423Y-017

Ethernet ネットワークで送信できるパケットの最大サイズは通常 1,500 バイトです。「パケット」とはデータの小さなまとまりのことで、データはいくつかのパケットに分割されて送信されます。送信パケットサイズはお使いの環境によって異なる場合がありますので、必要に応じて本機の設定を変更してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

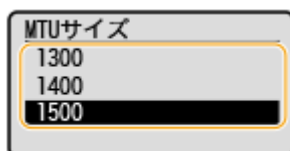
1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ホーム画面(P. 89)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 <TCP/IP 設定> <MTU サイズ>の順に進む

4 パケットの最大サイズを選ぶ




関連項目


- Ethernet の設定をする(P. 59)
- ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 62)

ネットワーク接続時の待機時間を設定する


423Y-018

スイッチングハブなどを数台つないでネットワークの冗長化を図った場合、パケットのループを回避するための仕組みが必要となります。そのためにはスイッチポートの役割決めが有効ですが、ネットワークに新しく機器を追加するなどの変更を行った直後はうまく通信できないことがあります。このようなネットワークに本機を接続するときは、通信開始までの待機時間を設定します。

- 1 ホーム画面で、**<メニュー>**を選ぶ  **ホーム画面(P. 89)**



- 2 **<ネットワーク設定>**を選ぶ
 - 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。  **システム管理暗証番号を設定する(P. 151)**

- 3 **<起動時の接続待機時間>**を選ぶ

- 4 ネットワークとの通信を開始するまでの待機時間を入力し、  **OK** を押す



関連項目

-  **Ethernet の設定をする(P. 59)**
-  **送信パケットの最大サイズを変更する(P. 61)**

DNS の設定をする

423Y-019

DNS (Domain Name System) は、ホスト名 (ドメイン名) と IP アドレスを対応させる名前解決サービスです。お使いのネットワークに応じて DNS や mDNS、DHCP オプションの設定を行います。IPv4 と IPv6 とで設定が分かれていますのでご注意ください。



MEMO

- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶ 本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶ リモート UI を起動する(P. 185)**

2 ポータルページで、**[設定/登録]** をクリックする **▶ リモート UI の画面について(P. 186)**

3 **[ネットワーク設定]** ▶ **[TCP/IP 設定]** の順に進む

4 DNS の設定をする

■ IPv4 の DNS を設定する

1 [IPv4 設定] の **[編集]** をクリックする

2 IPv4 の DNS を設定する



a [DNS 設定]

[プライマリー DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新をする]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。更新間隔を変更するときは、[DNS の動的更新間隔] に時間単位で入力します。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付け、[mDNS 名] を入力します。

c [DHCP オプション設定]

[ホスト名を取得する]

DHCP サーバーからホスト名を取得する（オプション 12 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[DNS の動的更新をする]

本機に代わって DHCP サーバーにホスト名の対応付けの情報を自動更新させる（オプション 81 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする

■IPv6 の DNS を設定する

1 [IPv6 設定] の [編集] をクリックする

2 IPv6 の DNS を設定する

- [IPv6 を使用する] にチェックマークが付いていないときは設定できません。▶**IPv6 アドレスを設定する (P. 43)**



a [DNS 設定]

[プライマリ DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

[セカンダリ DNS サーバーアドレス]

セカンダリ DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新をする]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定するときは、必要に応じて [手動アドレスを登録する]、[ステートフルアドレスを登録する]、または [ステートレスアドレスを登録する] にチェックマークを付けます。更新間隔を変更するときは、[DNS の動的更新間隔] に時間単位で入力します。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付けます。

[IPv4 と同じ mDNS 名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。別に設定するときは、チェックマークを外して [mDNS 名] を入力します。

3 [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>から DNS 設定を行うこともできます。
 - ▶ < IPv4 設定 > (P. 207)
 - ▶ < IPv6 設定 > (P. 208)



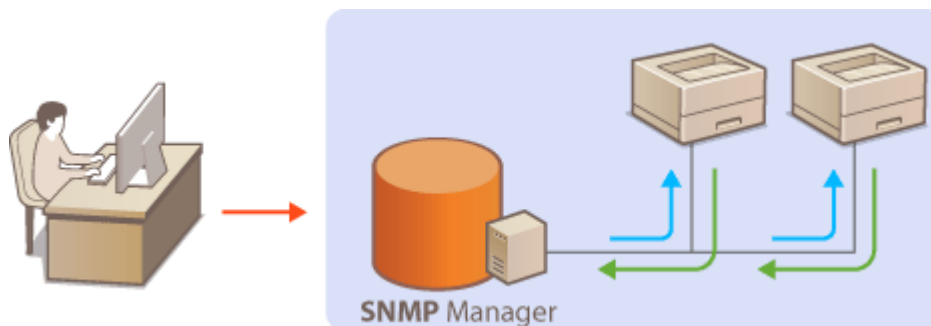
関連項目

- ▶ IPv4 アドレスを設定する (P. 40)
- ▶ IPv6 アドレスを設定する (P. 43)
- ▶ ネットワークの設定を確認する (P. 46)

SNMP で監視／制御する

423Y-01A

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、MIB と呼ばれる管理情報データベースをもとに、ネットワーク上の通信機器を監視・制御するためのプロトコルです。本機は SNMPv1 と、セキュリティー機能が強化された SNMPv3 に対応しており、印刷するときやリモート UI を使用するときなどにパソコンから本機の状態を確認できます。SNMPv1 と SNMPv3 はいずれか一方を使用することも、両方を併用することもできます。使用目的や環境に合わせてそれぞれの設定を行ってください。



SNMPv1

SNMPv1 はコミュニティ名と呼ばれる情報で通信範囲を決定しますが、コミュニティ名は平文でネットワークに流されるため、セキュリティー面では脆弱です。安全性を確保したい場合は SNMPv1 を無効にし、SNMPv3 を利用してください。

SNMPv3

SNMPv3 を使用すると、強固なセキュリティー機能を持つネットワーク機器管理を実現できます。設定はリモート UI から行います。あらかじめ TLS を有効にしておいてください（[●TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)）。

MEMO

- 本機の SNMP は、Trap 通知には対応していません。
- SNMP のポート番号を変更するとき [●ポート番号を変更する\(P. 163\)](#)
- SNMP 管理ソフトウェアが利用できる場合は、これをインストールしたパソコンから本機の設定や監視、制御ができます。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[●本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [●リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [●リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [SNMP 設定] の順に進む
- 4** [編集] をクリックする

5 SNMPv1 の設定をする

- SNMPv1 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



[SNMPv1 を使用する]

SNMPv1 を使用するときにはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv1 の他の項目は設定できません。

[コミュニティ名 1 を使用する] / [コミュニティ名 2 を使用する]

コミュニティ名を指定するときにはチェックマークを付けます。指定しないときはチェックマークを外してください。

[コミュニティ名]

コミュニティ名を半角英数字で入力します。

[MIB アクセス権限]

それぞれのコミュニティについて、MIB のアクセス権限を [読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

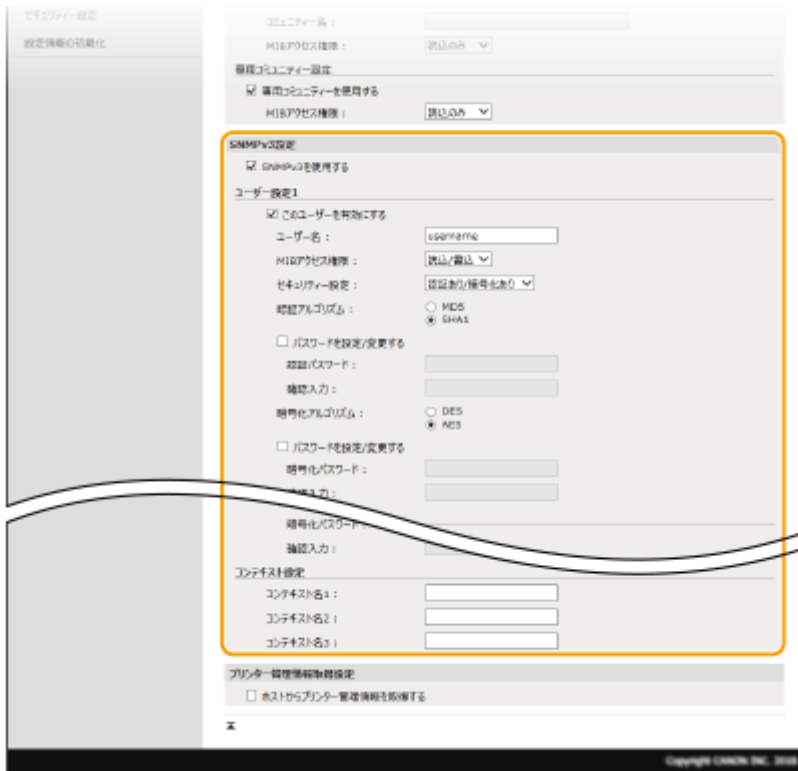
[読込/書込]	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

[専用コミュニティを使用する]

専用コミュニティはキヤノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。専用コミュニティを使用するときにはチェックマークを付け、[MIB アクセス権限] を指定します。使用しないときはチェックマークを外してください。

6 SNMPv3 の設定をする

- SNMPv3 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



[SNMPv3 を使用する]

SNMPv3 を使用するときにはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv3 の他の項目は設定できません。

[このユーザーを有効にする]

[ユーザー設定 1] / [ユーザー設定 2] / [ユーザー設定 3] を有効にするときはチェックマークを付けます。無効にするときはチェックマークを外してください。

[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

[MIB アクセス権限]

MIB のアクセス権限を、[読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

[読込/書込]	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

[セキュリティ設定]

認証と暗号化の有無の組み合わせを、[認証あり/暗号化あり]、[認証あり/暗号化なし] または [認証なし/暗号化なし] から選びます。

[認証アルゴリズム]

[セキュリティ設定] で [認証あり/暗号化あり] または [認証あり/暗号化なし] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた認証アルゴリズムを選択します。

[暗号化アルゴリズム]

[セキュリティ設定] で [認証あり/暗号化あり] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた暗号化アルゴリズムを選択します。

[パスワードを設定/変更する]

パスワードを設定または変更するときにはチェックマークを付け、[認証パスワード] または [暗号化パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。使用するアルゴリズム (認証/暗号化) ごとに設定します。

[コンテキスト名 1] / [コンテキスト名 2] / [コンテキスト名 3]

3 件までのコンテキスト名を、半角英数字で入力します。

7 プリンター管理情報取得の設定をする

- SNMP を使ってネットワーク上のパソコンから、印刷プロトコルやポートなどのプリンター管理情報を定期的に取得できます。



[ホストからプリンター管理情報を取得する]

SNMP を使って本機のプリンター管理情報を監視するときはチェックマークを付けます。監視しない場合はチェックマークを外してください。

8 [OK] をクリックする



SNMPv1 を使用しないとき

- プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

操作パネルで設定するとき

- <メニュー>から SNMPv1 設定を行ったり、SNMPv3 設定を有効/無効に切り替えたりすることもできます。▶
<SNMP 設定>(P. 211)



SNMPv1 と SNMPv3 を併用するとき

- SNMPv1 の MIB アクセス権限を [読込み] に設定することをおすすめします。MIB へのアクセス権限は SNMPv1 と SNMPv3 で別々に設定できます (SNMPv3 ではさらにユーザーごとにも設定できます) が、SNMPv1 で [読込/書込] (フルアクセス権限) を設定すると本機のほぼすべての操作ができるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティ機能を生かすことができなくなります。



関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する (P. 166)

SNTP の設定をする

423Y-01C

SNTP はネットワーク上のタイムサーバーを基準にして時刻を調整するためのプロトコルです。SNTP を使うと一定間隔でタイムサーバーを確認するので、常に正確な時刻を保つことができます。協定世界時 (UTC) を基準に動作するので、時差 (タイムゾーン) をあらかじめ設定しておいてください (▶[日付／時刻を設定する\(P. 20\)](#))。SNTP の設定はリモート UI を使っています。



- NTP サーバー (NTPv3) と SNTP サーバー (SNTPv3 および v4) の両方に対応しています。
- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶[本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶[リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶[リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)
- 3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4 [SNTP 設定] の [編集] をクリックする
- 5 [SNTP を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[SNTP を使用する]

チェックマークを付けると SNTP を使用して時刻調整を行います。使用しないときはチェックマークを外してください。

[NTP サーバー名]

NTP または SNTP サーバーの IP アドレスを入力します。DNS サーバーを利用できるときは、IP アドレスの代わりにホスト名 (または FQDN) を半角英数字で入力することもできます (入力例: 「ntp.example.com」)。

[ポーリング間隔]

何時間おきに時刻を調整するかを入力します。

6 [OK] をクリックする



NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認するには

- 登録したサーバーとの通信状況を確認するときは、[設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [SNTP 設定] の [NTP サーバー確認] をクリックします。正しく接続されているときは下の画面のように表示されます（ただし、このときは通信状況を確認するだけで、時刻合わせは行いません）。

SNTP設定	
SNTPの使用 :	ON
NTPサーバー名 :	ntp.example.com
ポーリング間隔 :	24時間
NTPサーバー確認	
<input type="button" value="NTPサーバー確認"/>	
NTPサーバー確認結果 :	OK

ドライバーをインストールする

423Y-01E

各種ドライバー、関連ソフトウェアなどをパソコンにインストールします。

1 インストールする前に準備する

- CD-ROM/DVD-ROM が付属する場合は、パソコンに CD-ROM/DVD-ROM をセットしてください。
- ドライバーやソフトウェアをダウンロードする場合は、キヤノンホームページ (<https://global.canon>) からお使いになるドライバーやソフトウェアをダウンロードしてください。



- ドライバーやソフトウェアの最新版は、キヤノンホームページに随時掲載されます。動作環境などをご確認の上、必要に応じてダウンロードしてください。
- お使いの機種や環境によっては、一部の機能をお使いいただけないことがあります。
- OS によっては一部対応していないドライバーもあります。最新の OS の対応状況については、キヤノンホームページでご確認ください。

2 インストールを実行する

- インストール方法について詳しくは、お使いになるドライバーやソフトウェアのマニュアルを参照してください。



- [IP アドレスフィルター] で受信を許可されていない IP アドレスの場合、ドライバーをインストールできません。詳しくは、**IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 158)** を参照してください。
- ドライバーをインストールしたパソコンの IP アドレスが [IP アドレスフィルター] で受信を許可されなくなった場合、そのパソコンから印刷は行えません。

基本操作

基本操作	75
各部の名称とはたらき	77
本体前面	78
本体背面	80
手差しトレイ	81
給紙カセット	82
操作パネル	83
電源を入れる	85
電源を切る	86
操作パネルを使う	87
おもな画面	88
ホーム画面	89
<状況確認>画面	90
メッセージ表示	92
おもな操作方法	93
文字を入力する	95
用紙をセットする	96
給紙カセットにセットする	98
手差しトレイにセットする	101
封筒・はがきをセットする	104
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	109
用紙サイズと種類を設定する	111
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	112
手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する	113
定形外サイズの用紙を登録する	115
用紙サイズを絞り込んで表示する	116
静音モードにする	117
スリープモードにする	119

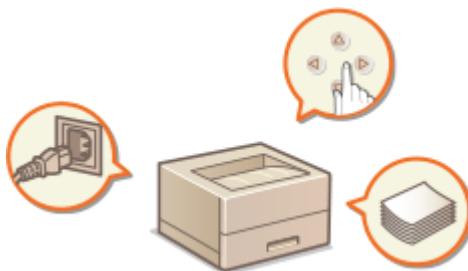
基本操作

423Y-01F

操作パネルの使いかたや用紙のセット方法など、本機の各機能をお使いになる上で共通する基本的なことから説明しています。

■各部の名称とはたらき

本体の外観と内部について、各部の名前とそのはたらきをご紹介します。また、操作パネルの各キーの使いかたや、ディスプレイに表示される画面についても説明しています。▶[各部の名称とはたらき\(P. 77\)](#)



■電源を入れる

電源の入れかたや切りかたについて説明します。▶[電源を入れる\(P. 85\)](#)



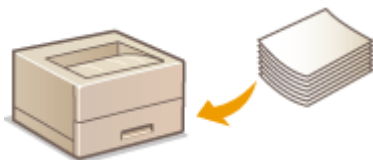
■操作パネルを使う

項目を選ぶときや設定値を調整するときなどの使いかたについて説明しています。また、文字や数字の入力方法についても説明します。▶[操作パネルを使う\(P. 87\)](#)



■用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法について説明しています。▶[用紙をセットする\(P. 96\)](#)



■ 静音モードにする

本機の動作音を静かにする方法について説明しています。▶[静音モードにする\(P. 117\)](#)



■ スリープモードにする

スリープモード（節電状態）にする方法について説明しています。▶[スリープモードにする\(P. 119\)](#)



各部の名称とはたらき

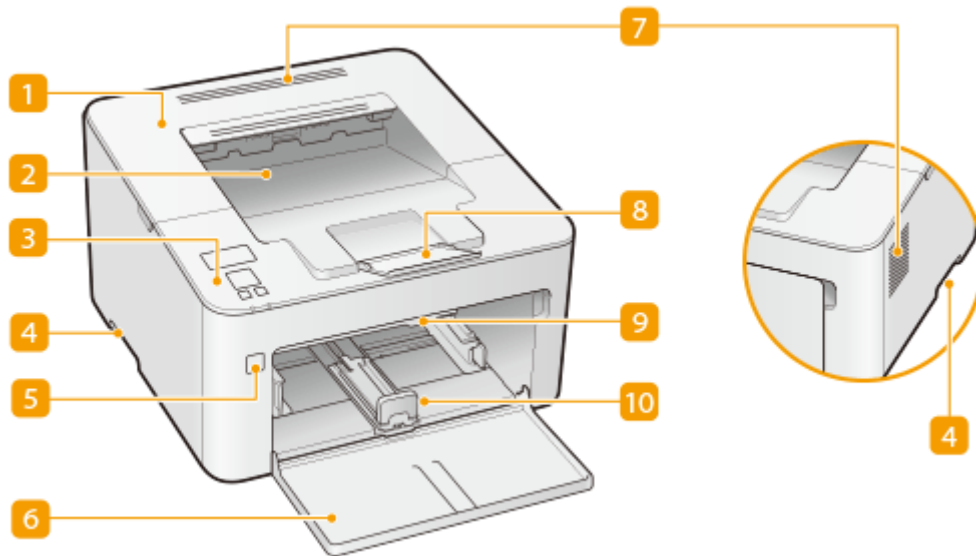
423Y-01H

基本操作に関わる各部について本体外観、前面、背面とそれぞれの部位ごとに名称とはたらきをご紹介します。また、用紙のセットやトナーカートリッジ交換など、基本操作に関わる各部について個別に取り上げているほか、操作パネルのキーの表示についても説明しています。円滑に操作していただく一助としてご活用ください。



- ▶ 本体前面(P. 78)
- ▶ 本体背面(P. 80)
- ▶ 手差しトレイ(P. 81)
- ▶ 給紙カセット(P. 82)
- ▶ 操作パネル(P. 83)

本体前面



1 トナーカバー

トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開けます。

- ▶ トナーカートリッジの交換手順(P. 244)
- ▶ ドラムカートリッジの交換手順(P. 248)

2 排紙トレイ

印刷が終わると、用紙はここに排出されます。

3 操作パネル

[OK] キー、戻るキー、各種ランプ、ディスプレイなどが配置されており、操作/設定はすべてこの操作パネルから行います。

- ▶ 操作パネル(P. 83)
- ▶ おもな画面(P. 88)

4 運搬用取っ手

本機を移動するときには、ここを持ちます。▶ 本機を移動する(P. 252)

5 電源スイッチ

電源を入れたり、切ったりします。本機を再起動するには、電源を切り、10秒待って再び電源を入れます。

6 前カバー

給紙カセットに用紙をセットするときに開けます。

7 通気口

本体内部の換気と冷却を行います。通気口の前に障害物を置くと換気の妨げになりますのでご注意ください。

8 排紙ストッパー

排紙トレイから用紙が落ちないようにする場合に開いて使います。

9 手差しトレイ

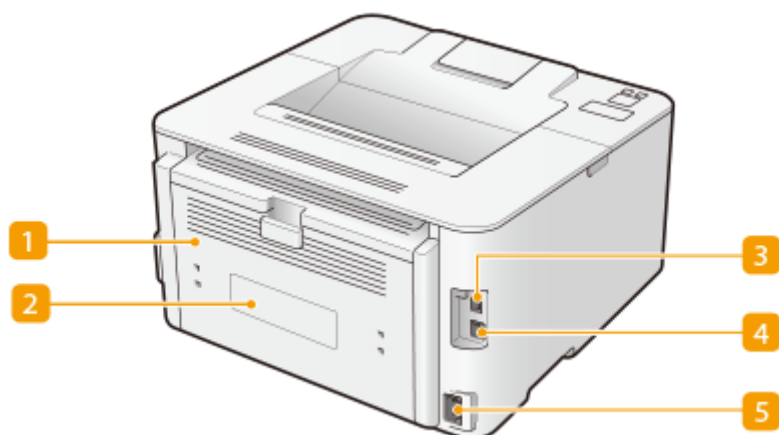
給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときなどは、ここにセットします。▶**手差しトレイにセットする(P. 101)**

10 給紙カセット

印刷に使用する用紙をセットします。▶**給紙カセットにセットする(P. 98)**

本体背面

423Y-01K



1 後ろカバー

つまった用紙を取り除くときに開けます。▶**紙が詰まったら(P. 303)**

2 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要なシリアルナンバーが記載されています。▶**トラブルが解決しないときは(P. 308)**

3 USB ポート

市販の USB ケーブルを使ってパソコンに接続します。

4 LAN ポート (LBP162 / LBP161 のみ)

市販の LAN ケーブルを使って有線 LAN ルーターなどに接続します。▶**有線 LAN に接続する(P. 25)**

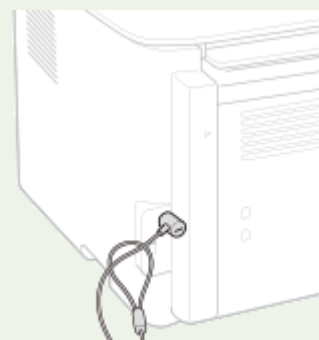
5 電源ソケット

電源コードを接続します。



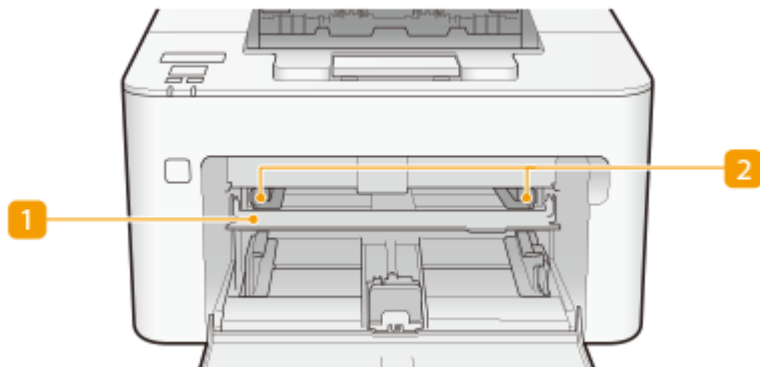
盗難防止用セキュリティースロットについて

- 本機にはセキュリティースロットがあり、セキュリティーワイヤーなどを取り付けることができます。
- セキュリティースロットの穴寸法は、幅 4.2 mm、高さ 8.1 mm です。
- セキュリティースロットに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。



手差しトレイ

423Y-01L



1 手差しトレイ

用紙をセットするときに下げて使います。

2 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の幅にぴったり合わせます。

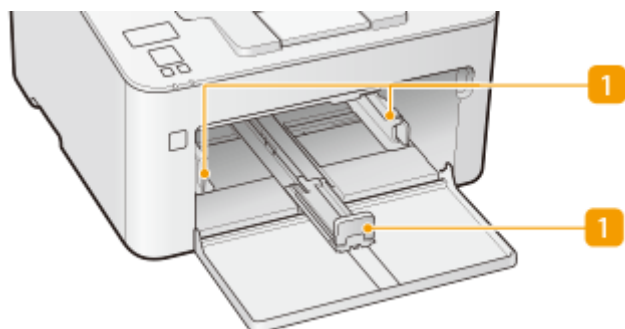


関連項目

▶手差しトレイにセットする(P. 101)

給紙カセット

423Y-01R



1 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の大きさにぴったり合わせます。

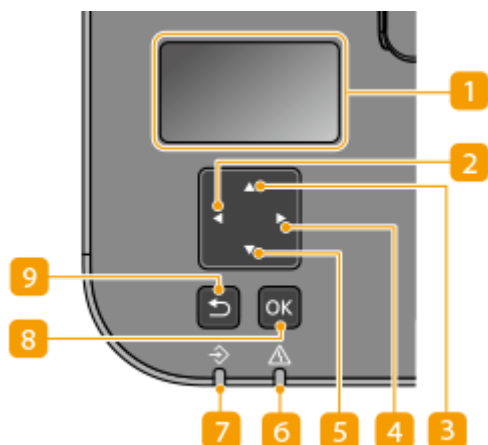


関連項目

- 給紙カセットにセットする(P. 98)

操作パネル

423Y-01S



1 ディスプレー

本機の動作状況やエラー状況、トナーカートリッジ残量などが表示されます。▶**おもな画面(P. 88)**

2 [◀] キー

- 設定時に押すと、前の画面に戻ります。
- 文字入力時に押すと、入力する文字を選択します。
- 設定値変更時に押すと、ディスプレイのコントラストなどの設定値が減少します。

3 [▲] キー

- 設定時に押すと、1つ上の項目を選択します。
- 設定値変更時に押すと、値が増加します。

4 [▶] キー

- 設定時に押すと、次の画面に進みます。
- 文字入力時に押すと、入力する文字を選択します。
- 設定値変更時に押すと、ディスプレイのコントラストなどの設定値が増加します。

5 [▼] キー

- 設定時に押すと、1つ下の項目を選択します。
- 設定値変更時に押すと、値が減少します。

6 エラーランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに点灯または点滅します。

7 実行/メモリーランプ

印刷中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。処理待ちの文書があるときには点灯します。

8 [OK] キー

選択/設定した内容を確定します。

9 戻るキー

現在表示されている画面から1つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに1つ前の画面に戻ることができます。



関連項目

▶ おもな操作方法(P. 93)

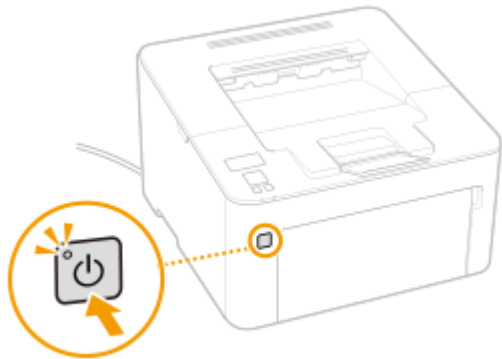
電源を入れる

423Y-01U

電源の入れかたについて説明します。

1 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認する

2 電源スイッチを押す



⇒ 電源ランプが点灯し、印刷可能な状態となります。

MEMO

- お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、白紙が排紙されることがありますが異常ではありません。

関連項目

- ▶ [電源を切る\(P. 86\)](#)

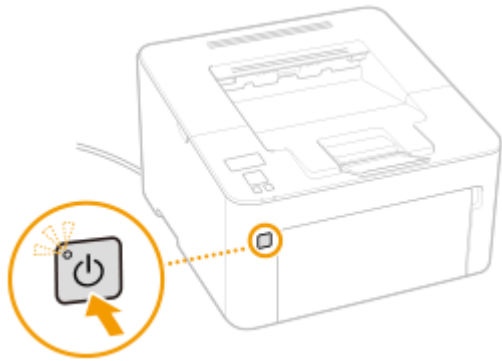
電源を切る

423Y-01W

電源の切りかたについて説明します。

1 電源スイッチを押す

- 電源ランプが消えていることを確認してください。



MEMO

- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。ディスプレイが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。
- 本機に再び電源を入れるときは、電源が切れたあと、10秒以上待ってください。
- 電源を切ってもわずかに電力を消費しています。電力消費をゼロにするには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作パネルを使う

423Y-01X

操作パネルのディスプレイやキーを使って、本機の設定や各機能の操作をすることができます。ここでは、ディスプレイやキーの基本的な使いかたを説明しています。



- ▶おもな画面(P. 88)
- ▶おもな操作方法(P. 93)
- ▶文字を入力する(P. 95)



便利な機能

- ディスプレーの明暗を反転させたい ▶<画面色反転>(P. 215)
- ディスプレーのコントラストを調整したい ▶<画面コントラスト>(P. 215)



関連項目

- ▶操作パネル(P. 83)

おもな画面

423Y-01Y

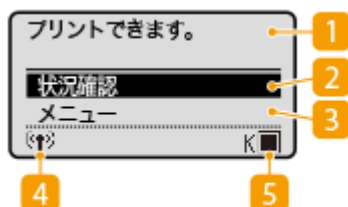
ディスプレイには、各機能の操作を始めるためのホーム画面や設定画面が表示されます。また、エラーメッセージや動作状況などの情報もディスプレイから確認できます。

- ▶ ホーム画面(P. 89)
- ▶ <状況確認>画面(P. 90)
- ▶ メッセージ表示(P. 92)

ホーム画面

423Y-020

電源を入れたときは、ホーム画面が表示されます。この画面から各機能の設定や登録を行います。



1 状態表示

状態やメッセージが表示されます。

2 <状況確認>

印刷状況、使用履歴、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報などを確認できます。また、トナーカートリッジの残量確認、エラー発生状況なども確認できます。▶<状況確認>画面(P. 90)

3 <メニュー>

<プリンター設定>や<環境設定>など、本機で行う設定の多くはこのボタンから始めます。▶設定メニュー一覧(P. 202)

4 Wi-Fi アイコン

無線 LAN に接続しているときに表示されます。

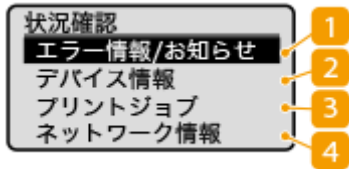
5 トナーカートリッジ残量表示

トナーカートリッジの残量が段階的に表示されます。

<状況確認>画面

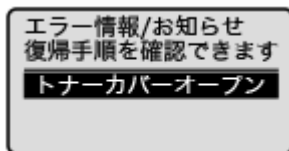
423Y-021

<状況確認>を押すと、文書の状況だけでなく、トナーカートリッジ残量などの本体の状況や、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報も確認できる画面が表示されます。



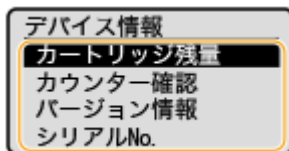
1 <エラー情報/お知らせ>

本機に何らかのエラーが発生しているときに、エラーの内容が表示されます。▶メッセージごとの対処方法 (P. 292)



2 <デバイス情報>

トナーカートリッジ残量などの本機の状況を確認できます。



<カートリッジ残量>

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの残量を表示します。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

<カウンター確認>

これまでの総印刷枚数を表示します。▶印刷ページ数を確認する (P. 254)

<バージョン情報>

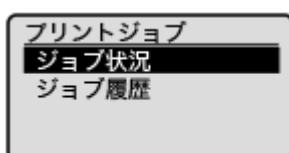
ファームウェアのバージョン情報を表示します。

<シリアル No.>

シリアルナンバーを表示します。

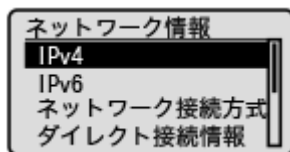
3 <プリントジョブ>

現在の印刷状況や印刷した文書の履歴を表示します。▶印刷状況や履歴を確認する (P. 126)



4 <ネットワーク情報>

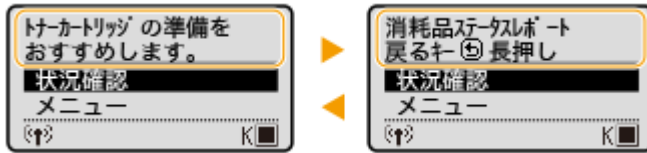
IP アドレスなどのネットワークの設定内容や、無線 LAN の通信状況が良好であるかどうかを確認できます。▶
ネットワークの設定を確認する(P. 46)



メッセージ表示

423Y-022

用紙がなくなったときや、トナーカートリッジが寿命に達したときなどに、画面にメッセージが表示されます。メッセージは、図のように交互に切り替わります。▶メッセージごとの対処方法(P. 292)



エラーが発生したとき

エラー発生時に対処方法が表示されることがあります。画面の指示に従って操作を進めてください。以下の画面は、紙づまりが発生したときの表示例です。



おもな操作方法

423Y-023

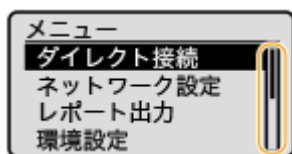
各種機能の設定や設定内容の確認には、以下のキーを使用します。



▲ / ▼ を使う

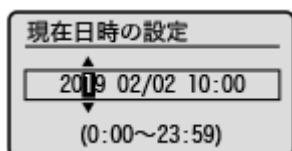
■画面をスクロールする

画面右端にスクロールバーが表示されている場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、▲ / ▼ で画面をスクロールしてください。現在選択されている項目は反転して表示されます。



■数値を変更する

数値を入力するときは、▲ / ▼ を使います。



- 入力欄の下に表示されている () 内の数値が入力範囲です。
- ▲ / ▼ は、入力する文字の選択にも使用できます。▶ **文字を入力する(P. 95)**

◀ / ▶ を使う

■次の画面に進む / 前の画面に戻る

次の画面に進むときは ▶ を押します。前の画面に戻るときは ◀ を押します。

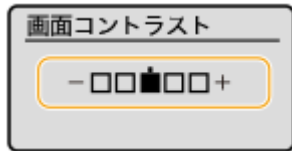


MEMO

- 次の画面には **OK** を押して進むこともでき、前の画面には戻るキーを押して戻ることもできます。

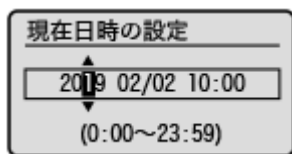
■設定値を調整する

スライダーの目盛を調整する場合は ◀/▶ を使います。



■カーソルを移動する

文字や数字を入力するときに ◀/▶ を使います。

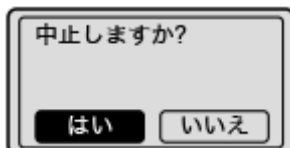


MEMO

- 文字を入力するときは画面に表示された ◀◀>>/<>▶▶ を使用してカーソルを移動します。▶ **文字を入力する** (P. 95)

OK を使う

確定するときは **OK** を押します。



便利な機能

- スクロール文字速度や表示言語の切り替えなど、画面表示に関する各種設定を変更したい ▶ **<表示設定>** (P. 215)

文字を入力する

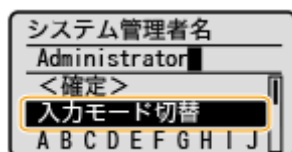
423Y-024

文字や数字を入力するときは画面上のキーを使います。入力したい文字や数字を選択し、**OK** を押して入力します。



文字の種類を切り替える

<入力モード切替>を選択し、**OK** を押して画面に表示する文字の種類を切り替えます。文字の種類を選択し、**OK** を押します。



文字を削除する

画面の<☐>を選択し、**OK** を押すと入力した文字が削除されます。



- <◀>または<▶>が画面に表示されないときは、画面の<☐>を選択して **OK** を押すと、入力した文字がすべて削除されます。

スペースを入力する

<スペース>を選択して **OK** を押すと、スペースが入力されます。



- 文字の最後にカーソルを合わせて<▶>を選択し、**OK** を押してもスペースを入力することができます。

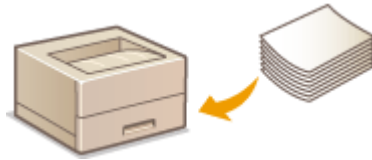
カーソルを移動する

画面で<◀>または<▶>を選択し、**OK** を押します。

用紙をセットする

423Y-025

用紙は給紙カセットと手差しトレイにセットできます。使用できる用紙のサイズと種類については、**用紙について(P. 321)**を参照してください。



用紙について

- 用紙についての注意事項(P. 96)
- 本機で印刷した用紙の保管について(P. 97)

用紙のセット方法

- 給紙カセットにセットする(P. 98)
- 手差しトレイにセットする(P. 101)
- 封筒・はがきをセットする(P. 104)
- ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 109)

セットした用紙の設定

- 用紙サイズと種類を設定する(P. 111)

用紙についての注意事項



次の用紙は使用しない

- 紙づまりや印刷不良の原因になることがあります。
 - しわや折り目がある紙
 - カールした紙や巻いた紙
 - 破れた紙
 - 湿った紙
 - 非常に薄い紙
 - 薄いわら半紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙のウラ面
 - 目の粗い紙
 - つるつるした紙
 - インクジェット専用の郵便はがき

用紙を使うときは

- 用紙は本機が設置されている環境に十分慣らしてからご使用ください。異なる温度／湿度に保管されていた用紙を使用すると、紙づまりや印字不良が起こる場合があります。

用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐにお使いになることをおすすめします。用紙が残った場合は、入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管してください。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したままにしておいてください。
- 用紙が丸まったり折れ目が付いたりするような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、多く積み重ねたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥している場所、使用場所との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないでください。



湿った用紙に印刷すると

- 排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがあります。これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためです。異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

本機で印刷した用紙の保管について

本機で印刷した用紙の取り扱いや保管には、次のことに気を付けてください。

■ 印刷した用紙の保管方法

- 平らな場所に保管してください。
- クリアホルダなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものといっしょに保管しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管してください。トナーがはがれることがあります。
- 長期間（2年以上）保管するときはバインダーなどに入れて保管してください。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントが変色したように見えることがあります。
- 高温の場所には保管しないでください。

■ のり付けするときの注意

- 不溶性の接着剤を必ず使用してください。
- 不要になった印刷物で試してから、接着剤を使用してください。
- のり付けした用紙を重ねるときは、完全に乾いていることを確認してください。



● 定形外サイズの内紙を登録する(P. 115)

給紙カセットにセットする

423Y-026

普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは、手差しトレイに用紙をセットします。●**手差しトレイにセットする(P. 101)**



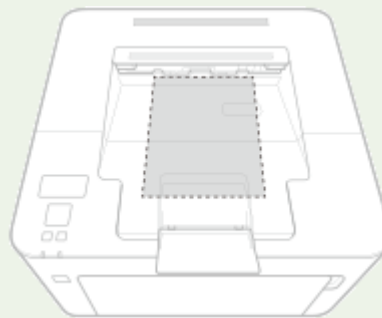
A5 サイズの用紙をセットするとき

- 用紙をセットした向きに応じて、用紙サイズを設定してください。用紙を横置きでセットしたいときは、プリンタードライバー側で設定する必要があります。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

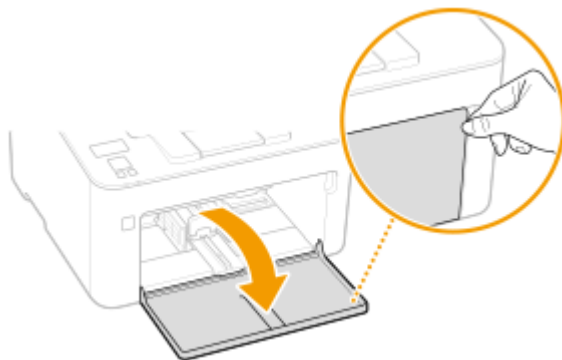
ヨコ置き



タテ置き

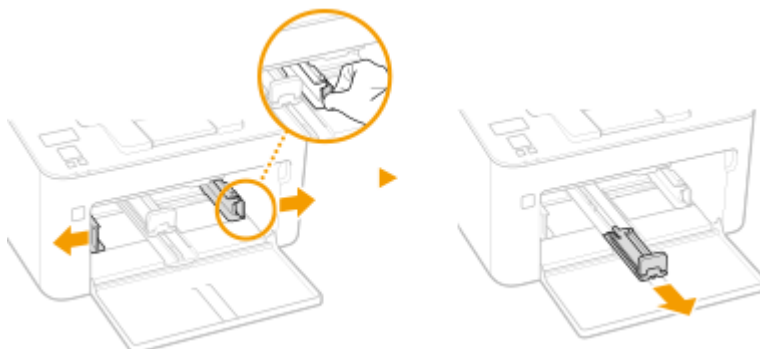


1 前カバーを開ける



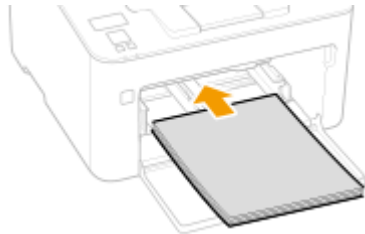
2 用紙ガイドを広げる

- 用紙ガイドを外側へ移動します。



3 用紙を奥に突き当ててセットする

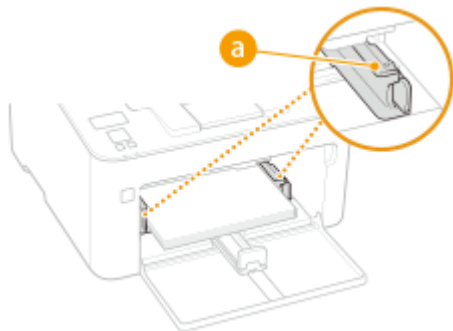
- 印刷面を上にして用紙の短辺から差し込みます。ヨコ向きにセットすることはできません。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所を用紙の端をそろえてからセットしてください。
- <用紙設定の確認表示>が<ON>に設定されている場合、用紙をセットすると、確認画面が表示されます。▶<用紙設定の確認表示>(P. 215)



● **ご注意**

積載制限ガイドを超えないようにセットする

用紙は積載制限ガイド (a) を超えないようにセットしてください。給紙不良の原因になります。



MEMO

封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは ▶封筒・はがきをセットする(P. 104) または ▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 109) を参照してください。

4 用紙ガイドを用紙に合わせる

- 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせます。



● **ご注意**

用紙ガイドを用紙にぴったり合わせる

ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。


5 前カバーを閉める



MEMO

- 印刷するときは、排出された用紙が排紙トレイからずれ落ちないように、排紙ストッパーを開いてください。



≫ 続いて、 給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 112) に進む




● **ご注意ください**

用紙サイズや種類を変更したとき

- お買い上げ時、用紙サイズは< A4 >、用紙種類は< 普通紙 L >に設定されています。用紙サイズや種類を変更したときは、設定も必ず変更してください。変更せずにお使いになると正しく印刷されません。



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして給紙カセットまたは手差しトレイ（ **手差しトレイにセットする(P. 101)**）にセットしてください。
 - 手差しトレイを使う場合は、印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
 - 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
 - 一度印刷した面の上からさらに印刷することはできません。
 - A5 サイズの用紙にウラ面印刷した場合、正しく印刷できないことがあります。



関連項目

 **用紙について(P. 321)**

手差しトレイにセットする

423Y-027

給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは手差しトレイにセットします。普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。●給紙カセットにセットする(P.98)



一度にセットできる用紙は1枚だけ

- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。



A5 サイズの用紙をセットするとき

- 用紙をセットした向きに応じて、用紙サイズを設定してください。用紙を横置きでセットしたいときは、プリンタードライバー側で設定する必要があります。詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

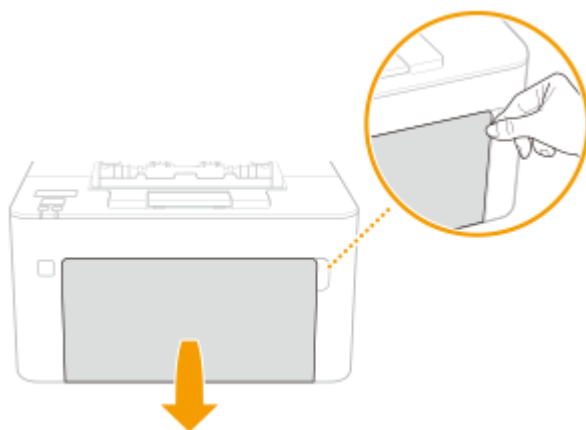
ヨコ置き



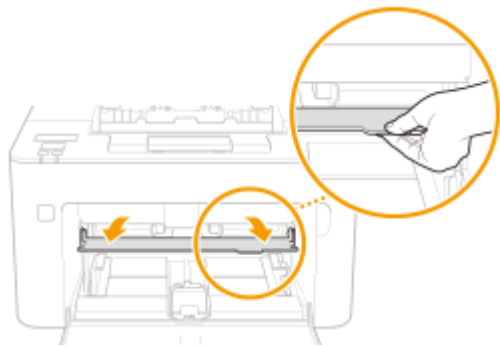
タテ置き



1 前カバーを開ける

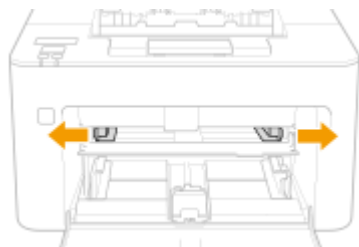


2 手差しトレイを下げる



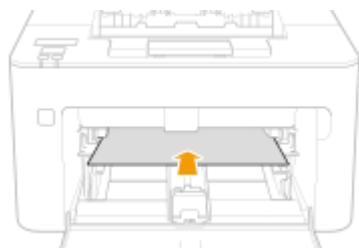
3 用紙ガイドを広げる

- 用紙ガイドを外側へ移動します。



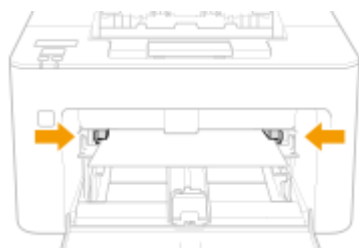
4 用紙が奥に当たるまでゆっくりと差し込む

- 印刷面を上にして差し込みます。



- 封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは、▶封筒・はがきをセットする(P. 104) または ▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 109) を参照してください。

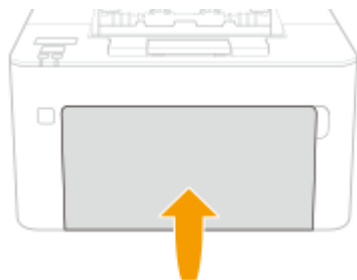
5 用紙ガイドを用紙に合わせる



用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になったりします。

6 前カバーを閉める



≫ 続いて、**手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 113)**に進む



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして給紙カセット（**給紙カセットにセットする(P. 98)**）または手差しトレイにセットしてください。
 - 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
 - 一度印刷した面の上からさらに印刷することはできません。
 - A5 サイズの用紙にウラ面印刷した場合、正しく印刷できないことがあります。



関連項目

用紙について(P. 321)

封筒・はがきをセットする

423Y-028

封筒やはがきをセットするときは、カールを取るなどの準備作業を確実に行う必要があります。また、セットする面や向きにも注意が必要です。

🔴封筒をセットする(P. 104)

🔴はがきをセットする(P. 106)



- ここでは、封筒をセットする前に行う準備と、封筒やはがきをセットする際の正しい向きについて説明しています。封筒やはがきを給紙カセットや手差しトレイにセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。
 - 🔴給紙カセットにセットする(P. 98)
 - 🔴手差しトレイにセットする(P. 101)

封筒をセットする

■封筒をセットする前に

セットする前に、以下の手順で封筒を整えてください。



- 手差しトレイに一度にセットできる封筒は1枚だけです。ただし、以下の手順1~3の準備は必要です。

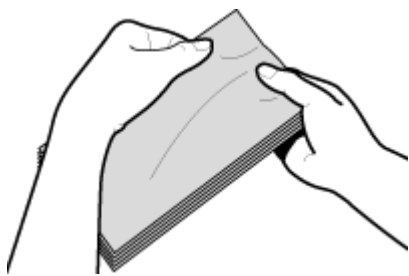
1 ふたを閉じる



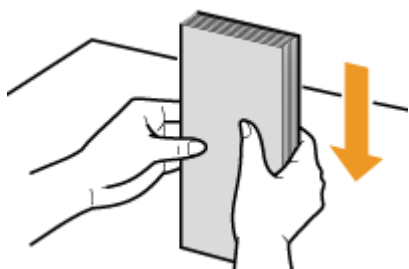
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかり付けたあと、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにしてカールを取る



4 平らな場所でそろえる

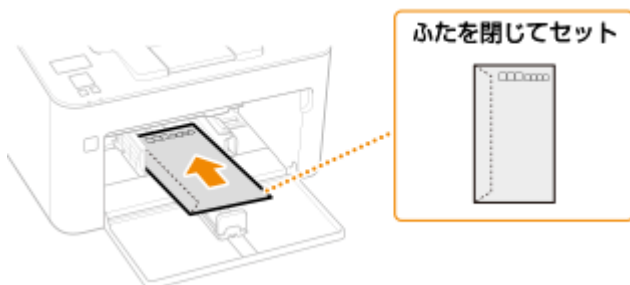


■ 給紙カセットにセットする

貼り合わせのない面（オモテ面）を上にして、封筒の長辺がカセットの長辺と平行になるようにタテ向きでセットします。

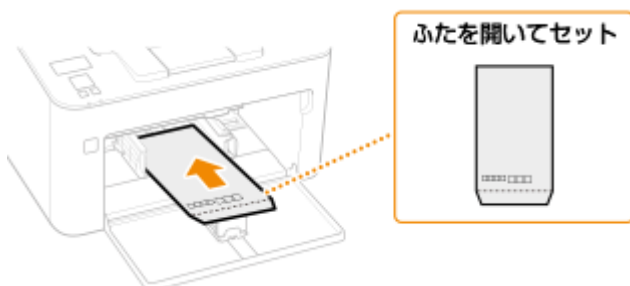
洋形長3号

封筒のふたが左側になるようにセットします。



長形3号

封筒のふたが手前側になるようにセットします。



■手差しトレイにセットする

貼り合わせのない面（オモテ面）を上にして、封筒の短辺から差し込みます。

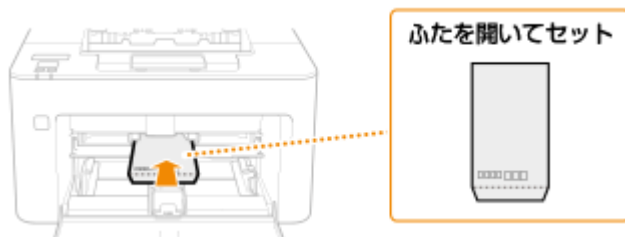
洋形長3号

封筒のふたを左にして差し込みます。



長形3号

封筒のふたを手前にして差し込みます。



はがきをセットする



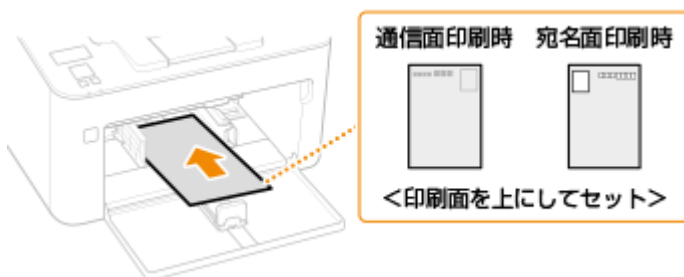
- はがきの自動両面印刷はできません。両面印刷するときは、まず片面を印刷してから反対面を印刷してください。
- はがきはカールを取ってからセットしてください。カールしたままでは、斜めに印刷されたり、画像がゆがんで印刷されたりすることがあります。

■給紙カセットにセットする

印刷面を上にして、はがきの長辺がカセットの長辺と平行になるようにタテ向きでセットします。

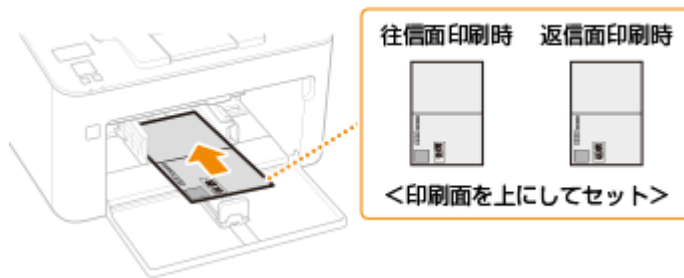
はがき

はがきの上端が奥側になるようにセットします。



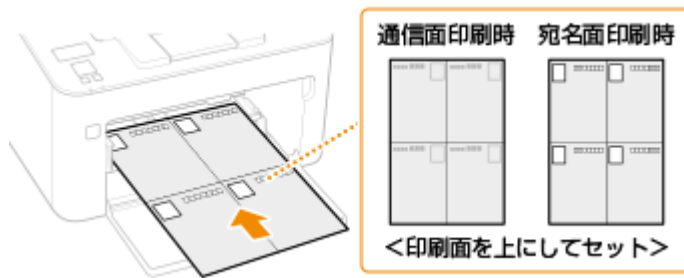
往復はがき

はがきを上げた状態で上端が左側になるようにセットします。



4面はがき

はがきの上端が奥側になるようにセットします。

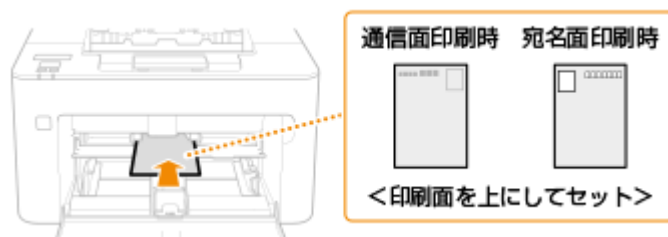


■手差しトレイにセットする

印刷面を上にして、はがきの短辺から差し込みます。

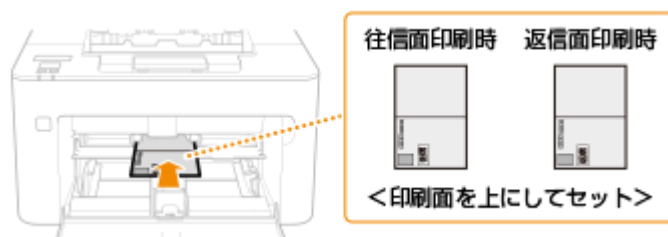
はがき

はがきの上端から差し込みます。



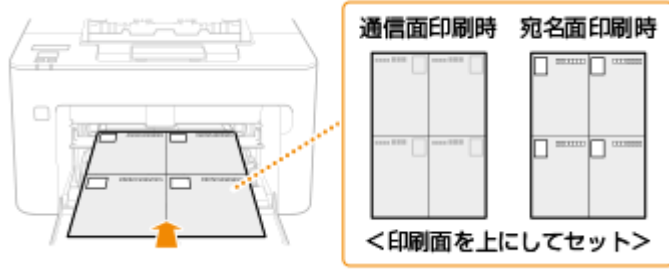
往復はがき

はがきを上げた状態で右端から差し込みます。



4面はがき

はがきの上端から差し込みます。



ロゴなどが印刷された用紙をセットする

423Y-029

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、用紙の向きに注意する必要があります。ロゴマークなどがある面に正しい向きで文書を印刷するために、レイアウトや印刷のしかたに応じて用紙をセットしてください。



- ▶ ロゴ入り用紙に片面印刷する(P. 109)
- ▶ ロゴ入り用紙に両面印刷する(P. 110)

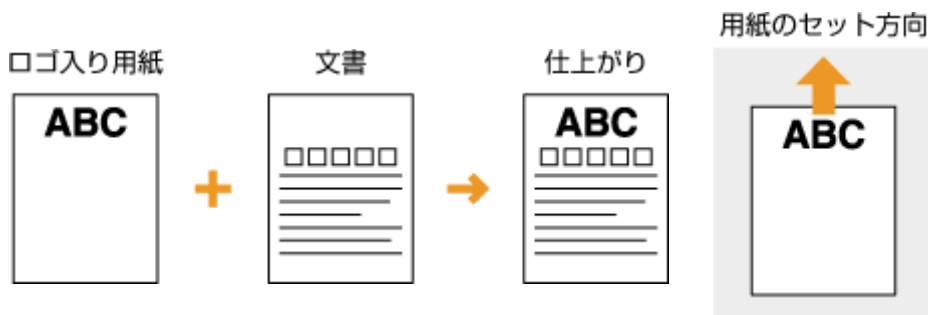
MEMO

- ここでは、ロゴマークなどが印刷された用紙をセットするときの正しい向きについて説明しています。用紙を給紙カセットや手差しトレイにセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。
 - ▶ 給紙カセットにセットする(P. 98)
 - ▶ 手差しトレイにセットする(P. 101)

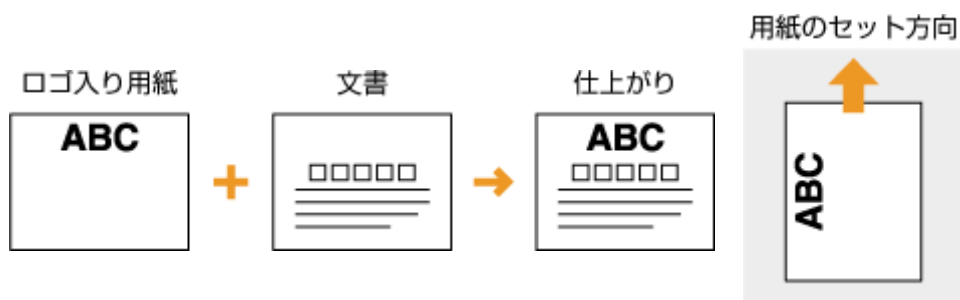
ロゴ入り用紙に片面印刷する

ロゴのある面（文書を印刷する面）を上向きにセットしてください。

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



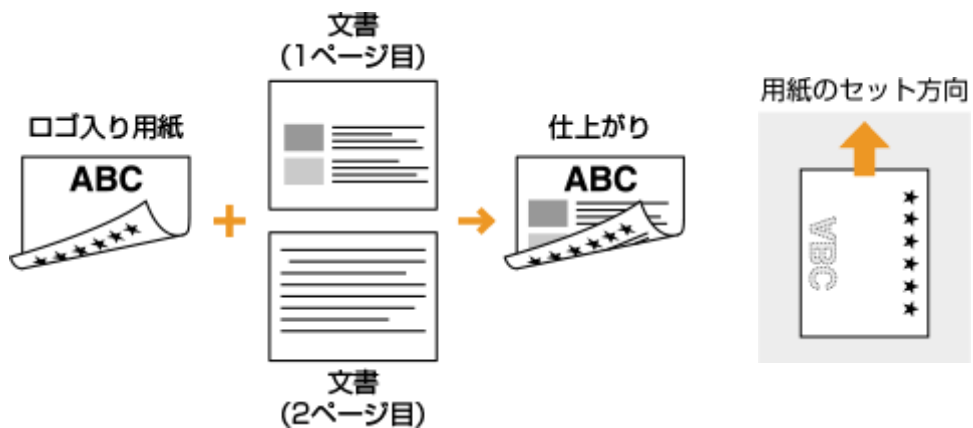
ロゴ入り用紙に両面印刷する

ロゴのある面（文書の1ページ目を印刷する面）を下向きにセットしてください。

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



MEMO

<給紙方法切替>設定について

- ロゴ入り用紙に片面印刷するときと両面印刷するときでは、用紙のセット面を変える必要がありますが、<給紙方法切替>を<プリント面優先>に設定すると、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ（ロゴのある面を下向き）にすることができます。片面印刷と両面印刷をひんばんに使い分ける場合に設定しておく便利です。▶<給紙方法切替> (P. 221)

用紙サイズと種類を設定する

423Y-02A

用紙サイズと種類が設定できないアプリケーションから印刷する場合は、本機で設定します。今までセットされていた用紙と異なる用紙をセットした場合も、忘れずに設定を変更してください。

- 給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 112)
- 手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 113)
- 定形外サイズの用紙を登録する(P. 115)
- 用紙サイズを絞り込んで表示する(P. 116)



- セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷できないだけでなく、紙づまりや印刷不良の原因となります。

給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する

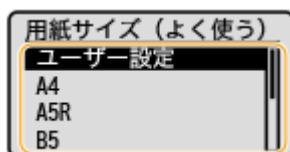
423Y-02C

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ▶ ホーム画面(P. 89)

2 <用紙設定(モバイル)> ▶ <サイズ/種類設定>の順に進む

3 用紙のサイズを選ぶ

- セットした用紙サイズが表示されていないときは、<その他のサイズ>を選びます。



■ 定形サイズ以外の用紙を設定する

1 <ユーザー設定>を選ぶ

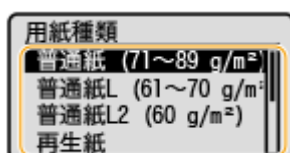
2 <X>辺と<Y>辺の長さを設定する

- <X> ▶ <X>辺の長さを ▲/▼ を使って入力 ▶ **OK** ▶ <Y> ▶ <Y>辺の長さを入力 ▶ **OK** の順に操作します。



3 <確定>を選ぶ

4 用紙の種類を選ぶ



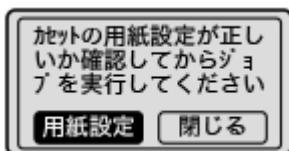
関連項目

- ▶ 給紙カセットにセットする(P. 98)
- ▶ 用紙サイズを絞り込んで表示する(P. 116)
- ▶ 用紙について(P. 321)

手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する

423Y-02E

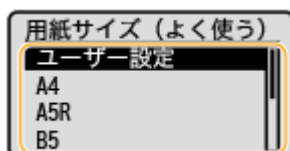
手差しトレイに用紙をセットすると、以下の画面が表示されますので、用紙に合わせて用紙サイズと種類を設定してください。



1 <用紙設定>を選ぶ

2 用紙の種類を選ぶ

- セットした用紙サイズが表示されていないときは、<その他のサイズ>を選びます。



■定形サイズ以外の用紙を設定する

1 <ユーザー設定>を選ぶ

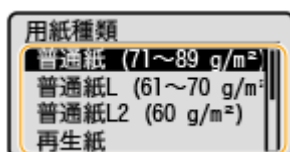
2 <X>辺と<Y>辺の長さを設定する

- <X> ▶ <X>辺の長さを ▲/▼ を使って入力 ▶ **OK** ▶ <Y> ▶ <Y>辺の長さを入力 ▶ **OK** の順に操作します。



3 <確定>を選ぶ

3 用紙の種類を選ぶ



関連項目


▶手差しトレイにセットする(P. 101)

- ▶用紙サイズを絞り込んで表示する(P. 116)
- ▶用紙について(P. 321)

定形外サイズの内紙を登録する


423Y-02F

定形サイズ以外の内紙で、よく使うサイズを登録できます。

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ  ホーム画面(P. 89)

2 <用紙設定(モバイル)> ▶ <サイズ/種類設定> ▶ <ユーザー設定>の順に進む

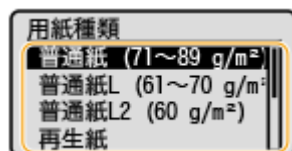
3 <X>辺と<Y>辺の長さを設定する

- <X> ▶ <X>辺の長さを ▲/▼ を使って入力 ▶  ▶ <Y> ▶ <Y>辺の長さを入力 ▶  の順に操作します。





4 <確定>を選ぶ

5 用紙の種類を選ぶ




関連項目

-  給紙カセットにセットする(P. 98)
-  手差しトレイにセットする(P. 101)

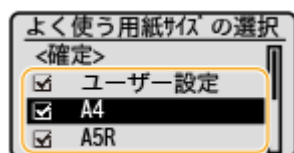
用紙サイズを絞り込んで表示する

423Y-02H

よく使う用紙サイズだけを、用紙サイズ設定の選択画面に表示させることができます。

- 1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ  ホーム画面(P. 89)
- 2 <用紙設定(モバイル)> ▶ <よく使う用紙サイズの選択>の順に進む
- 3 表示させない用紙サイズのチェックマークを外す

- よく使う用紙サイズだけにチェックマークが付いている状態にします。





- チェックマークを外した用紙サイズは、用紙サイズ設定の選択画面で<その他のサイズ>を選ぶと表示されます。

- 4 <確定>を選ぶ



関連項目

-  給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 112)
-  手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 113)

静音モードにする

423Y-02K

静音モードは、本機の動作音を抑える機能です。時間を指定して自動的に静音モードに移行させることもできます。



静音モードを有効にした場合

- 各機能の動作が遅くなります。

静音モードにならない場合

- 特殊印字モードを設定しているとき
- 特定の用紙サイズや用紙種類を設定しているとき

静音モードにする



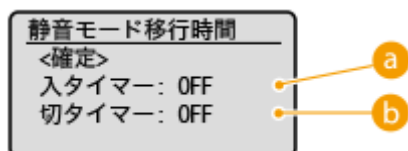
<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <静音モードの ON/OFF > ▶ < ON >

時間を指定して静音モードにする

静音モードへ自動的に移行したり、解除したりする時間が設定できます。たとえば、深夜だけ稼働音を抑えたいときなどに便利です。

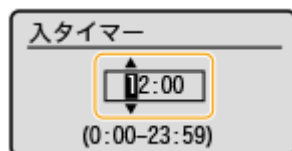


<メニュー> ▶ <タイマー設定> ▶ <静音モード移行時間> ▶ 各設定項目を指定 ▶ <確定>



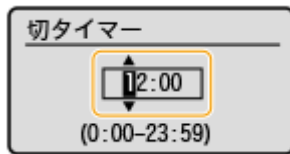
a <入タイマー>

静音モードに移行する時間を設定します。設定する場合は< ON >を選んで **OK** を押したあと、時刻を設定します。



b <切タイマー>

静音モードを解除する時間を設定します。設定する場合は< ON >を選んで **OK** を押したあと、時刻を設定します。



静音モードを解除するとき



スリープモードにする

423Y-02J

スリープモードは、本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。たとえば、昼休みなどで本機をしばらく使わない場合、自動的にスリープモードに移行します。



状態を確認するには

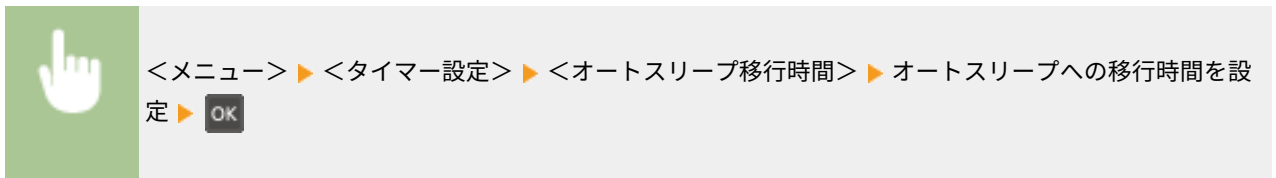
- スリープモード時は、ディスプレイが消灯します。

スリープモードにならない場合

- 本機で何らかの操作をしている
- 実行/メモリーランプが点灯または点滅している
- 調整中やクリーニング中など、本機が動作中
- 紙づまりが発生している
- メニュー画面が表示されている
- エラーメッセージが表示されている（例外もあり、スリープモードになることもあります。）
- 本機が無線 LAN 接続やダイレクト接続の待機中

オートスリープ移行時間を変更する

一定時間何の操作も行わないと自動的にスリープモードに移行する機能をオートスリープといいます。効果的な節電のためにお買い上げ時の設定（▶<タイマー設定>（P. 218））でお使いになることをおすすめしますが、移行時間を変更する場合は以下の手順で行ってください。



スリープモードを解除するとき

電源スイッチを除く、操作パネルのいずれかのキーを押すと解除されます。

プリントする

プリントする	121
パソコンから印刷する	122
印刷を中止する	124
印刷状況や履歴を確認する	126

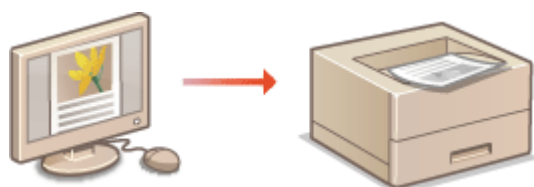
プリントする

423Y-02L

プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を印刷することができます。

■ パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書を、プリンタードライバーを使って印刷できます。



▶ **パソコンから印刷する(P. 122)**



便利な機能

モバイル機器から印刷する

- スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を本機と連携させることで、手軽に写真やウェブページを印刷できます。また、Google Cloud Print™にも対応しています。

▶ **モバイル機器と連携する(P. 129)**

▶ **Google Cloud Print を使う(P. 144)**

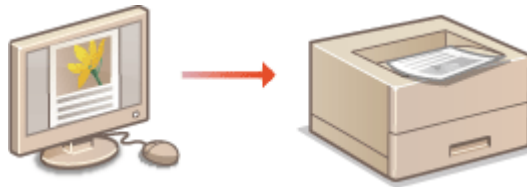
静かに印刷する

- 印刷時の稼働音が気になるときは、静音モードにすることで稼働音を抑えることができます。ただし、静音モードで印刷すると、印刷速度が遅くなります。

パソコンから印刷する

423Y-02R

アプリケーションで作成した文書を、パソコンのプリンタードライバーを使って印刷します。プリンタードライバーには、拡大／縮小や両面印刷などの設定が用意されていますので、さまざまな形で印刷できます。これらの機能を使うには、パソコンにプリンタードライバーをインストールするなどのいくつかの準備が必要です。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



- ▶ プリンタードライバーのヘルプについて(P. 122)
- ▶ 印刷の基本操作(P. 122)

プリンタードライバーのヘルプについて

プリンタードライバー画面の [ヘルプ] をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ユーザーズガイドに記載されていない項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。

印刷の基本操作

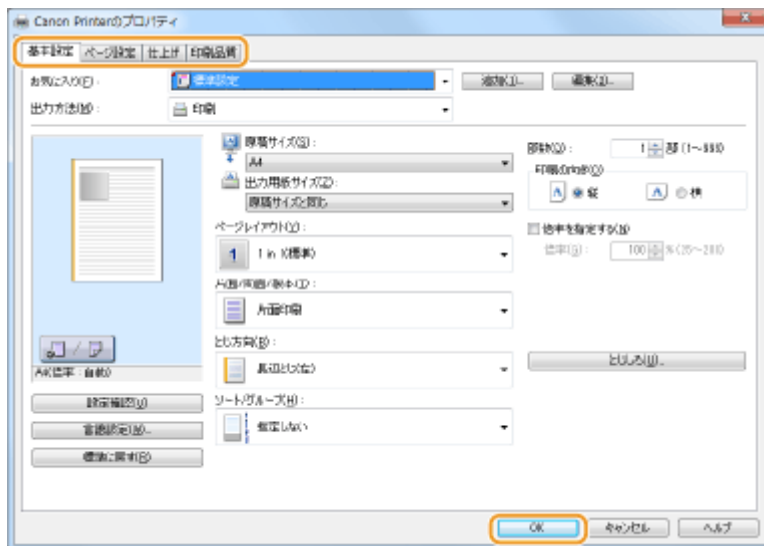
プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を本機で印刷する方法を説明します。



MEMO 本体の用紙設定について

- 通常は給紙カセットにセットした用紙サイズと種類を、あらかじめ操作パネルで設定しておく必要があります。

- 1** アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる
- 2** 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
- 3** 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする
 - 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。



4 [印刷] または [OK] をクリックする

⇒ 印刷が開始されます。

- 中止したいときは、**印刷を中止する(P. 124)** を参照してください。



関連項目

- **印刷状況や履歴を確認する(P. 126)**

印刷を中止する

423Y-02S

パソコンから印刷を中止する方法と、本機の操作パネルから中止する方法があります。

- ▶ パソコンから(P. 124)
- ▶ 操作パネルから(P. 125)

パソコンから

デスクトップのタスクトレイに表示されているプリンターアイコンから印刷を中止できます。

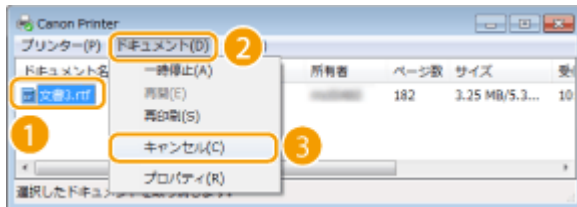
1 プリンターアイコンをダブルクリックする



プリンターアイコンが表示されていないとき

- プリンターフォルダーを開き（▶ [プリンターフォルダーの表示方法\(P. 337\)](#)）、本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして「印刷ジョブの表示」をクリックします（または、本機のアイコンをダブルクリックします）。

2 中止したい文書を選んで、[ドキュメント] ▶ [キャンセル] をクリックする



3 [はい] をクリックする

⇒ 選択した文書が中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



便利な機能

リモート UI から中止する

- リモート UI の [ジョブ状況] ページから印刷を中止することができます。▶印刷文書の状況を確認する(P. 188)

アプリケーションから中止する

- アプリケーションによっては、印刷中に次のような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックして印刷を中止することができます。



操作パネルから

<状況確認>で中止します。

■印刷状況を確認してから中止する



<状況確認> ▶ <プリントジョブ> ▶ <ジョブ状況> ▶ 文書を選択 ▶ <中止> ▶ <はい>



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



関連項目

- ▶印刷の基本操作(P. 122)
- ▶印刷状況や履歴を確認する(P. 126)

印刷状況や履歴を確認する

423Y-02U

現在の印刷状況や印刷した文書の履歴を確認できます。



● **ご注意**

- <ジョブ履歴表示の ON/OFF >が< OFF >に設定されていると、印刷履歴は確認できません。▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF >(P. 234)



次のようなときに便利です

- 文書がなかなか印刷されないので、順番待ちの状況を確認したい。
- 印刷したはずの文書が見当たらないので、エラーが起きていないか確認したい。

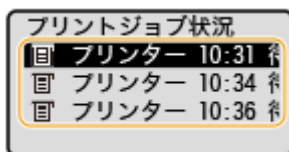
1 <状況確認>を選ぶ

2 <プリントジョブ>を選ぶ

3 印刷状況または履歴を確認する

■印刷状況を確認する

- 1 <ジョブ状況> ▶ 状況を確認したい文書を選ぶ

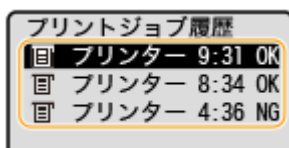


⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

■印刷履歴を確認する

- 1 <ジョブ履歴> ▶ 履歴の内容を確認したい文書を選ぶ

- 正しく印刷された文書には< OK >と表示されます。< NG >と表示されている場合は、印刷を中止したか、エラーが発生したことを示しています。



⇒ 文書の詳細情報が表示されます。

- 文書名やユーザー名は、使われている文字によっては正しく表示されない場合があります。



< NG >のときに3桁の数字が表示されている場合

- 3桁の数字はエラーコードを表しています。▶[エラーコードごとの対処方法\(P. 302\)](#)を参照してください。



関連項目

- ▶[印刷の基本操作\(P. 122\)](#)
- ▶[印刷を中止する\(P. 124\)](#)

モバイル機器と連携する

モバイル機器と連携する	129
モバイル機器と接続する	130
無線 LAN ルーターを介して接続する (LAN 接続)	131
ダイレクト接続する (アクセスポイントモード)	132
アプリを使って本機を活用する	135
AirPrint を使う	136
AirPrint で印刷する	140
AirPrint を使用できないときは	143
Google Cloud Print を使う	144
本機を遠隔管理する	146

モバイル機器と連携する

423Y-02W

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と本機を連携させることで、アプリを使って印刷などが手軽に行えます。また、モバイル機器から本機を遠隔操作し、印刷状況を確認したり、本機の設定を変更したりすることもできます。



- ▶ **モバイル機器と接続する**(P. 130)
- ▶ **ダイレクト接続する (アクセスポイントモード) (P. 132)**
- ▶ **アプリを使って本機を活用する**(P. 135)
- ▶ **AirPrint を使う**(P. 136)
- ▶ **Google Cloud Print を使う**(P. 144)
- ▶ **本機を遠隔管理する**(P. 146)



ご注意

- ご使用のモバイル機器によっては、正しく動作しないことがあります。

モバイル機器と接続する

423Y-02X

モバイル機器と本機を接続する方法には、無線 LAN ルーターを介した方法と、本機とダイレクトに無線で通信する方法があります。通信環境やお使いの機器に合わせて接続方法を選んでください。

■無線 LAN ルーターを介して接続する

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介して、モバイル機器と本機を接続します。▶無線 LAN ルーターを介して接続する (LAN 接続) (P. 131)



■ダイレクト接続する

無線 LAN ルーターを介さずに、モバイル機器と本機を無線で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、すぐに本機と無線で接続することができます。▶ダイレクト接続する (アクセスポイントモード) (P. 132)



無線 LAN ルーターを介して接続する (LAN 接続)

423Y-02Y

本機が接続しているネットワークに無線 LAN ルーターがつながっていれば、パソコンと同様にモバイル機器と無線 LAN ルーターを介した通信が可能です。お使いの無線 LAN ルーターとモバイル機器の接続方法については、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。本機は、有線 LAN または無線 LAN でルーターに接続してください。▶**ネットワーク環境を設定する(P. 22)**



MEMO

- お使いのモバイル機器が IPv6 に対応していない場合は、IPv4 アドレスを使用してください。▶**IPv4 アドレスを設定する(P. 40)**

1 ホーム画面で、<状況確認>を選ぶ ▶**ホーム画面(P. 89)**

2 <ネットワーク情報>を選ぶ

3 本機の IP アドレスを表示する

■IPv4 の場合

- < IPv4 > ▶ < IP アドレス > の順に選びます。

■IPv6 の場合

- < IPv6 > ▶ < リンクローカルアドレス > ▶ < IP アドレス > の順に選びます。

4 画面に表示された IP アドレスにモバイル機器から接続する

ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）

423Y-030


無線 LAN ルーターのない環境でも、モバイル機器から無線で本機に直接接続できる「アクセスポイントモード」を使うことで、お手元のモバイル機器と本機を難しい設定なしに接続することができます。




- ▶ダイレクト接続（アクセスポイントモード）を準備する(P. 132)
- ▶ダイレクト接続する(P. 133)


ダイレクト接続（アクセスポイントモード）を準備する

次の順序でアクセスポイントモードを使った接続作業を行います（IPv4 環境のみ）。

- 1  **本機のネットワーク環境を設定する**

 - ネットワーク環境を設定してください。▶**ネットワーク環境を設定する(P. 22)**

アクセスポイントモードで使用する場合でも、本機のネットワーク環境を設定しておく必要があります。
- 2  **モバイル機器の準備をする**

 - モバイル機器を Wi-Fi に接続できるように設定してください。
- 3  **本機の接続準備をする**

 - <メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ダイレクト接続設定> ▶ <ダイレクト接続を使用>を< ON >に設定してください。

MEMO

ダイレクト接続用の IP アドレスを変更したいときは

- ダイレクト接続用の IP アドレスは自動的に設定されます。IP アドレスを任意に設定することも可能です。▶<ダイレクト接続時の IP アドレスを設定> (P. 206)

自動切断の時間を設定する

- ダイレクト接続時に自動的に切断する時間を設定できます。▶<ダイレクト接続の自動切断時間>(P. 206)

モバイル機器を複数台同時に接続したいときは

- 本機の SSID とネットワークキーを任意に設定してください。ネットワークキーは空欄のままでも設定できます。
● <アクセスポイントモード設定>(P. 206)

ダイレクト接続する



- 本体とモバイル機器の接続完了までに時間がかかる場合があります。

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ●ホーム画面(P. 89)

- すでに接続中のモバイル機器がある場合は、**OK** を押し、手順 3 に進みます。

2 <ダイレクト接続>を選ぶ

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作を進めてください。

3 <SSID/ネットワークキーを表示>を選ぶ

4 画面に表示された SSID とネットワークキーの情報を使用してモバイル機器から Wi-Fi 設定を行う

5 目的の操作を終えたら、**OK** を押して<停止> ▶ <はい>の順に選ぶ



- 接続されているモバイル機器を確認するには、ダイレクト接続中の画面で<接続情報>を選んでください。



- ダイレクト接続中、お使いのモバイル機器によってはインターネットに接続できないことがあります。
- SSID とネットワークキーを表示中に、モバイル機器から 5 分以内に無線接続を行わなかった場合、接続待機状態が終了します。
- ダイレクト接続で通信中、本機とモバイル機器とでデータの送受信がない状態が続くと、通信が終了する場合があります。
- ダイレクト接続中はスリープモードの節電効果が下がります。

- 本機が無線 LAN を使用している場合、ダイレクト接続時も無線 LAN ネットワークへの接続を維持している必要があります。本機が無線 LAN ネットワークに接続していないときや、接続処理中はダイレクト接続を開始できません。また、ダイレクト接続で通信中、本機の無線 LAN が切断されると、通信が終了する場合があります。
- 目的の操作が完了したら、必ず本機とモバイル機器の接続を終了してください。接続したままの状態にしておくと、スリープモードの節電効果が下がります。
- ダイレクト接続を利用する場合、モバイル機器側で IP アドレスを手動で設定しないでください。設定を行うと、ダイレクト接続利用後に通信が正しく行えなくなることがあります。

アプリを使って本機を活用する

423Y-031

本機と接続したモバイル機器からアプリを使って印刷などを行います。キャノンの専用アプリをはじめ、さまざまなアプリに対応しています。お使いの機器や用途、利用シーンなどに応じて使い分けてください。

■ Canon PRINT Business を使う

iOS/Android 対応モバイル機器から印刷などをするアプリです。印刷するときは、本機での操作は不要です。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関してはアプリのヘルプや、キャノンホームページ (<https://global.canon/gomp/>) をご覧ください。



- Canon PRINT Business は無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

■ Canon Print Service で印刷する

Android の印刷サブシステムをサポートしているアプリのメニューから簡単に印刷できます。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関しては、キャノンホームページ (<https://global.canon>) をご覧ください。

■ Mopria®で印刷する

本機は Mopria®にも対応しています。Mopria®を使用すれば、メーカーや機種が異なっても共通の操作や設定で Android 対応モバイル機器から印刷することができます。たとえば、複数のメーカーの Mopria®対応プリンターをお使いの場合や、外出先に Mopria®対応プリンターがあった場合などに、メーカーや機種ごとの専用アプリをインストールすることなく印刷できます。対応機種や動作環境の詳細は、<http://www.mopria.org> をご覧ください。



■ Google Cloud Print で印刷する

Google Cloud Print に対応しているアプリケーションやサービスを使って、パソコンやモバイル機器からプリンタードライバーを介さずに印刷できます。▶[Google Cloud Print を使う\(P. 144\)](#)

AirPrint を使う

423Y-032

AirPrint を使用するために必要な設定や、Apple 製機器での手順について説明しています。



AirPrint の設定

- ▶ AirPrint の設定をする (P. 136)
- ▶ AirPrint 専用ページを表示する (P. 138)

AirPrint でできること

- ▶ AirPrint で印刷する (P. 140)

困ったときは

- ▶ AirPrint を使用できないときは (P. 143)

AirPrint の設定をする

本機を識別するための名称や設置場所を設定します。AirPrint を使用できないように設定することもできます。設定はリモート UI を使って行います。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶ **本機の設定を変更する (P. 193)** を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 185)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI の画面について (P. 186)

- iPad や iPhone、iPod touch などのモバイル機器を使う場合、以降の「クリック」という指示は「タップ」と読み替えてください。

3 [ネットワーク設定] ▶ [AirPrint 設定] の順に進む

4 [編集] をクリックする

5 必要な情報を入力する



【AirPrint を使用する】

AirPrint を使用するときはチェックマークを付けます。AirPrint を使用できないようにする場合は、チェックマークを外してください。

【プリンター名】

本体の名称を入力します。すでに [mDNS 設定] ([DNS の設定をする\(P. 63\)](#)) で mDNS 名を登録している場合は、登録した名称が表示されます。

【設置場所】

本体の設置場所を入力します。すでに [デバイス情報] ([システム管理設定] (設定/登録) の [システム管理]) で設置場所を登録している場合は、登録した名称が表示されます。

【緯度】

本体が設置されている緯度を入力します。

【経度】

本体が設置されている経度を入力します。

6 【OK】 をクリックする



ご注意

AirPrint を使用すると、以下の設定値も < ON > になります。

- HTTP を使用
- IPP 印刷の設定
- mDNS の使用 (IPv4 設定)
- mDNS の使用 (IPv6 設定)



MEMO

- 一度設定した [プリンター名] を変更すると今まで印刷できていた Mac から印刷できなくなることがあります。これは IPv4 の [mDNS 名] ([DNS の設定をする\(P. 63\)](#)) も変更されるために起きる現象です。この場合は Mac に本機を追加しなおしてください。
- プリンター名を入力しておくと AirPrint 対応プリンターが複数台あるとき、識別しやすくなります。

■AirPrint で使える機能を変更する

AirPrint で使わない機能を無効にしたり、通信を暗号化したりするときは、リモート UI から設定を行います。

印刷の設定を変更する

AirPrint で印刷をするときは、IPP プロトコルを使用します。

機能の有効／無効を設定する

印刷をするかどうかを設定できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。



リモート UI に管理者モードでログインする (▶ **リモート UI を起動する(P.185)**) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷設定] の [編集] ▶ [IPP 印刷を使用する] にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

TLS の設定を変更する

印刷するときに、TLS で通信を暗号化するかどうかを設定できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。



リモート UI に管理者モードでログインする (▶ **リモート UI を起動する(P.185)**) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷設定] の [編集] ▶ [TLS を使用する] にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

AirPrint 専用ページを表示する

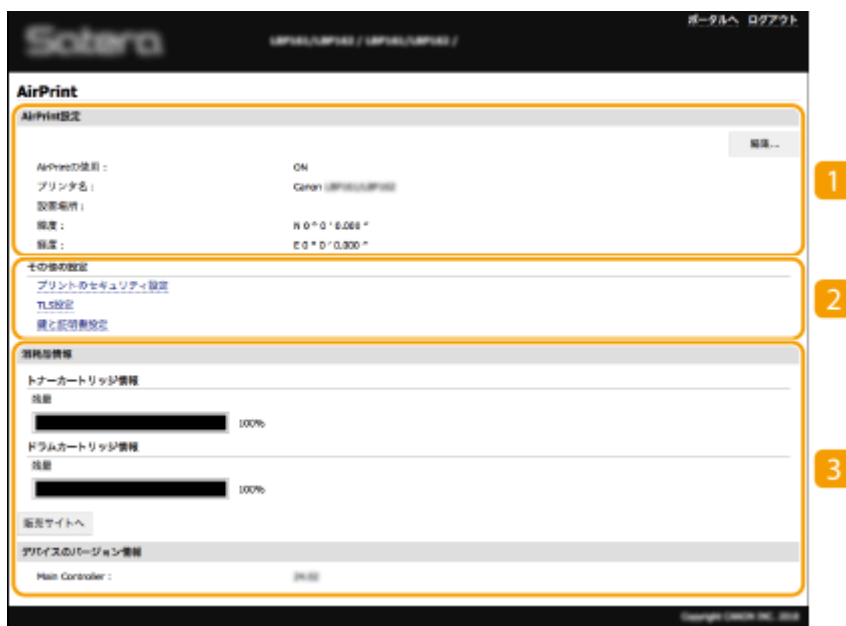
AirPrint 専用ページから AirPrint の設定画面を表示したり、トナーカートリッジなどの消耗品の状態を確認したりすることができます。また、セキュリティー機能の設定も行うことができます。

- 1** [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する
 - すでに追加している場合、この操作は不要です。
- 2** [プリンタとスキャナ] 内のプリンターの一覧から本機を選ぶ
- 3** [オプションとサプライ] をクリックする
- 4** [プリンタの Web ページを表示] をクリックする
- 5** リモート UI にログインする

- AirPrint の設定を変更するには、システム管理者としてログインする必要があります。

■ AirPrint 専用ページについて

管理者権限でログインすると、次の AirPrint 専用ページが表示されます。



1 [AirPrint 設定]

本体の名称、設置場所など AirPrint 設定で入力した内容を確認できます。[編集] をクリックすると設定内容を変更することができます。

2 [その他の設定]

[プリントのセキュリティ設定]

TLS や認証を使った印刷のセキュリティーを設定します。

[TLS 設定]

TLS 設定で使用している鍵と証明書を変更できます。▶[TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)

[鍵と証明書設定]

鍵と証明書の生成、インストール、証明書の発行要求などができます。▶[TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)

3 [消耗品情報]

本体の消耗品の情報、デバイスのバージョンを確認できます。

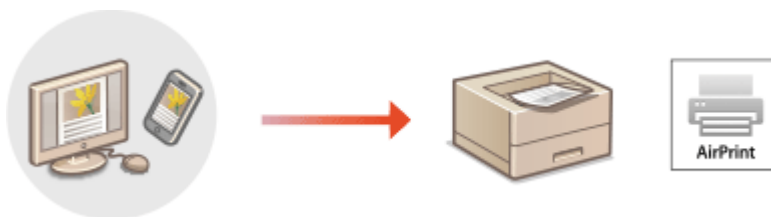
商標について

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。

AirPrint で印刷する

423Y-033

iPad、iPhone、iPod touch、Mac からプリンタードライバーを使わずに印刷することができます。



▶ iPad、iPhone または iPod touch から印刷する(P. 140)

▶ Mac から印刷する(P. 141)

動作環境

AirPrint で印刷するには、次のいずれかの Apple 製機器が必要です。

- iPad (すべてのモデル)
- iPhone (3GS 以降)
- iPod touch (第3世代以降)
- Mac (Mac OS X 10.7 以降) *

*USB 接続でお使いの場合は OS X 10.9 以降

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されている。
- Apple 製機器と本機がダイレクト接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。




- 印刷をするためには [IPP 印刷を使用する] が [ON] になっている必要があります。▶ **AirPrint で使える機能を変更する(P. 138)**

iPad、iPhone または iPod touch から印刷する

1 本機の電源が入っていて、お使いの Apple 製機器と接続されていることを確認する

- 確認方法については、▶ **ネットワーク環境を設定する(P. 22)** を参照してください。
- ダイレクト接続については、▶ **ダイレクト接続する (アクセスポイントモード) (P. 132)** を参照してください。

2 お使いの Apple 製機器のアプリケーションで、 をタップしてメニューオプションを表示する

3 [プリント] をタップする

4 [プリンタ] で本機を選ぶ

- ネットワーク内で接続されているプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。



- アプリケーションが AirPrint に対応していないと [プリンタ] で本機を選択する画面は表示されません。この場合は印刷できません。

5 必要に応じて印刷の設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 [プリント] をタップする

⇒ 印刷が開始されます。



印刷の進行状況を確認するには

- 印刷中に Apple 製機器のホームボタンを 2 回押す ▶ [プリント] をタップ

Mac から印刷する

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については、 ネットワーク環境を設定する(P. 22) を参照してください。

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに追加している場合、この操作は不要です。

3 アプリケーションで文書を開き、印刷ダイアログボックスを表示させる

- 印刷ダイアログボックスの表示方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書やヘルプを参照してください。

4 印刷ダイアログボックスで本機を選ぶ

- Mac に接続されたプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。

5 必要に応じて印刷設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 [プリント] をクリックする

- ⇒ 印刷が開始されます。

AirPrint を使用できないときは

423Y-034

AirPrint を使用できないときは、こちらの対処方法をお試しください。

- 本機の電源が入っていることを確認します。すでに電源が入っている場合はいったん電源を切り、10 秒待って再び電源を入れて、問題が解決するか確認してください。
- 本機のディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されていることを確認します。なお、本機の電源を入れてから、通信の準備が完了するまで数分かかる場合があります。
- お使いの Apple 製機器で、Bonjour が有効に設定されていることを確認します。
- 印刷の場合は、本機に用紙がセットされていて、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量が十分あることを確認します。▶[AirPrint 専用ページを表示する\(P. 138\)](#)

Google Cloud Print を使う

423Y-035

Google Cloud Print とは、Google アカウントを持ったユーザーが、インターネットに接続されたスマートフォン、タブレット、パソコンなどから Google Cloud Print に対応したアプリケーション経由で印刷できるサービスです。従来のパソコンからの印刷とは異なり、印刷のためのドライバーは不要です。



- ▶ **本機の設定を確認する(P. 144)**
- ▶ **Google Cloud Print に本機を登録する(P. 144)**



ご注意

- 本機を登録するときや Google Cloud Print を使って印刷するときは、インターネットに接続できる環境が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- 国と地域によっては、Google Cloud Print をお使いになれない場合があります。



- Google Cloud Print を使うには Google アカウントが必要です。Google アカウントをお持ちでない場合は、Google のウェブサイトで作成してください。

本機の設定を確認する

クラウドプリントの設定を行う前に、次のことを確認してください。

- 本機に IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが設定され、ネットワーク上のパソコンと通信できる状態か確認してください。
 - ▶ **有線 LAN に接続する(P. 25)**
 - ▶ **無線 LAN に接続する(P. 26)**
- 本機の日時の設定が正しいか確認してください。 ▶ **日付／時刻を設定する(P. 20)**

Google Cloud Print に本機を登録する

Google Cloud Print に本機を登録すると、どこからでも Google Cloud Print を使った印刷ができるようになります。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

- 1** リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 185)**
- 2** ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 186)**
- 3** [ネットワーク設定] ▶ [Google クラウド プリント設定] の順に進む
- 4** [基本設定] の [編集] をクリックする
- 5** [Google クラウド プリントを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
- 6** [登録状況] にある [登録] をクリックする



本機を登録しなおすとき

- 本機を登録しなおしたいときは、いったん本機の登録を解除してから再登録してください。

- 7** [登録用 URL] に表示されている URL のリンクをクリックする
- 8** 画面の指示に従って本機を登録する

⇒ Google Chrome™などの Google Cloud Print に対応したアプリケーションから印刷が可能となります。



- Google Cloud Print に対応した最新のアプリケーションについては、Google Cloud Print のホームページで確認してください。



操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>からクラウドプリント機能を有効/無効に切り替えることもできます。 **▶< Google クラウド プリントの設定>(P. 235)**

モバイル機器や Google Chrome から登録する

- モバイル機器や Google Chrome から本機を登録することもできます。登録完了前に本機のディスプレイに登録確認画面が表示されますので、<はい>を選んで登録を完了してください。
- 登録方法については、お使いの機器の取扱説明書や Google Cloud Print のホームページを参照してください。

本機を遠隔管理する

423Y-036

スマートフォンやタブレットのウェブブラウザからリモート UI を使うことができます。本体状況の確認や、各種設定をモバイル機器から行うことができます。



対応ブラウザ

モバイル機器向けリモート UI の対応ブラウザは、以下のとおりです。

Android OS の場合

- Chrome

iOS の場合

- Safari

モバイル機器からリモート UI を起動する

ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動します。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[🔴 ネットワークの設定を確認する \(P. 46\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 モバイル機器のウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「[http://<本機の IP アドレス>/](#)」と入力する

- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲んで入力してください。

入力例 : [http://\[fe80::2e9e:fcff:fe4e:dbce\]/](#)



- 「スマートフォン版」のリモート UI では、表示項目の一部を省略しています。すべての項目を確認したいときは、「PC 版」をご覧ください。



関連項目

- 🔴 [パソコンから本機を管理する（リモート UI） \(P. 184\)](#)

本機を管理する

本機を管理する	148
アクセス権限を設定する	150
システム管理暗証番号を設定する	151
リモート UI の暗証番号を設定する	153
ネットワークセキュリティーを設定する	155
ファイアウォールで通信制限する	157
IP アドレスでファイアウォールを設定する	158
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	161
ポート番号を変更する	163
プロキシを設定する	164
TLS 用の鍵と証明書を設定する	166
ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する	168
鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する	171
ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する	174
IEEE 802.1X 認証の設定をする	176
機能を制限する	180
USB の使用を制限する	181
HTTP 通信を無効にする	182
リモート UI を無効にする	183
パソコンから本機を管理する (リモート UI)	184
リモート UI を起動する	185
状況や履歴を確認する	188
本機の設定を変更する	193
ファームウェアをアップデートする	196
設定を初期化する	199

本機を管理する

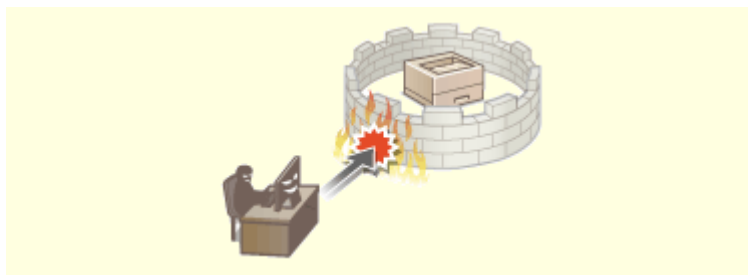
423Y-037

個人情報の漏えいや外部からの不正使用など、本機を取り巻くさまざまなリスクを軽減するために、効果的・継続的な対策が必要になります。本機を安全にご利用いただくために、アクセス権限やセキュリティなど、本機の重要な設定は管理者が統括して行ってください。

■基本的な管理体制を構築する



▶ アクセス権限を設定する (P. 150)



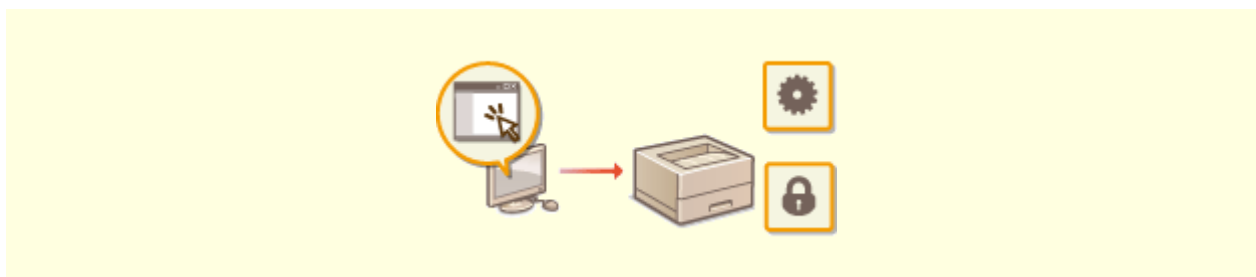
▶ ネットワークセキュリティを設定する (P. 155)

■不注意／誤操作／悪用などのリスクに対処する



▶ 機能を制限する (P. 180)

■効率よく管理する

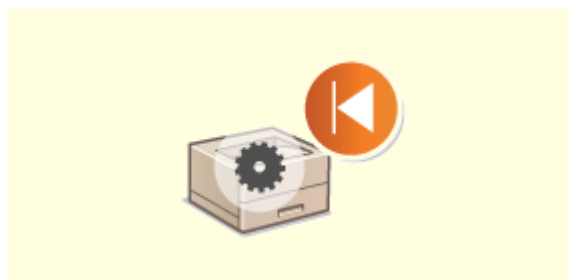


▶ パソコンから本機を管理する (リモート UI) (P. 184)

■ システム構成や設定を管理する



▶ [ファームウェアをアップデートする\(P. 196\)](#)



▶ [設定を初期化する\(P. 199\)](#)

アクセス権を設定する

423Y-038

アクセス権を持つユーザーだけが本機を利用できるようにして、第三者の不正使用を防ぎます。アクセス権が設定されていると、設定変更やリモート UI にアクセスするときに、暗証番号の入力が必要になります。



アクセス権には管理者モードと一般ユーザーモードがあります。フルアクセス権を持つ管理者モードでのログインを制限するために「システム管理暗証番号」の設定を行うことができます。また、「リモート UI アクセス暗証番号」を設定することで、一般ユーザーモードおよび管理者モード（システム管理暗証番号未設定）でのリモート UI の使用も制限することができます。

システム管理暗証番号

フルアクセス権を持つ管理者専用の暗証番号です。この暗証番号を設定すると、<ネットワーク設定>や<システム管理設定>といった設定項目にアクセスするにはシステム管理暗証番号によるログイン操作が必要になります。管理者と一般ユーザーとで権限レベルに差をつけたいときに設定します。 **▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)**



リモート UI の暗証番号（リモート UI アクセス暗証番号）


リモート UI を使うための暗証番号です。暗証番号を知っているユーザーだけがリモート UI にアクセスできるようになります。 **▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 153)**

システム管理暗証番号を設定する




423Y-039

管理者専用のシステム管理暗証番号を設定します。この暗証番号を正しく入力したときだけ<ネットワーク設定>や<システム管理設定>などを操作できるようになります。管理者だけが暗証番号を知っているような体制にしてください。


- 1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ  ホーム画面(P. 89)
- 2 <システム管理設定>を選ぶ
- 3 <システム管理者情報の設定> ▶ <システム管理暗証番号>の順に進む
- 4  を押す
- 5 システム管理暗証番号を設定する

- 7桁以内の数字を入力し、 を押します。
- 確認のため、<暗証番号(確認入力)>が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。



- 「00」や「0000000」など、0だけの暗証番号は登録できません。
- 暗証番号を解除するときは、 を選んで  を押して入力内容を消去し、<確定>を選んで  を押します。

■システム管理者名を設定する

- 1 <システム管理者名>を選ぶ
- 2 システム管理者名を入力し、<確定>を選ぶ
 - 文字の入力方法については、 [文字を入力する\(P. 95\)](#) を参照してください。



- 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。暗証番号を忘れた場合は、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。



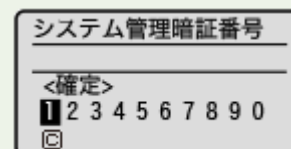
MEMO

リモート UI で設定するとき

- リモート UI に管理者モードでログインし、[設定/登録] ▶ [システム管理] ▶ [編集] の順にクリックして表示される画面で設定します。
- リモート UI から設定すると、操作パネルでの設定項目に加えてシステム管理者の連絡先やコメント、本機の設置場所などのさまざまな情報を入力できます。入力した情報は、リモート UI の [デバイス情報] ページで確認できます。▶ **管理者情報を確認する(P. 190)**

システム管理暗証番号を設定すると

- <システム管理設定>や<ネットワーク設定>を操作しようとする時、次の画面が表示されます。設定した暗証番号を入力してください。
- リモート UI の管理者モードでログインするときにも暗証番号の入力が必要になります。▶ **リモート UI を起動する(P. 185)**



関連項目

- ▶ **アクセス権限を設定する(P. 150)**

リモート UI の暗証番号を設定する

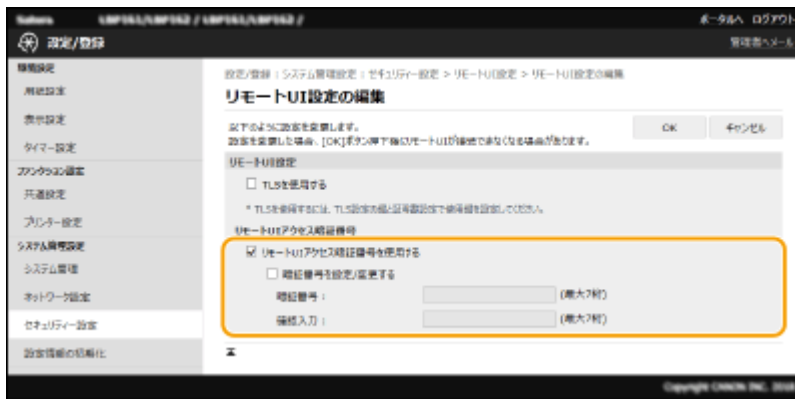
423Y-03A

リモート UI にアクセスするための暗証番号を設定できます。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 185)**
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 186)**
- 3 [セキュリティ設定] ▶ [リモート UI 設定] の順に進む
- 4 [編集] をクリックする
- 5 [リモート UI アクセス暗証番号を使用する] にチェックマークを付け、暗証番号を設定する



[リモート UI アクセス暗証番号を使用する]

チェックマークを付けると、リモート UI にアクセスするときに暗証番号の入力が必要になります。

[暗証番号を設定/変更する]

暗証番号を設定または変更するときはチェックマークを付け、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ暗証番号を半角数字で入力します。

- 6 [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>からリモート UI アクセス暗証番号の設定を行うこともできます。▶<リモート UI 設定>(P. 233)

<システム管理設定>を初期化したとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、暗証番号を設定しなおしてください。▶<メニューの初期化>(P. 236)



関連項目

- ▶アクセス権限を設定する(P. 150)
- ▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

ネットワークセキュリティを設定する

423Y-03C

悪意のある第三者による通信内容の盗聴や改ざん、なりすまし…。これらは正規ユーザーに想定外の損失をもたらす恐れがあります。大切なデータや情報を守るため、本機にはネットワークのセキュリティを高めるさまざまな対策が用意されています。

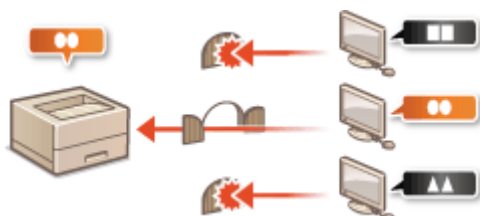
ファイアウォール設定

特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可することで、第三者の不正アクセス、ネットワークへの攻撃や侵入を遮断できます。▶[ファイアウォールで通信制限する\(P. 157\)](#)



ポート番号の変更

外部機器と情報をやりとりするプロトコルには、通常、種類ごとに決まったポート番号が割り当てられています。ポート番号は通信機器間で同じ設定にする必要があるため、任意の番号に変更することで外部からの不正侵入の防止に役立てることができます。▶[ポート番号を変更する\(P. 163\)](#)



プロキシ設定

外部ネットワークとの通信時にプロキシサーバーを経由して接続します。プロキシサーバーを使うとより安全にウェブサイトを閲覧することができるため、セキュリティの向上が期待できます。▶[プロキシを設定する\(P. 164\)](#)



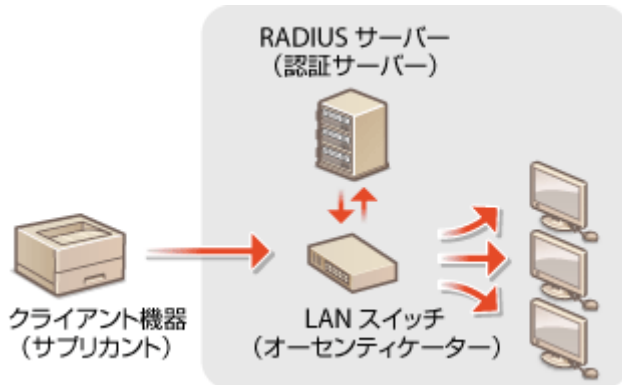
TLS 暗号化通信

ウェブブラウザや電子メールクライアントなどでデータを暗号化してネットワーク上で送受信する方法です。TLS 暗号化を使えば、リモート UI でパソコンから本機にアクセスするときも安全に通信できるようになります。▶[TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)



IEEE 802.1X 認証

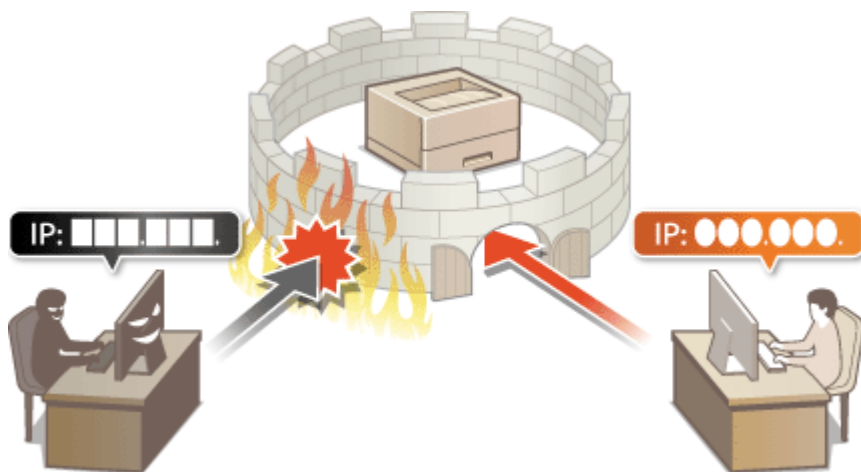
IEEE 802.1X を導入したネットワークに機器を接続して通信を始めようとする、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチ（アクセスポイント）は機器からの通信要求を遮断します。このようなネットワークに本機はクライアントとして接続できます。▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)



ファイアウォールで通信制限する

423Y-03E

適切なセキュリティ対策を施さずにパソコンや通信機器をネットワークに接続すると、意図しない第三者から不正にアクセスされる恐れがあります。そこで、特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器だけに通信を許可するパケットフィルタリングを設定することで、そうしたリスクを低減させます。



- ▶ IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 158)
- ▶ MAC アドレスでファイアウォールを設定する(P. 161)

IP アドレスでファイアウォールを設定する

423Y-03F

指定した IP アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の IP アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外の通信は許可することもできます。なお、IP アドレスは範囲を指定して設定することも可能です。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[▶本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)

2 ポータルページで、[\[設定/登録\]](#) をクリックする [▶リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)

3 [\[セキュリティ設定\]](#) ▶ [\[IP アドレスフィルター\]](#) の順に進む

4 設定したいフィルターの [\[編集\]](#) をクリックする

[IPv4 アドレス: 受信フィルター]

IPv4 アドレスを指定してパソコンから本機へのデータ受信を制限します。

[IPv6 アドレス: 受信フィルター]

IPv6 アドレスを指定してパソコンから本機へのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する



a [拒否アドレス]

通信を拒否するアドレスの登録と、登録されているアドレスの確認と削除ができます。

b [許可アドレス]

通信を許可するアドレスの登録と、登録されているアドレスの確認と削除ができます。

1 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

- チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

2 アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力し、[追加] をクリックします。

登録したアドレス	結果
[拒否アドレス]	[登録するアドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信（受信）を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[許可アドレス]	[登録するアドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。
両方とも登録	[許可アドレス] に登録した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。ただし、[拒否アドレス] と重複して登録している IP アドレスは、通信が制限されます。



ご注意

入力内容をよくお確かめください

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター > または < IPv6 アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。

● < IPv4 アドレスフィルター > (P. 232)

● < IPv6 アドレスフィルター > (P. 232)

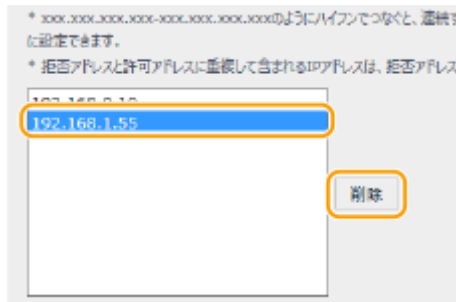


IP アドレスの入力形式

	入力方法	入力例
単一のアドレスを指定するとき	IPv4 の場合は、「.」（ピリオド）で数字を区切ります。	192.168.0.10
	IPv6 の場合は、「:」（コロン）で英数字を区切ります。	fe80::10
アドレスを範囲で指定するとき	「-」（ハイフン）でアドレスをつなぎます。	192.168.0.10-192.168.0.20
アドレスの範囲をプレフィックスで指定するとき（IPv6 のみ）	アドレス、「/」（スラッシュ）、プレフィックス長の順に入力します。	fe80::1234/64

設定した IP アドレスを削除するとき

- 削除する IP アドレスを選び、[削除] をクリックします。



- [OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>から IP アドレスによる通信制限を有効/無効に切り替えることもできます。
 - < IPv4 アドレスフィルター > (P. 232)
 - < IPv6 アドレスフィルター > (P. 232)

MAC アドレスでファイアウォールを設定する

423Y-03H

指定した MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。



本機を無線 LAN に接続している場合、この機能は使えません。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、**▶本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 185)**

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする **▶リモート UI の画面について(P. 186)**

3 [セキュリティ設定] ▶ [MAC アドレスフィルター] の順に進む

4 [編集] をクリックする

5 フィルターを設定する

- 例外とする通信機器を MAC アドレスで指定します。



1 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

- チェックマークを付けたら通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

2 例外アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に MAC アドレスを入力し、[追加] をクリックします。
- アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）で区切らずに入力してください。



ご注意

入力内容をよくお確かめください

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。▶ < MAC アドレスフィルター > (P. 233)



MEMO

設定した MAC アドレスを削除するとき

- 削除する MAC アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする



MEMO

操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の < メニュー > から MAC アドレスによる通信制限を有効/無効に切り替えることもできます。▶ < MAC アドレスフィルター > (P. 233)



関連項目

- ▶ IP アドレスでファイアウォールを設定する (P. 158)

ポート番号を変更する

423Y-03J

ポートは外部機器と情報をやりとりするための出入口です。通常、おもなプロトコルには決まったポート番号を使用しますが、同じ番号が使われがちなので攻撃対象になりやすいという弱点があります。そのためネットワークで使用するポート番号を変更してセキュリティ向上を図るネットワーク管理者もいます。ポート番号はパソコンやサーバーなどの通信機器間で同じ設定にする必要があるため、変更があった場合はこれに合わせて本機側でも設定を変更します。



- プロキシサーバーのポート番号を変更するとき [▶プロキシを設定する\(P. 164\)](#)

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ [▶ホーム画面\(P. 89\)](#)

2 <ネットワーク設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。 [▶システム管理暗証番号を設定する\(P. 151\)](#)

3 <TCP/IP 設定> ▶ <ポート番号設定>の順に進む

4 ポート番号を変更するプロトコルを選ぶ



各プロトコルの詳細について

- <LPD> / <RAW> / <WSD マルチキャスト探索> [▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 49\)](#)
- <HTTP> [▶HTTP 通信を無効にする\(P. 182\)](#)
- <SNMP> [▶SNMP で監視 / 制御する\(P. 67\)](#)

5 ポート番号を変更し、<確定>を選ぶ

- 文字の入力方法については、 [▶文字を入力する\(P. 95\)](#) を参照してください。



関連項目

- [▶印刷ポートの設定をする\(P. 51\)](#)

プロキシを設定する

423Y-03K

プロキシ（HTTP プロキシサーバー）とは、おもにウェブサイトの閲覧などでネットワークの外にある機器との HTTP 通信を代行するパソコンやソフトウェアなどのことです。ネットワーク外部に直接通信するのではなく、プロキシサーバーを中継して外部に接続します。プロキシを設定することで、外部ネットワークとの通信管理がしやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。Google Cloud Print を利用するときは、プロキシを設定しておくことインターネットを介した印刷における安全性の向上が期待できます。プロキシサーバーのアドレスやポート番号、認証情報などはあらかじめ確認しておいてください。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[▶本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)
- 2 ポータルページで、[\[設定/登録\]](#) をクリックする [▶リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)
- 3 [\[ネットワーク設定\]](#) ▶ [\[TCP/IP 設定\]](#) の順に進む
- 4 [\[プロキシ設定\]](#) の [\[編集\]](#) をクリックする
- 5 [\[プロキシを使用する\]](#) にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[\[プロキシを使用する\]](#)

チェックマークを付けると、本機が HTTP 通信するときは指定したプロキシサーバーが使用されます。

[\[HTTP プロキシサーバーのアドレス\]](#)

使用するプロキシサーバーのアドレスを入力します。お使いの環境に応じて IP アドレスやホスト名などを設定してください。

[\[HTTP プロキシサーバーのポート番号\]](#)

使用するプロキシサーバーのポート番号を入力します。

[同一ドメインにもプロキシを使用する]

チェックマークを付けると、同じドメインにある機器と通信するときにも指定したプロキシサーバーが使用されます。

[プロキシ認証を使用する]

プロキシサーバーの認証機能を使用するときはチェックマークを付け、[ユーザー名] に認証するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

プロキシ認証を使用する場合にパスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] に新しく設定するパスワードを半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする



関連項目

▶ [Google Cloud Print を使う \(P. 144\)](#)

TLS 用の鍵と証明書を設定する

423Y-03L

リモート UI によるパソコンのウェブブラウザとの通信を Transport Layer Security (TLS) を使って暗号化できます。TLS はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI を使って IEEE 802.1X 認証 (TTLS/PEAP) や SNMPv3 の設定をするときは、TLS を有効にする必要があります。リモート UI で TLS 暗号化通信を行うには、使用する「鍵と証明書」(サーバー証明書) を指定してから TLS を有効にします。使用する鍵と証明書はあらかじめ用意しておいてください ([管理機能\(P. 325\)](#))。



MEMO

- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、 [本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)
- 3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] の順に進む
- 4 [TLS 設定] の [鍵と証明書] をクリックする
- 5 使用する鍵と証明書の右側にある [使用鍵登録] をクリックする

MEMO

証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクか証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。

6 TLS を有効にする

- 1 [セキュリティー設定] ▶ [リモート UI 設定] をクリックする
- 2 [編集] をクリックする
- 3 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



MEMO

操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>から TLS 暗号化通信を有効／無効に切り替えることもできます。▶< TLS を使用 > (P. 232)

TLS を有効にしてリモート UI を起動したとき

- TLS 有効時にリモート UI を起動すると、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。この場合はアドレス入力欄に入力した URL に間違いがないか確認してから、操作を続行してください。▶リモート UI を起動する(P. 185)

関連項目

- ▶SNMP で監視／制御する(P. 67)
- ▶ネットワーク通信の鍵と証明書を生成する(P. 168)
- ▶鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する(P. 171)
- ▶ネットワーク通信の鍵と証明書を登録する(P. 174)
- ▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)

ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する

423Y-03R

Transport Layer Security (TLS) を使った暗号化通信に必要な鍵と証明書を生成できます。TLS は、リモート UI を使って本機にアクセスするときに使用できます。「ネットワーク通信用」に生成した鍵と証明書では自己署名証明書が使われます。



- 認証局の署名が付いたサーバー証明書を使いたいときは、証明書の代わりに CSR を鍵といっしょに生成することができます。▶ **鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する(P. 171)**
- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶ **本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ **リモート UI を起動する(P. 185)**

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI の画面について(P. 186)**

3 [セキュリティー設定] ▶ [鍵と証明書設定] の順に進む

4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵と証明書を削除するとき

- 削除したい鍵と証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵と証明書には「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除してください。

5 [ネットワーク通信用] を選び、[OK] をクリックする

6 鍵と証明書の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選び、鍵長をプルダウンメニューから選びます。いずれの場合も鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、[鍵のアルゴリズム] で [RSA] を選んだ場合の鍵長を [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書の設定]

[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の開始日を入力します。

[有効期限終了日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の終了日を入力します。[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)] より前に設定することはできません。

[国/地域名]

[国/地域名で選択] をクリックしてプルダウンメニューから国/地域名を選ぶか、[インターネット国コードで入力] をクリックして国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。

7 [OK] をクリックする

- 鍵と証明書の生成には時間がかかることがあります。
- 生成した鍵と証明書は本機に自動的に登録されます。



関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 166)
- ▶ ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する(P. 174)

鍵と証明書署名要求 (CSR) を生成する

423Y-03S

本機で自己生成した証明書は認証局の署名がないため、通信相手によっては通信エラーとなってしまうことがあります。認証局の署名が付いた証明書を発行してもらうためには、証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) のデータが必要で、CSR は管理者がリモート UI から生成することができます。証明書が発行されたら、CSR を生成した鍵に証明書を登録してください。

- ▶ 鍵と CSR を生成する(P. 171)
- ▶ 鍵に証明書を登録する(P. 173)



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、▶ **本機の設定を変更する(P. 193)** を参照してください。

鍵と CSR を生成する

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ **リモート UI を起動する(P. 185)**
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI の画面について(P. 186)**
- 3 [セキュリティー設定] ▶ [鍵と証明書設定] の順に進む
- 4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵と証明書を削除するとき

- 削除したい鍵と証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
 - 使用中の鍵と証明書には「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除してください。
- 5 [鍵と証明書署名要求(CSR)] を選び、[OK] をクリックする
 - 6 鍵と CSR の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選び、鍵長をプルダウンメニューから選びます。いずれの場合も鍵長の数値が大きいくほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、[鍵のアルゴリズム] で [RSA] を選んだ場合の鍵長を [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書署名要求(CSR)の設定]

[国/地域名]

[国/地域名で選択] をクリックしてプルダウンメニューから国/地域名を選ぶか、[インターネット国コードで入力] をクリックして国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。

7 [OK] をクリックする

- 鍵と CSR の生成には時間がかかることがあります。

8 [ファイルに保存] をクリックする

- ファイルを保存するダイアログボックスが表示されるので、保存先を選んで [保存] をクリックします。
 ⇒ CSR のファイルがパソコンに保存されます。

9 保存したファイルを添付して認証局に申請する

鍵に証明書を登録する

CSR を生成した鍵は、CSR をもとに認証局から発行された証明書を登録するまで使うことができません。認証局から証明書が発行されたら、次の手順で登録します。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 185)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI の画面について (P. 186)
- 3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] の順に進む
- 4 証明書を登録する [鍵の名前] または [証明書] をクリックする



- 5 [証明書の登録] をクリックする
- 6 [参照] をクリックし、証明要求した証明書のファイルを指定したあと、[登録] をクリックする



関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する (P. 166)
- ▶ ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する (P. 168)
- ▶ ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する (P. 174)

ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する

423Y-03U

鍵と証明書や CA 証明書を発行機関から入手して使用することができます。入手した鍵と証明書ファイルおよび CA 証明書ファイルはリモート UI を使って本機にインストール／登録します。本機で使用できる鍵と証明書および CA 証明書の条件をあらかじめ確認しておいてください（[管理機能\(P. 325\)](#)）。



MEMO

- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)

3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] の順に進む

- 鍵と証明書をインストールするときは [鍵と証明書設定] を、CA 証明書をインストールするときは [CA 証明書設定] をクリックします。

4 [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする

MEMO

登録されている鍵と証明書や CA 証明書を削除するとき

- 削除したい鍵と証明書または CA 証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。プリインストールされている CA 証明書は削除できません。
- 使用中の鍵と証明書には「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除してください。

プリインストールされている CA 証明書を無効にするとき

- 無効にしたい CA 証明書の右側にある [無効] をクリックします。再度有効にしたいときは、[有効] をクリックしてください。

5 [インストール] をクリックする

MEMO

鍵と証明書ファイルや CA 証明書ファイルを削除するには

- 削除したいファイルの右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。

6 [参照] をクリックし、インストールするファイルを指定したあと、[インストール開始] をクリックする

▶▶ パソコンから本機に鍵と証明書ファイルまたは CA 証明書ファイルがインストールされます。

7 鍵と証明書または CA 証明書を登録する

■ 鍵と証明書を登録する

- 1 登録したい鍵と証明書ファイルの右側にある [登録] をクリックする
- 2 鍵の名前とパスワードを入力する



[鍵の名前]

本機に登録するときの鍵の名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[パスワード]

登録するファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを半角英数字で入力します。

- 3 [OK] をクリックする

■ CA 証明書を登録する

登録したい CA 証明書ファイルの右側にある [登録] をクリックします。



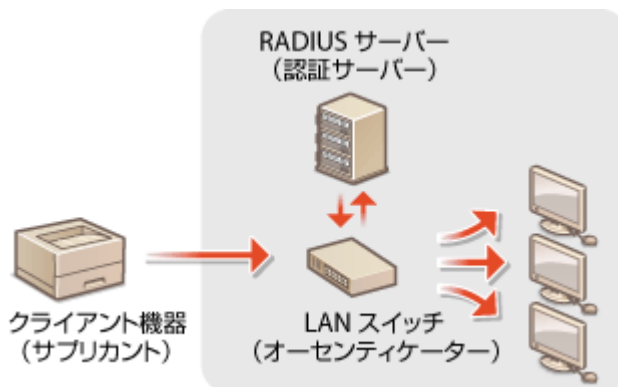
関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する (P. 166)
- ▶ ネットワーク通信用の鍵と証明書を生成する (P. 168)
- ▶ IEEE 802.1X 認証の設定をする (P. 176)

IEEE 802.1X 認証の設定をする

423Y-03W

IEEE 802.1X 認証を導入したネットワークにクライアントとして本機を接続し、セキュリティを確保することができます。IEEE 802.1X ネットワークは、RADIUS サーバー（認証サーバー）、LAN スイッチ（オーセンティケーター）、クライアント機器（サブリカント）の3つの要素で構成されます。IEEE 802.1X ネットワーク上のクライアント機器が通信を始めようとするとき、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。



IEEE 802.1X の認証方式

認証サーバーに設定してある認証方式を次の中から選び、あらかじめ必要な鍵と証明書や CA 証明書を用意しておいてください（[🔴ネットワーク通信用の鍵と証明書を登録する\(P. 174\)](#)）。

■ TLS

本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。本機の認証には認証局発行の鍵と証明書が必要ですのであらかじめ用意しておいてください。一方、サーバーの認証にはプリインストールされた CA 証明書またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。

■ TTLS

本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PEAP との併用も可能です。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[🔴TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)）。

■ PEAP

必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルには MSCHAPv2 を使用します。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[🔴TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)）。



- リモート UI から本機を設定するときの基本操作は、[🔴本機の設定を変更する\(P. 193\)](#) を参照してください。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [🔴リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)
- 2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする [🔴リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)

3 [ネットワーク設定] ▶ [IEEE 802.1X 設定] の順に進む

4 [編集] をクリックする

5 [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付け、[ログイン名] を入力する



[IEEE 802.1X を使用する]

IEEE 802.1X 認証を使用するときはチェックマークを付けます。

[ログイン名]

ユーザーを識別するための名称（EAP Identity）を半角英数字で入力します。

6 使用する認証方式に応じて必要な設定をする



■ TLS を設定する

- 1** [TLSを使用する] にチェックマークを付け、[鍵と証明書] をクリックする
 - TLS を使用する場合は、TTLS や PEAP を併用することはできません。
- 2** 使用する鍵と証明書の右側にある [使用鍵登録] をクリックする



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクが証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。

■ TTLS/PEAP を設定する

- 1 [TTLS を使用する] または [PEAP を使用する] にチェックマークを付ける



TTLS を使用する場合の内部プロトコル

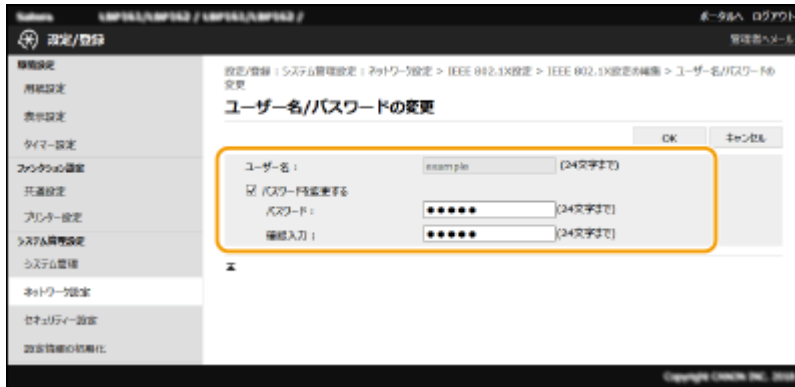
- MSCHAPv2 または PAP を選択できます。



- 2 [ユーザー名/パスワード変更] をクリックする

- IEEE 802.1X 認証のログイン名とは違うユーザー名を設定するときは、[ユーザー名にログイン名を使用する] のチェックマークを外します。IEEE 802.1X 認証のログイン名と同じユーザー名にするときは、チェックマークを付けた状態にしてください。

- 3 ユーザー名やパスワードを設定する



[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

- 4 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

8 本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



操作パネルで設定するとき

- ホーム画面の<メニュー>から IEEE 802.1X 認証を有効／無効に切り替えることもできます。▶< IEEE 802.1X 設定>(P. 213)



関連項目

- ▶ TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 166)

機能を制限する

423Y-03X

使用頻度が低い機能や悪用される恐れのある機能に対して使用条件を設定し、機能を制限することができます。また、機能自体を完全に使えなくすることもできます。

USB の使用を制限する

USB 接続は手軽でかんたんに周辺機器と接続ができる反面、情報漏えいなどのセキュリティーリスクをはらんでいます。パソコンとの USB 接続を制限することができます。▶**USB の使用を制限する(P. 181)**



HTTP 通信を無効にする

USB 接続で本機をお使いの場合などネットワークを介した操作を行わないときは、HTTP ポートからの不正な侵入を防ぐために HTTP 通信を無効にすることができます。▶**HTTP 通信を無効にする(P. 182)**



リモート UI を制限する

リモート UI を使用しない場合は、リモート UI を介した不正な遠隔操作を防ぐために機能を無効にすることができます。▶**リモート UI を無効にする(P. 183)**



USB の使用を制限する

423Y-03Y

USB 接続は、周辺機器とのデータ共有を手軽でかんたんなものにしますが、適切に管理されていない環境下では逆に情報漏えいの手段として悪用される恐れがあります。ここでは、本機の USB ポートを使った接続を制限する方法を紹介します。



▶ パソコンとの USB 接続を制限する(P. 181)

パソコンとの USB 接続を制限する

パソコン接続用の USB ポートを使えないようにします。パソコンとの USB 接続ができなくなります。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <USB デバイスとして使用> ▶ <OFF> ▶ 本機を再起動

HTTP 通信を無効にする

423Y-040

HTTP はリモート UI から本機を操作するときなどに使われます。ネットワークを使用せず USB 接続で本機をお使いの場合や、HTTP 通信を使用しない場合は、その機能を無効にすることで、悪意のある第三者が未使用ポートから本機に侵入する危険性を減らすことができます。



- HTTP 通信を無効にすると、リモート UI の操作や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などのネットワークを介した操作ができなくなります。



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <TCP/IP 設定> ▶ <HTTP を使用> ▶ <OFF > ▶ <はい>



関連項目

- ▶ 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする (P. 49)
- ▶ Google Cloud Print を使う (P. 144)
- ▶ ポート番号を変更する (P. 163)
- ▶ パソコンから本機を管理する (リモート UI) (P. 184)

リモート UI を無効にする

423Y-041

リモート UI を使うとパソコンのウェブブラウザから本機の設定を行うことができ便利ですが、そのためには本機とパソコンがネットワーク上で接続されていなければなりません。ネットワークを使わずに USB 接続で本機をお使いの場合はリモート UI を無効にすることができます。また、リモート UI を使う必要がない場合も、機能を無効にすることでネットワークを介した不正な遠隔操作などのリスクを低減し、セキュリティー効果を高めることができます。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI を使用> ▶ <OFF >



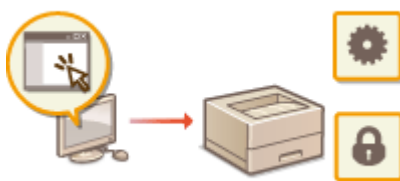
関連項目

- ▶ HTTP 通信を無効にする (P. 182)
- ▶ パソコンから本機を管理する (リモート UI) (P. 184)

パソコンから本機を管理する（リモート UI）

423Y-042

パソコンのウェブブラウザを使って本機を遠隔操作し、待機中の文書を確認したり、本体状況を確認したりすることができます。本機の各種設定を行うことも可能です。ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力すると「リモート UI」が起動しますので、これを使って遠隔操作します。デスクに居ながらにして本機を操作できますので大変便利です。リモート UI の動作環境については、**▶サポート環境(P. 326)** を参照してください。



リモート UI でできること

- ▶状況や履歴を確認する(P. 188)
- ▶本機の設定を変更する(P. 193)

リモート UI の使いかた

- ▶リモート UI を起動する(P. 185)

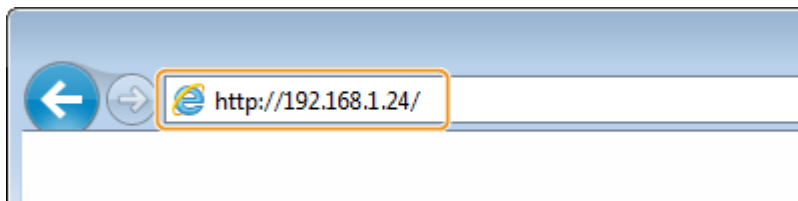
リモート UI を起動する

423Y-043

遠隔操作は、ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動させて行います。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[▶ネットワークの設定を確認する\(P. 46\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す



- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



セキュリティに関するメッセージが表示されたときは

- リモート UI の通信が暗号化されている場合（[▶TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)）に、エラーメッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がないときは、ウェブサイトの閲覧を続行してください。

3 リモート UI にログインする

■システム管理暗証番号が設定されていない場合

[管理者モード] または [一般ユーザーモード] をクリックします。



[管理者モード]

リモート UI のすべての操作および設定ができます。

[一般ユーザーモード]

印刷文書の確認、本機状態の確認、各種設定内容の確認ができます。待機中の印刷文書の確認や、待機をやめて印刷を中止したいときは、[ユーザー名] に文書のユーザー名を入力してください（文書のユーザー名には、パソコンのログオンユーザー名などが、印刷時に自動的に設定されています）。

[リモート UI アクセス暗証番号]

[リモート UI アクセス暗証番号] を設定している場合は、暗証番号を入力してください。[▶リモート UI の暗証番号を設定する\(P. 153\)](#)

■システム管理暗証番号が設定されている場合

登録されている [システム管理暗証番号] を入力して、管理者モードでログインします（▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)）。



4 [ログイン] をクリックする

▶▶▶ リモート UI のメイン画面（ポータルページ）が表示されます。▶リモート UI の画面について(P. 186)

リモート UI の画面について

リモート UI にログインすると、次のポータルページが表示されます。このページに表示される項目と、基本的な使いかたについて説明します。



1 [デバイス基本情報]

本機の現在の状況と、エラー情報が表示されます。エラーが発生している場合は、エラー情報ページへのリンクが表示されます。

2 [消耗品情報]

消耗品についての情報が表示されます。

3 [サポートリンク]

[システム管理] の [デバイス情報] に設定されている本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 [ログアウト]

リモート UI をログアウトして、ログインページに戻ります。

6 [管理者へメール]

[システム管理] の [システム管理者情報] に設定されている管理者宛にメールを作成します。

7 [状況確認/中止]

[状況確認/中止] ページが開きます。待機文書について、状況の確認、履歴の確認、処理の中止ができます。

8 [設定/登録]

[設定/登録] ページが開きます。管理者モードでログインしているときは、設定内容を変更したり、設定データの保存／読み込みをしたりなどの操作ができます。▶ **本機の設定を変更する(P. 193)**

状況や履歴を確認する

423Y-044

- ▶印刷文書の状況を確認する(P. 188)
- ▶文書の履歴を確認する(P. 189)
- ▶エラー情報を確認する(P. 189)
- ▶消耗品を確認する(P. 189)
- ▶最大印刷速度を確認する(P. 190)
- ▶管理者情報を確認する(P. 190)
- ▶印刷ページ数を確認する(P. 191)
- ▶カートリッジの履歴を確認する(P. 191)
- ▶ECO 情報を確認する(P. 191)



- 文書のファイル名は途中までしか表示されないことがあります。また、印刷したアプリケーション名がファイル名に付加されることがあります。

印刷文書の状況を確認する

パソコンから印刷した文書の印刷状況（印刷中／印刷待機中）を確認できます。



リモート UI にログインする（▶[リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)）▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ状況]



- [中止] をクリックすると、印刷中／印刷待機中の文書を削除できます。



- 管理者モードでログインした場合、すべての印刷文書の状況が表示されます。
- 一般ユーザーモードで、[ユーザー名] を入力してログインした場合、そのユーザーが印刷した文書だけが表示されます。
- 一時停止中の文書で [受付番号] をクリックすると、文書の詳細情報が表示されます。ユーザー名や印刷枚数などの情報を確認できます。

文書の履歴を確認する

印刷の履歴が表示されます。



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ履歴]

ジョブ番号	種類	開始時刻	終了時刻	ジョブタイプ	ファイル名	ユーザー名	複製ページ数	仕込みページ数	枚数×複製	終了コード
0003	OK	02/02 13:35	02/02 13:35	プリンター	SampleJob - Job.doc	user0001	1	1	101	OK
0002	OK	02/02 10:03	02/02 10:03	プリンター	テストページ	user0001	1	1	101	OK
0001	OK	02/02 10:00	02/02 10:00	レポート			3	3	301	OK

エラー情報を確認する

エラーが発生しているとき、ポータルページ（メイン画面）の [エラー情報] に表示されているメッセージをクリックすると、このページが表示されます。▶ [リモート UI の画面について\(P. 186\)](#)



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [エラー情報]

状況確認/中止：エラー情報

エラー情報

エラーが発生しています。

エラー情報

- カートリッジに容量がありません。
 名称 標準値L [64~70 g/m2]

消耗品を確認する

カートリッジの型番などの消耗品情報が表示されます。ポータルページ（メイン画面）で、[消耗品詳細] をクリックしてもこのページを表示できます (▶ [リモート UI の画面について\(P. 186\)](#))。



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [消耗品確認]



最大印刷速度を確認する

最大印刷速度が表示されます。



リモート UI にログインする ([▶ リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス装
備]



管理者情報を確認する

本体とシステム管理者についての情報が表示されます。ここに表示されている情報は、[設定/登録] ページの [システム管理] で設定したものです。



リモート UI にログインする ([▶ リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス情
報]



印刷ページ数を確認する

今までに印刷された文書の合計ページ数が表示されます。



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カウンター確認]



カートリッジの履歴を確認する

トナーカートリッジやドラムカートリッジの利用実績を確認できます。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジに表示を切り替えることができます。



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カートリッジログ]



ECO 情報を確認する

1ヶ月あたりの平均出力枚数や平均消費電力などの情報を確認できます。



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [ECO 情報]



 関連項目

- ▶ リモート UI の画面について (P. 186)

本機の設定を変更する

423Y-045

リモート UI を使って、パソコン側から本機さまざまな設定を登録／変更できます。ほとんどの項目は本機の操作パネルで設定できますが、リモート UI でしか設定できない項目もあります。ここでは、リモート UI を使って本機の設定を変更する基本的な流れを説明します。

MEMO

- 一部の項目は、管理者モードでログインした場合にのみ変更できます。
- 設定項目によっては、ここで説明している手順と異なる操作が必要な場合があります。

1 リモート UI を起動する ▶ リモート UI を起動する(P. 185)

2 ポータルページで、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI の画面について(P. 186)

3 画面左側のメニューから設定したい項目をクリックする



4 必要に応じてリンクをクリックし、目的のページを表示する



5 [編集] をクリックする



6 必要な項目を設定する



7 [OK] をクリックする



8 必要に応じて本機を再起動する

- 電源を切り、10秒待つて再び電源を入れます。



- 本機の再起動が必要かどうかは、編集画面内のメッセージを参考にしてください。



ファームウェアをアップデートする

423Y-046

ファームウェアの更新は、本機の設置状況に応じて更新方法を選択します。本機からインターネット経由でファームウェアを確認して更新する方法と、ダウンロードしたファームウェアをパソコンから更新する方法があります。無線 LAN 接続でインターネットに接続できない環境の場合は、有線 LAN または USB で接続しなおしてパソコンから更新を行ってください。

本機の設置状況	更新方法
無線 LAN 接続	<ul style="list-style-type: none"> インターネット経由で更新する(P. 196)
有線 LAN 接続	<ul style="list-style-type: none"> インターネット経由で更新する(P. 196) パソコンから更新する(P. 197)
USB 接続	<ul style="list-style-type: none"> パソコンから更新する(P. 197)



- IPv6 環境ではファームウェア更新を行えません。USB で接続しなおしてパソコンから更新を行ってください。



ファームウェアのバージョンを確認するには

- 操作パネルからファームウェアのバージョンを確認できます。ファームウェアを更新したあとは、正しく更新されたことを確認してください。
 - ファームウェアのバージョンを確認する(P. 197)

インターネット経由で更新する

本機からキヤノンのサーバーにアクセスして最新のファームウェアに更新します。

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ

2 <システム管理設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。
 - システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 <ファームウェア更新>を選ぶ

4 <インターネット経由>を選ぶ

⇒最新のファームウェアが存在するかどうかを確認されます。



- <お使いのファームウェアは最新です。>が表示されたときは、ファームウェアを更新する必要はありません。

5 メッセージを確認し、<はい>を選ぶ

6 利用許諾画面が表示されるので、**OK** を押す

7 <OK>を選ぶ

⇒ ファームウェアの更新が終わると、本機が自動的に再起動します。



- 再起動が完了するまで本機の電源は切らないでください。

パソコンから更新する

キヤノンホームページから最新のファームウェアをダウンロードしたときは、ユーティリティソフトウェア「User Support Tool」を使用してパソコンからファームウェアを更新します。パソコンからのファームウェアの更新方法はファームウェアに同梱されている「User Support Tool 操作ガイド」を参照してください。

本機を更新待機状態にするには



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <ファームウェア更新> ▶ <PC 経由> ▶ <はい>

ファームウェアのバージョンを確認する

1 ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ ◀ホーム画面(P. 89)

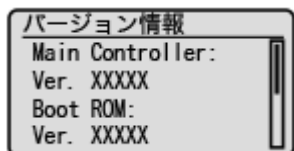
2 <システム管理設定>を選ぶ

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、暗証番号を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 151)

3 <ファームウェア更新>を選ぶ

4 <バージョン情報>を選ぶ

⇒ 現在のファームウェアのバージョンが表示されます。



設定を初期化する

423Y-047



設定内容を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。

- ▶ECO レポートカウンターを初期化する(P. 199)
- ▶メニューを初期化する(P. 199)
- ▶鍵と証明書の設定を初期化する(P. 199)
- ▶すべてのデータ／設定を初期化する(P. 200)

ECO レポートカウンターを初期化する

ECO レポートカウンターを初期化してお買い上げ時の値に戻すことができます。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <ECO レポートカウンターの初期化> ▶ <はい>

メニューを初期化する

各種設定項目（▶**設定メニュー一覧(P. 202)**）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。設定項目によっては初期化後に本機を再起動する必要があります。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <メニューの初期化> ▶ 初期化する対象を選択 ▶ <はい> ▶
必要に応じて本機を再起動



- <ネットワーク設定>だけをお買い上げ時の値に戻すことができます。
- <メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ネットワーク設定の初期化> ▶ <はい> ▶ 本機を再起動

鍵と証明書の設定を初期化する

鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。初期化すると、登録した鍵と証明書や CA 証明書（プリインストールされている鍵や CA 証明書は除く）が消去されます。



- 初期化すると、鍵と証明書が必要な機能（TLS 暗号化通信など）が使えなくなります。これらの機能を使うには、もう一度鍵と証明書を設定してから機能を有効にしてください。



管理者権限でリモート UI にログインする（[▶ リモート UI を起動する\(P. 185\)](#)）▶ [設定/登録] ▶ [設定情報の初期化] ▶ [鍵と証明書の初期化] ▶ [初期化] ▶ [OK]

すべてのデータ／設定を初期化する

履歴などを含めたデータや設定値をすべてお買い上げ時の状態に戻します。本機の交換や廃棄時に機密データが外部に流失するのを防ぐことができます。初期化が終了すると自動的に再起動します。



- 初期化の前に、処理中や待機中の文書がないか確認してください。初期化を行うとこれらの文書は削除されます。
- 初期化したあとに本機を使用するには、すべての設定を最初からやりなおす必要があります。



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <全データ/設定の初期化> ▶ <はい> ▶ <はい>



関連項目

- ▶ [TLS 用の鍵と証明書を設定する\(P. 166\)](#)

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧	202
<ダイレクト接続>	203
<ネットワーク設定>	204
<レポート出力>	214
<環境設定>	215
<タイマー設定>	218
<共通設定>	221
<プリンター設定>	223
<用紙設定(モバイル)>	225
<調整/メンテナンス>	226
<システム管理設定>	231

設定メニュー一覧

423Y-048

お客様の利用状況や環境に合わせて本機をカスタマイズしたいときに設定メニューを使用します。設定メニューは、ホーム画面で<メニュー>を選ぶと表示されます(▶[ホーム画面\(P. 89\)](#))。設定メニューの各項目で何が設定できるのかを説明しています。



- ユーザーズガイドには、設定メニューをまとめた PDF も付属しています。あわせて参考にしてください。▶[メニュールートマップ\(P. 345\)](#)



- 現在の設定内容を印刷して確認することができます。▶[設定内容のリストを印刷する\(P. 255\)](#)

<ダイレクト接続>

423Y-049

モバイル機器と本機でダイレクト接続を行います。▶**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）** (P. 132)
ダイレクト接続の設定は▶**<ダイレクト接続設定>** (P. 206) で行うことができます。

<ネットワーク設定>

423Y-04A

ネットワークに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<有線/無線 LAN 選択>(P. 204)
- ▶<無線 LAN 設定>(P. 204)
- ▶<ダイレクト接続設定>(P. 206)
- ▶<PC でかんたん接続>(P. 207)
- ▶<TCP/IP 設定>(P. 207)
- ▶<SNMP 設定>(P. 211)
- ▶<専用ポート設定>(P. 212)
- ▶<起動時の接続待機時間>(P. 213)
- ▶<Ethernet ドライバー設定>(P. 213)
- ▶<IEEE 802.1X 設定>(P. 213)
- ▶<ネットワーク設定の初期化>(P. 213)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<有線/無線 LAN 選択> *

無線 LAN から有線 LAN に切り替えるときに設定します。逆に有線 LAN から無線 LAN に切り替えるときは、この設定は必要ありません (次の<無線 LAN 設定>で切り替えできます)。

<有線 LAN >
<無線 LAN >

<無線 LAN 設定> *

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。設定の確認や節電のための設定もできます。

<SSID 設定>

SSID やネットワークキーなどの情報を操作パネルから手動入力して無線 LAN 接続を設定します。

<アクセスポイント選択>

本機と接続可能な無線 LAN ルーターが自動的に探索されますので、一覧から選びます。WEP キーや PSK などのネットワークキーは手動で入力します。

<手動入力>

無線 LAN 接続の設定をすべて手動入力で行います。セキュリティの設定などを詳しく指定したい場合や、他の方法で接続できない場合に選択します。

• <セキュリティ設定>
<なし>

< WEP >
 < オープンシステム >
 WEP キー 1 ~ 4
 < 共有キー >
 WEP キー 1 ~ 4
 < WPA/WPA2-PSK >
 < 自動 >
 < AES-CCMP >

< WPS プッシュボタン方式 >

WPS 対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 28)

< WPS PIN コード方式 >

WPS 対応無線 LAN ルーターに PIN コードを入力して無線 LAN 接続を設定します。▶WPS PIN コード方式で設定する (P. 30)

< AOSS >

AOSS 対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 28)

< らくらく無線スタート >

らくらく無線スタート対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 28)

< パワーセーブモード >

無線 LAN ルーターが発する信号に合わせて本機を節電状態にするかどうかを設定します。

< OFF >
 < ON >



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <無線 LAN 設定> ▶ メッセージを確認 ▶ <OK> ▶ <パワーセーブモード> ▶ <OFF> または <ON> を選択

< 無線 LAN 情報 >

現在の無線 LAN についての設定を確認します。▶ネットワークの設定を確認する (P. 46)

< MAC アドレス >
 < 無線 LAN 状態 >
 < 最新のエラー情報 >
 < チャンネル >
 < SSID 設定 >
 < セキュリティ設定 >
 < パワーセーブモード >

<ダイレクト接続設定> *

ダイレクト接続をするための設定をします。設定をするとアクセスポイントや無線 LAN ルーターのない環境でも、モバイル機器から無線で直接本機に接続できます。 **▶ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）（P.132）**

<ダイレクト接続を使用>

ダイレクト接続を使用するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >

<ダイレクト接続の自動切断時間>

ダイレクト接続を開始してから自動的に切断する時間を設定します。

0（自動切断しない）
1～10～60（分）



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ダイレクト接続設定> ▶ <ダイレクト接続の自動切断時間> ▶ 時間を入力 ▶ **OK**

<アクセスポイントモード設定>

任意の SSID／ネットワークキーを設定します。モバイル機器を複数台同時にダイレクト接続したいときは、SSID およびネットワークキーを両方とも任意に設定する必要があります。

- <任意の SSID を使用>
 < OFF >
 < ON >
 < SSID >
- <任意のネットワークキーを使用>
 < OFF >
 < ON >
 <ネットワークキー>



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ダイレクト接続設定> ▶ <アクセスポイントモード設定> ▶ <任意の SSID を使用> / <任意のネットワークキーを使用> ▶ < ON > ▶ SSID／ネットワークキーを入力 ▶ <確定>

<ダイレクト接続時の IP アドレス設定>

ダイレクト接続用の IP アドレスを設定します。



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <ダイレクト接続設定> ▶ <ダイレクト接続時の IP アドレス設定>
▶ IP アドレスを入力 ▶ <確定>



MEMO

- ダイレクト接続で使用する IP アドレスと、本機の有線 LAN/無線 LAN の IP アドレスは同じ番号にしないでください。IP アドレスが同じ番号に設定されていると、ダイレクト接続が開始できません。

< PC でかんたん接続 >

PC でかんたん接続（ケーブルレスセットアップモード）を開始します。Canon Laser NW Device Setup Utility を使ってパソコンでネットワークの設定を行うことができます。



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ < PC でかんたん接続 > ▶ 接続開始



MEMO

- 「Canon Laser NW Device Setup Utility」はキヤノンホームページ（<https://global.canon>）からダウンロードしてください。

< TCP/IP 設定 >

IP アドレスの設定など、本機を TCP/IP ネットワークで使用するための設定をします。

< IPv4 設定 >

IPv4 を使ったネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

< IP アドレス設定 >

TCP/IP ネットワークでパソコンやプリンターなどの通信機器を特定するための IP アドレスを設定します。▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 40)**

- <自動取得>
 - <プロトコル選択>
 - < OFF >
 - < DHCP >
 - < BOOTP >
 - < RARP >
 - < Auto IP >

< OFF >
 < ON >

- < 手動取得 >
 < IP アドレス > : 0.0.0.0
 < サブネットマスク > : 0.0.0.0
 < ゲートウェイアドレス > : 0.0.0.0
- < 設定確認 >
 < 自動取得 > *
 < IP アドレス >
 < サブネットマスク >
 < ゲートウェイアドレス >

< PING コマンド >

本機とパソコンがネットワーク上で接続されているかどうかを確認します。▶ [接続テストをする\(P. 41\)](#)

< DNS 設定 >

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) の設定をします。▶ [DNS の設定をする\(P. 63\)](#)

- < DNS サーバー設定 >
 < プライマリー DNS サーバー > : 0.0.0.0
 < セカンダリー DNS サーバー > : 0.0.0.0
- < DNS ホスト名/ドメイン名設定 >
 < ホスト名 >
 < ドメイン名 >
- < DNS の動的更新設定 >
 < OFF >
 < ON >
 < DNS の動的更新間隔 >
 0 ~ **24** ~ 48 (時間)

< DHCP オプション設定 >

DHCP が有効な場合に、DHCP オプション機能を使ってホスト名の取得や動的更新をするかどうかを設定します。

▶ [DNS の設定をする\(P. 63\)](#)

- < ホスト名の取得 >
 < OFF >
 < ON >
- < DNS の動的更新 >
 < OFF >
 < ON >

< IPv6 設定 >

IPv6 を導入したネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

< IPv6 を使用 >

本機で IPv6 を使用するかどうかを選びます。▶IPv6 アドレスを設定する(P. 43)

- < OFF >
- < ON >
- < 設定確認 >
 - < リンクローカルアドレス >
 - < プレフィックス長 >

< ステートレスアドレス設定 >

ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定します。▶IPv6 アドレスを設定する(P. 43)

- < OFF >
- < ON >
- < 設定確認 >
 - < ステートレスアドレス >
 - < プレフィックス長 >

< DHCPv6 を使用 >

DHCPv6 から取得するステートフルアドレスを使用するかどうかを設定します。▶IPv6 アドレスを設定する(P. 43)

- < OFF >
- < ON >
- < 設定確認 >
 - < ステートフルアドレス >
 - < プレフィックス長 >

< DNS 設定 >

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) の設定をします。▶DNS の設定をする(P. 63)

- < DNS ホスト名/ドメイン名設定 >
 - < IPv4 と同ホスト/ドメイン使用 >
 - < OFF >
 - < ホスト名 >
 - < ドメイン名 >
 - < ON >
- < DNS の動的更新設定 >
 - < OFF >
 - < ON >
 - < 手動アドレスの登録 >
 - < OFF >
 - < ON >

<ステートフルアドレスの登録>

< OFF >

< ON >

<ステートレスアドレスの登録>

< OFF >

< ON >

< DNS の動的更新間隔 >

0 ~ 24 ~ 48 (時間)

< LPD 印刷の設定 >

ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しない印刷プロトコルである LPD を使用するかどうかを設定します。▶[印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 49\)](#)

< OFF >

< ON >

< RAW 印刷の設定 >

Windows 独自の印刷データ形式である RAW を使用するかどうかを設定します。▶[印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 49\)](#)

< OFF >

< ON >

< WSD の設定 >

WSD プロトコルを使ってプリンターの自動検索や情報取得をするかどうかを設定します。▶[印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 49\)](#)

• < WSD 印刷の設定 >

< WSD 印刷を使用 >

< OFF >

< ON >

< WSD 参照を使用 >

< OFF >

< ON >

• < マルチキャスト探索を使用 >

< OFF >

< ON >

< HTTP を使用 >

HTTP を使用するかどうかを設定します。HTTP はリモート UI や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などでパソコンやサーバーとの通信をするときに必要です。▶[HTTP 通信を無効にする\(P. 182\)](#)

< OFF >

< ON >

< ポート番号設定 >

お使いの環境に応じて、各種プロトコルのポート番号を変更します。▶[ポート番号を変更する\(P. 163\)](#)

- < LPD >
1 ~ **515** ~ 65535
- < RAW >
1 ~ **9100** ~ 65535
- < WSD マルチキャスト探索 >
1 ~ **3702** ~ 65535
- < HTTP >
1 ~ **80** ~ 65535
- < SNMP >
1 ~ **161** ~ 65535

< MTU サイズ >

本機が受信するパケットの最大サイズを設定します。▶送信パケットの最大サイズを変更する(P. 61)

- < 1300 >
- < 1400 >
- < **1500** >

< SNMP 設定 >

SNMP 対応ソフトウェアで本機を監視／制御するための設定をします。▶SNMP で監視／制御する(P. 67)

< SNMPv1 設定 >

SNMPv1 を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、所属するコミュニティ名および管理情報ベース (MIB) へのアクセス権限を設定します。

- < OFF >
- < **ON** >
 - < コミュニティ名 1 設定 >
 - < OFF >
 - < **ON** >
 - < コミュニティ名 >
 - < MIB アクセス権限 >
 - < コミュニティ名 2 設定 >
 - < **OFF** >
 - < ON >
 - < コミュニティ名 >
 - < MIB アクセス権限 >
 - < 専用コミュニティ設定 >
 - < OFF >
 - < **ON** >



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <SNMP 設定> ▶ <SNMPv1 設定> ▶ <SNMPv1 設定> ▶ <OFF>または<ON>を選択 ▶ <ON>を選択したときは設定を行う

< SNMPv3 設定 >

SNMPv3 を使用するかどうかを設定します。SNMPv3 を使用するとき適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <SNMP 設定> ▶ <SNMPv3 設定> ▶ <OFF>または<ON>を選択

< ホストからプリンター管理情報を取得 >

SNMP 対応ソフトウェアがネットワークを介して本機のプリンター管理情報を監視できるようにするかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <SNMP 設定> ▶ <ホストからプリンター管理情報を取得> ▶ <OFF>または<ON>を選択

<専用ポート設定>

専用ポートを使用するかどうかを設定します。専用ポートは、ネットワーク接続時にパソコンからの印刷や、本機の設定／参照などをする際に使用します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <ネットワーク設定> ▶ <専用ポート設定> ▶ <OFF>または<ON>を選択

<起動時の接続待機時間> *

通信開始までの待ち時間を設定します。本機を接続したネットワーク環境に合わせて設定してください。▶ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 62)

0 ~ 300 (秒)

< Ethernet ドライバー設定 > *

イーサネットの通信方式（半二重／全二重）や種類（10BASE-T/100BASE-TX）を設定したり、MAC アドレスを表示したりします。

<自動検出>

通信方式と種類を自動検出するかどうかを設定します。▶Ethernet の設定をする(P. 59)

- < OFF >
 - < 通信方式 >
 - < 半二重 >
 - < 全二重 >
 - < Ethernet の種類 >
 - < 10BASE-T >
 - < 100BASE-TX >
- < ON >

< MAC アドレス >

通信機器固有の番号である MAC アドレスを確認します。▶有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 46)

< IEEE 802.1X 設定 > *

IEEE 802.1X 認証を使用するかどうかを設定します。▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)

< OFF >
< ON >

< ネットワーク設定の初期化 >

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。▶<メニューの初期化>(P. 236)

<レポート出力>

423Y-04C

本機の設定項目の設定内容などをレポートやリストとして印刷して確認することができます。▶**レポートやリストを印刷する(P. 255)**

<環境設定>

423Y-04E

ディスプレイの表示に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

<表示設定>

<画面コントラスト>

設置場所に応じて、ディスプレイのコントラスト（明暗の差）を調整します。

5段階



<画面色反転>

< ON >に設定すると、画面の明暗が反転して表示されます。<画面コントラスト>で明るさを調整しても表示が見づらいときに< ON >に設定してください。

< OFF >
< ON >



< mm/インチ入力の切替>

長さの単位を選びます。

< mm >
< インチ >



<用紙設定の確認表示>

用紙を給紙カセットにセットしたときに用紙設定の確認を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <用紙設定の確認表示> ▶ < OFF > または < ON > を選択

<メッセージ表示時間>

2種類のメッセージが交互に表示される時、何秒ごとに切り替わるかを設定します。

1 ~ 2 ~ 5 (秒)



<メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <メッセージ表示時間> ▶ 表示時間を設定 ▶ **OK**

<スクロール文字速度>

画面のスクロール速度を3種類の中から選びます。

<遅い>
<標準>
<速い>



<メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <スクロール文字速度> ▶ 速度を選択

<表示言語の切替>

操作パネルの画面やレポートに表示される言語を切り替えるときに設定します。

< Chinese (Simplified) >
< Chinese (Traditional) >
< English >
< French >
< German >
< Italian >
< **Japanese** >
< Korean >
< Spanish >



<メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <表示言語の切替> ▶ 言語を選択

<リモート UI 表示言語の切替>

リモート UI の表示言語を切り替えるときに設定します。

< Chinese (Simplified) >
< Chinese (Traditional) >
< English >
< French >
< German >
< Italian >
< **Japanese** >
< Korean >
< Spanish >



<メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <表示設定> ▶ <リモート UI 表示言語の切替> ▶ 言語を選択

<タイマー設定>

423Y-04F

時間に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<静音モード移行時間>(P. 218)
- ▶<日付/時刻の設定>(P. 218)
- ▶<オートスリープ移行時間>(P. 219)
- ▶<オートクリア移行時間>(P. 219)

<静音モード移行時間>

本機をより静かに使いたい場合、稼働音を抑えることができます（静音モード）。時刻を設定しておくとも自動的に静音モードに切り替わります。常に静音モードにしておくこともできます。▶[静音モードにする\(P. 117\)](#)

- <入タイマー>
 < **OFF** >
 < ON >
 静音モード開始時刻設定
- <切タイマー>
 < **OFF** >
 < ON >
 静音モード終了時刻設定

<日付/時刻の設定>

年月日の表示順や現在時刻の表示形式など、日付と時刻に関する項目を設定します。

<日付の形式>

年月日の表示順序を設定します。

- < **年/月/日** >
- < 月/日/年 >
- < 日/月 年 >



<メニュー> ▶ <タイマー設定> ▶ <日付/時刻の設定> ▶ <日付の形式> ▶ 形式を選択

<時刻の形式>

時刻の表示形式を設定します。

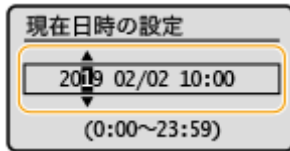
- < **12 時間表示(AM/PM)** >
- < **24 時間表示** >



<メニュー> ▶ <タイマー設定> ▶ <日付/時刻の設定> ▶ <時刻の形式> ▶ 形式を選択

<現在日時の設定>

現在の日付と時刻を設定します。▶ **日付/時刻を設定する(P. 20)**



- ここでの設定を行う前に、まず次の<タイムゾーン>を設定してください。<タイムゾーン>をあとで設定すると、ここでの設定は自動的に変更されてしまいます。

<タイムゾーン>

タイムゾーンを設定します。タイムゾーンを変更すると、それに合わせて<現在日時の設定>で設定した値も自動的に変更されます。▶ **日付/時刻を設定する(P. 20)**

<(UTC-12:00) 国際日付変更線 西側>～<(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京>～<(UTC+14:00) クリスマス島>



UTC とは

- UTCとは世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本はUTCとの間に+9時間の時差があります。インターネットを介した通信では、正しく設定することが前提となっています。

<オートスリープ移行時間>

キー操作もなく、印刷もしない状態が一定時間続くと、自動的に節電状態（オートスリープ）になります。オートスリープになるまでの時間を指定します。なお、メニュー画面が表示されているときは、オートスリープになりません。お買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめします。▶ **スリープモードにする(P. 119)**

1～30 (分)

<オートクリア移行時間>

一定時間キー操作をしないと、その時点の設定は初期値に戻ります（オートクリア）。オートクリアされるまでの時間を指定します。なお、以下の場合にはオートクリアされません。

- メニュー画面が表示されているとき
- 文書の出力など、何らかの動きが進行中のとき

- 画面にエラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅しているとき（ただし、エラーでも続行可能な機能の場合にはオートクリアされます。）

0（オートクリアしない）
1～2～9（分）



<メニュー> ▶ <タイマー設定> ▶ <オートクリア移行時間> ▶ 時間を指定 ▶ OK

<共通設定>

423Y-04H

給紙方法に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

<給紙方法切替>

ロゴマーク付きの用紙に印刷するときに設定します。通常、ロゴマーク付きの用紙を印刷するときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙のオモテ/ウラを変更しなければなりません。<プリント面優先>に設定すれば、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ(ロゴのある面をウラ)にセットするだけで済みます。詳細については、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 109)**を参照してください。

- <手差し>
 - <速度優先>
 - <プリント面優先>
- <カセット1>
 - <速度優先>
 - <プリント面優先>



<メニュー> ▶ <共通設定> ▶ <給紙方法切替> ▶ 給紙部を選択 ▶ <速度優先>または<プリント面優先>を選択



a 給紙部の選択

設定変更の対象となる給紙部を選びます。

b <速度優先>

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要があります。



オモテ・ウラ面を考慮する必要のない用紙に印刷する場合は、<速度優先>に設定しておくことをおすすめします。

c <プリント面優先>

片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要がありません。



- 両面印刷できないサイズや種類の用紙（**●用紙について(P. 321)**）をセットしている給紙部に対して<プリント面優先>を設定しても無効となり、<速度優先>の動作となります。この場合、用紙は<速度優先>の向きでセットしてください（**●ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 109)**）。
- <プリント面優先>に設定すると、片面印刷の速度が遅くなります。

<プリンター設定>

423Y-04J

プリンターに関する設定項目について説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<用紙サイズ不一致時の動作>(P. 223)
- ▶<モバイルプリントの画質設定>(P. 223)
- ▶<印字調整>(P. 224)



設定の優先順位

- 同じ設定項目であれば、プリンタードライバーの設定が、操作パネルの設定よりも優先されます。操作パネルの設定は、UNIX などのプリンタードライバーが使えない OS から印刷するときなどに有効となります。



<用紙サイズ不一致時の動作>

給紙カセットにセットされている用紙サイズ以外のサイズを選択しても強制的に印刷するかどうかを設定します。強制印刷はせずに、警告メッセージだけを表示することも可能です。

<強制出力する>
<エラーを表示する>



<メニュー> ▶ <プリンター設定> ▶ <用紙サイズ不一致時の動作> ▶ <強制出力する> または <エラーを表示する> を選択

<モバイルプリントの画質設定>

モバイル機器から印刷するときの画像処理方法を選択します。

- <中間調>
 - <階調>
 - <誤差拡散>
- <画質モード>
 - <速度優先>
 - <画質優先>



<メニュー> ▶ <プリンター設定> ▶ <モバイルプリントの画質設定> ▶ <中間調>または<画質モード>を選択 ▶ 項目を選択 ▶ <確定>



MEMO

- <画質モード>が<速度優先>に設定されている場合、<誤差拡散>に設定することはできません。

<印字調整>

印刷の品質に関する設定を変更できます。

<トナー節約>

モバイル機器から印刷するときにトナーを節約して印刷します。大量に印刷するときなど、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してから印刷したいときに設定します。

<しない>
<する>



<メニュー> ▶ <プリンター設定> ▶ <印字調整> ▶ <トナー節約> ▶ <しない>または<する>を選択

<用紙設定(モバイル)>

423Y-04K

用紙設定に関するすべての設定項目を一覧で説明します。

- ▶<サイズ/種類設定>(P. 225)
- ▶<よく使う用紙サイズを選択>(P. 225)

<サイズ/種類設定>

用紙サイズや用紙種類を設定します。

<ユーザー設定>、< A4 >、< A5R >、< B5 >、< 長形 3 号 >、< 洋形長 3 号 >、< はがき >、< 往復はがき >、< 4 面はがき >、< LTR >、< LGL >、< STMT >、< EXEC >、< その他のサイズ >
 < 普通紙 (71~89 g/m²) >、< 普通紙 L (61~70 g/m²) >、< 普通紙 L2 (60 g/m²) >、< 再生紙 >、< 色紙 (61~70 g/m²) >、< 厚紙 1 (90~105 g/m²) >、< 厚紙 2 (106~120 g/m²) >、< 厚紙 3 (121~163 g/m²) >、< 厚紙 4 (121~163 g/m²) >、< ラベル用紙 >、< ボンド紙 1 (60~104 g/m²) >、< ボンド紙 2 (105~163 g/m²) >、< 封筒 >、< 封筒 H >、< はがき >



<メニュー> ▶ <用紙設定(モバイル)> ▶ <サイズ/種類設定> ▶ 用紙サイズや用紙種類を選択

<よく使う用紙サイズを選択>

よく使う用紙サイズを設定します。ここで選択した用紙サイズは<用紙サイズ(よく使う)>画面に表示されます。

<ユーザー設定>、< A4 >、< A5R >、< B5 >、< 長形 3 号 >、< 洋形長 3 号 >、< はがき >、< 往復はがき >、< 4 面はがき >、< LTR >、< LGL >、< STMT >、< EXEC >、< FOOLSCAP >、< OFICIO >、< Government-LTR >、< Government-LGL >、< India-LGL >、< AUS-FOOLSCAP >、< Brazil-OFICIO >、< Mexico-OFICIO >、< F4A >



<メニュー> ▶ <用紙設定(モバイル)> ▶ <よく使う用紙サイズを選択> ▶ 設定する用紙サイズを選択
 ▶ <確定>

<調整/メンテナンス>

423Y-04L

調整とメンテナンスに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング >(P. 226)
- ▶<特殊処理>(P. 226)
- ▶<定着器のクリーニング>(P. 230)

<カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング >

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの残量が少なくなったときにメッセージを表示する任意のタイミングを設定します。

<トナーカートリッジ>
<ドラムカートリッジ>



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング > ▶ <トナーカートリッジ>または<ドラムカートリッジ>を選択 ▶ カートリッジ残量を入力

<特殊処理>

さまざまな種類の用紙に印刷するとき、以下の設定を行うことでお困りの症状を改善できる場合があります。

<特殊印字モード U >

印刷したときに、文字やパターンの周辺にトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード U > ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、紙の種類（特に薄紙）や使用環境（特に高湿度環境）によっては、プリント品質が低下することがあります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード Q >、<特殊印字モード R >、<特殊印字モード T >は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード D>

印刷した用紙が黒ずんだり、画像がかすれたりしたときに設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード D> ▶ < ON >

<特殊印字モード A>

印刷したときに用紙にすじ状の汚れが付着する場合に、設定を変更すると改善されることがあります。<モード 1>よりも<モード 2>の方が印刷品質を向上させることができます。

< OFF >
<モード 1 >
<モード 2 >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード A> ▶ モードを選択

<特殊印字モード G>

紙粉の多い用紙を使用すると、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード G> ▶ < ON >

<特殊印字モード Q>

表面が粗い用紙を使用すると、画像がかすれることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード Q> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、画質が変わることがあります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード U>、<特殊印字モード R>、<特殊印字モード T>は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード R>

すでに印刷された用紙のウラ面に印刷すると薄くなる場合があります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード R> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、オモテ面を印刷してから一定時間が経過したときや湿度環境によっては、画質が変わったり、紙づまりが発生したりする場合があります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード U>、<特殊印字モード Q>、<特殊印字モード T>は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード T>

湿度が高い環境で使用しているときに印字ムラが出る場合があります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード T> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、低湿度環境で使用しているときに画像や文字がにじむことがあります。
- < ON >に設定すると、<特殊印字モード U>、<特殊印字モード Q>、<特殊印字モード R>は自動的に< OFF >になります。

<特殊印字モード L>

用紙に紙粉や粉塵が多く含まれていると、印刷時に汚れが付くことがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <特殊印字モード L> ▶ < ON >

<線幅選択>

印刷したバーコードが読み取れない場合は、この項目の設定を変更すると改善されることがあります。

<自動>
<細い>
<やや細い>
<やや太い>
<太い>



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <線幅選択> ▶ 線幅を選択

<はがき下地補正>

印刷したはがきが全体的に黒ずむような場合に設定します。はがきが指定されたときのみ有効です。

< OFF >
<モード 1 >
<モード 2 >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <はがき下地補正> ▶ モードを選択



- 改善効果は<モード 1 >よりも<モード 2 >の方が強くなります。
- <モード 1 >や<モード 2 >に設定すると、線が細くなったり、印刷しない部分に残像が現れたりすることがあります。また、印刷濃度が薄くなるがあります。

<はがき定着改善モード>

印刷されたはがきのトナーがはがれることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <はがき定着改善モード> ▶ < ON >



- < ON >に設定すると、用紙がカールすることがあります。

<静音モードの ON/OFF >

静音モードを有効にするかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <特殊処理> ▶ <静音モードの ON/OFF > ▶ < OFF >または< ON >を選択

<定着器のクリーニング>

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを交換したあとや印刷された用紙に黒いすじが現れる場合などに定着器をクリーニングします。 **定着器を清掃する(P. 242)**

<システム管理設定>

システム管理設定に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶<ネットワーク設定>(P. 231)
- ▶<システム管理者情報の設定>(P. 231)
- ▶<デバイス情報の設定>(P. 231)
- ▶<セキュリティ設定>(P. 232)
- ▶<リモート UI 設定>(P. 233)
- ▶<ジョブ履歴表示の ON/OFF >(P. 234)
- ▶< USB デバイスとして使用>(P. 234)
- ▶<使用状況調査プログラムの ON/OFF >(P. 234)
- ▶<リモートUI/ツールへの消耗品情報表示>(P. 234)
- ▶< Google クラウド プリントの設定>(P. 235)
- ▶<ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)>(P. 235)
- ▶<ファームウェア更新>(P. 236)
- ▶< ECO レポートカウンターの初期化>(P. 236)
- ▶<メニューの初期化>(P. 236)
- ▶<全データ/設定の初期化>(P. 236)



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

<ネットワーク設定>

- ▶<ネットワーク設定>(P. 204) を参照してください。

<システム管理者情報の設定>

<ネットワーク設定>や<システム管理設定>へアクセスするためには暗証番号の入力が必要となるように設定できます。暗証番号は<システム管理暗証番号>で設定します。管理者の名前も登録できます。▶**システム管理暗証番号を設定する(P. 151)**

<システム管理暗証番号>

管理者専用のシステム管理暗証番号を入力します。

<システム管理者名>

管理者の名前を入力します。

<デバイス情報の設定>

本機を識別するための名前や設置場所をそれぞれ入力します。たとえば、デバイス名には「ケイワ1ゴウ」、設置場所には「1トウ2カニシガワ」というように入力します。

<デバイス名>
<設置場所>



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <デバイス情報の設定> ▶ <デバイス名>または<設置場所>を選択 ▶ デバイス名または設置場所を入力 (**文字を入力する(P. 95)**) ▶ <確定>

<セキュリティー設定>

IP アドレスまたは MAC アドレスによるパケットフィルタリングを使用するかどうかを設定します。

< TLS を使用 >

TLS による暗号化通信を使用するかしないかを設定します。 **TLS 用の鍵と証明書を設定する(P. 166)**

< OFF >
< ON >

< IPv4 アドレスフィルタ >

指定した IPv4 アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。 **IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 158)**

• <受信フィルタ >
< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <セキュリティー設定> ▶ < IPv4 アドレスフィルタ > ▶ <受信フィルタ > ▶ < OFF >または< ON >を選択

< IPv6 アドレスフィルタ >

指定した IPv6 アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。 **IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 158)**

• <受信フィルタ >
< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <セキュリティー設定> ▶ < IPv6 アドレスフィルタ > ▶ <受信フィルタ > ▶ < OFF >または< ON >を選択

< MAC アドレスフィルター > *

指定した MAC アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。▶ **MAC アドレスでファイアウォールを設定する(P. 161)**

- <受信フィルター>
- < OFF >
- < ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <セキュリティー設定> ▶ < MAC アドレスフィルター > ▶ <受信フィルター> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< リモート UI 設定 >

リモート UI を使うための設定をします。リモート UI を使うとウェブブラウザから本機の設定ができます。

< リモート UI を使用 >

リモート UI を使うかどうかを設定します。▶ **リモート UI を無効にする(P. 183)**

- < OFF >
- < ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI を使用> ▶ < OFF > または < ON > を選択

< リモート UI アクセス保護の設定 >

リモート UI へアクセスするためには暗証番号の入力が必要となるように設定できます。暗証番号を 7 桁以内の数字で設定します。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。▶ **リモート UI の暗証番号を設定する(P. 153)**

- < OFF >
- < ON >
- <リモートUIアクセス暗証番号>



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI アクセス保護の設定 > ▶ < ON > ▶ 暗証番号を入力 ▶ <確定> ▶ 暗証番号 (確認入力) ▶ <確定>

<ジョブ履歴表示の ON/OFF >

印刷の履歴をディスプレイに表示するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <ジョブ履歴表示の ON/OFF > ▶ < OFF > または < ON > を選択

< USB デバイスとして使用 >

パソコンと本機を接続する USB ポートを使用するかどうかを設定します。 **パソコンとの USB 接続を制限する(P. 181)**

< OFF >
< ON >

<使用状況調査プログラムの ON/OFF >

使用状況調査プログラムを使用するかどうかを設定します。

< OFF >
< ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <使用状況調査プログラムの ON/OFF > ▶ < OFF > または < ON > を選択

<リモートUI/ツールへの消耗品情報表示 >

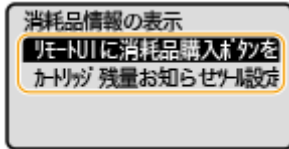
リモート UI やカートリッジ残量お知らせツールに、消耗品購入サイトへアクセスするためのボタンを表示するかどうかを設定します。また、カートリッジ残量お知らせツールを使うかどうかを設定することもできます。

- <リモートUI に消耗品購入ボタンを表示>
 - < OFF >
 - < ON >
- <カートリッジ残量お知らせツール設定>
 - < OFF >
 - < ON >
 - <購入ボタンを表示>
 - < OFF >

< ON >



<メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <リモートUI/ツールへの消耗品情報表示> ▶ 各設定項目を指定



<リモートUIに消耗品購入ボタンを表示>

リモートUIに消耗品購入サイトへアクセスするためのボタンを表示させない場合は、< OFF >を選びます。

<カートリッジ残量お知らせツール設定>

カートリッジ残量お知らせツールを使用しない場合は、< OFF >を選びます。カートリッジ残量お知らせツールに消耗品購入サイトへアクセスするためのボタンを表示させないときは、< ON > ▶ < OFF >の順に選びます。

< Google クラウド プリントの設定 >

クラウドプリントを使用するかどうかを設定します。▶ **Google Cloud Print に本機を登録する(P. 144)**

- < Google クラウド プリントの ON/OFF >
 < OFF >
 < ON >
- < Google クラウド プリントの登録状況 >

< ページ記述言語選択(プラグ&プレイ) >

プラグ&プレイで本機にパソコンを接続したときに、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを設定します。

< ネットワーク >


ネットワーク上で本機を探索したときに本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを選択します。

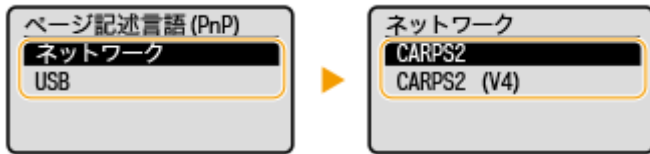
< CARPS2 >
 < CARPS2 (V4) >

< USB >

本機とパソコンを USB で接続したときに、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを選択します。

< CARPS2 >
 < CARPS2 (V4) >

 <メニュー> ▶ <システム管理設定> ▶ <ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)> ▶ <ネットワーク>
または< USB >を選択 ▶ ページ記述言語を選択 ▶ 本機を再起動



< CARPS2 >

本機を CARPS2 プリンターとして検出/接続します。

< CARPS2 (V4) >

本機を XPS 対応の CARPS2 プリンターとして検出/接続します。

<ファームウェア更新>

ファームウェアを更新する際に、お使いの環境に合わせて選んでください。▶**ファームウェアをアップデートする(P. 196)**

- < PC 経由 >
- < インターネット経由 >
- < バージョン情報 >

< ECO レポートカウンターの初期化 >

ECO レポートカウンターの設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。▶**ECO レポートカウンターを初期化する(P. 199)**

< メニューの初期化 >

メニューの設定値をお買い上げ時の値に戻します（初期化）。全設定値を一度に初期化したり、設定項目別に初期化したりできます。▶**メニューを初期化する(P. 199)**

- < 環境設定 >
- < タイマー設定 >
- < 共通設定 >
- < プリンター設定 >
- < 調整/メンテナンス >
- < システム管理設定 >
- < 上記すべて >

< 全データ/設定の初期化 >

履歴などを含めたデータや設定値をすべてお買い上げ時の状態に戻します。▶**すべてのデータ/設定を初期化する(P. 200)**

メンテナンス

メンテナンス	238
日常のお手入れ	240
本体外部を清掃する	241
定着器を清掃する	242
トナーカートリッジを交換する	243
ドラムカートリッジを交換する	247
消耗品の残量を確認する	251
本機を移動する	252
印刷ページ数を確認する	254
レポートやリストを印刷する	255
無償保証や保守サービスについて	257
無償保証について	258
キヤノンサービスパック (CSP)	259
キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG)	261
消耗品	263

メンテナンス

423Y-04S

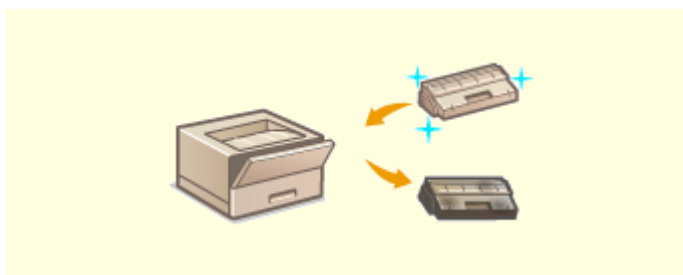
本体のお手入れや印刷品質の調整など、本機の保守・管理について説明しています。また、キヤノンの保守サービス、無償保証についてもご紹介しています。

■ 基本的手入れ



▶ 日常のお手入れ(P. 240)

■ 消耗品を交換する



- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 243)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

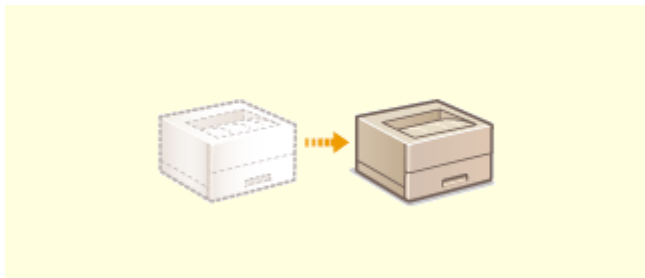


▶ 消耗品の残量を確認する(P. 251)



▶ 消耗品(P. 263)

■ 本機を調整・管理する



▶ 本機を移動する(P. 252)



▶ 印刷ページ数を確認する(P. 254)



▶ レポートやリストを印刷する(P. 255)

■ その他

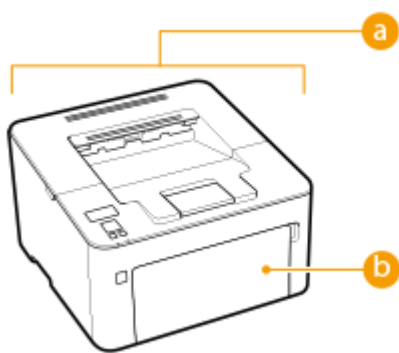
- ▶ 無償保証や保守サービスについて(P. 257)

日常のお手入れ

423Y-04U

印刷品質の低下を防ぎ、快適で安全にお使いいただくために、本機を定期的に清掃してください。

お手入れする場所



a 本体外部と通気口

▶ 本体外部を清掃する(P. 241)

b 本体内部の定着器

▶ 定着器を清掃する(P. 242)

本体外部を清掃する

423Y-04W

本体の表面を定期的に拭いて、きれいな状態を保ってください。また、通気口のホコリはこまめに拭き取ってください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

2 本体表面と通気口を拭く

- 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞って拭きます。
- 通気口の場所は、▶[本体前面\(P. 78\)](#) を参照してください。



3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

定着器を清掃する

423Y-04X

定着器が汚れていると、印刷された用紙に汚れが付くことがあります。このような場合、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。待機中の印刷データがある場合、クリーニングはできませんのでご注意ください。なお、クリーニングにはA4またはレターサイズの普通紙が必要です。あらかじめ手差しトレイにセットしておいてください。🔴**用紙をセットする(P. 96)**



- クリーニングを行うときは、あらかじめ、トナーカートリッジとドラムカートリッジの残量があることを確認してください。🔴**消耗品の残量を確認する(P. 251)**

- 1** ホーム画面で、<メニュー>を選ぶ 🔴**ホーム画面(P. 89)**
- 2** <調整/メンテナンス>を選ぶ
- 3** <定着器のクリーニング>を選ぶ
- 4** 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認し、<開始>を選ぶ

▶▶▶ クリーニングが開始されます。

トナーカートリッジを交換する

423Y-04Y

トナーカートリッジの残量が少なくなるとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、トナーカートリッジの残量をディスプレイで確認することもできます（[消費品の残量を確認する\(P. 251\)](#)）。

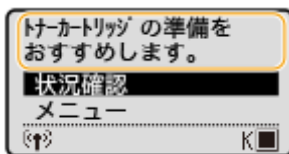
- [メッセージが表示されたときは\(P. 243\)](#)
- [トナーカートリッジの交換手順\(P. 244\)](#)

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジ残量によってメッセージの内容が異なります。メッセージに従って、新しいトナーカートリッジの用意（[消耗品\(P. 263\)](#)）や交換（[トナーカートリッジの交換手順\(P. 244\)](#)）を行ってください。

<トナーカートリッジの準備をおすすめします。>

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。



このメッセージが表示されているとき

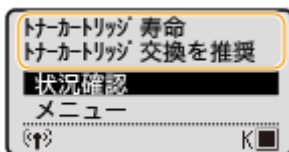
- 印刷時は、そのまま印刷を続けることができます。

このメッセージが表示されるタイミングを設定する

- トナーカートリッジが残り何%になったらこのメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。[<カートリッジ準備お知らせの表示タイミング>\(P. 226\)](#)

<トナーカートリッジ 寿命 トナーカートリッジ 交換を推奨>

トナーカートリッジが寿命に達しました。基本的には交換することをおすすめしますが、強制的に印刷を継続することも可能です。ただし、この場合、印刷品質は保証しかねます。



<状況確認>

<状況確認>を選ぶ ▶ <エラー情報/お知らせ> ▶ <トナーカートリッジ寿命>を選んでトナーカートリッジの交換手順を表示する



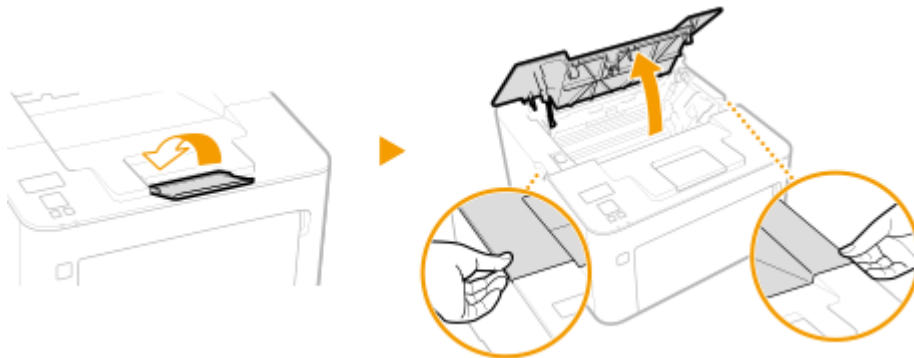
消耗品を交換する

- 戻るキーを長押しし、<レポート出力>画面で消耗品ステータスレポートを印刷してカートリッジ名称を確認します。▶ **レポートやリストを印刷する(P. 255)**

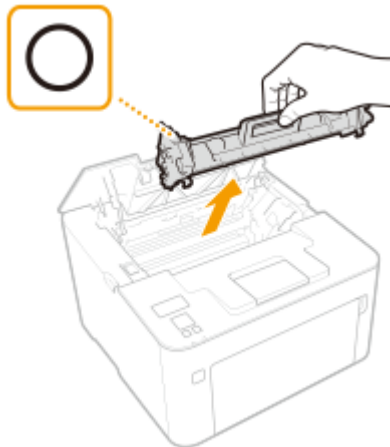
トナーカートリッジの交換手順

トナーカートリッジの交換の際は、画面にも簡易的な交換手順が表示されます。以下の手順とあわせてご確認ください。

1 排紙ストッパーを閉じたあと、トナーカバーを開ける



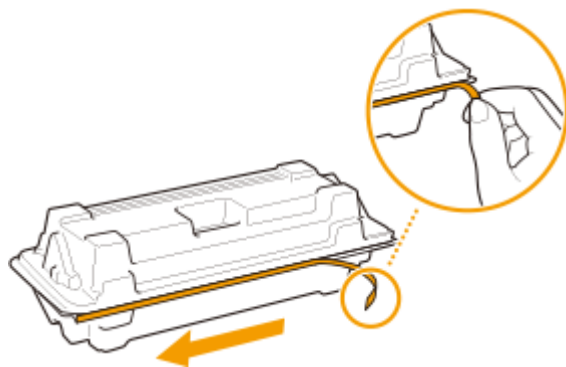
2 トナーカートリッジを取り出す



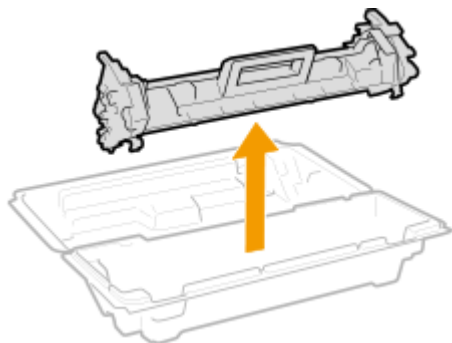
トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

3 新しいトナーカートリッジを梱包材から取り出す

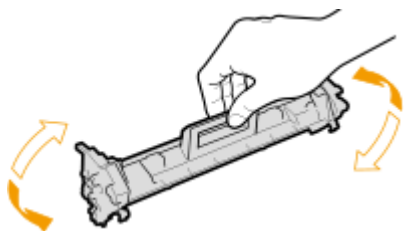
- 1 平らな場所で梱包材のタブをひく



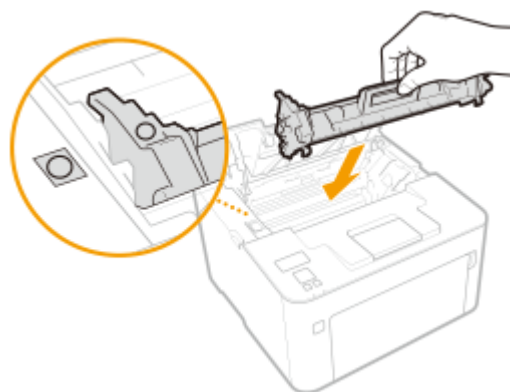
- 2 トナーカートリッジを取り出す



- 4 トナーカートリッジを5～6回振って内部のトナーを均一にならしたあと、平らな場所に置く



- 5 トナーカートリッジを交換する



- 6 トナーカバーを閉じる

▶消耗品(P. 263)

ドラムカートリッジを交換する

423Y-050

ドラムカートリッジの残量が少なくなるとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、ドラムカートリッジの残量をディスプレイで確認することもできます（[消費品の残量を確認する\(P. 251\)](#)）。

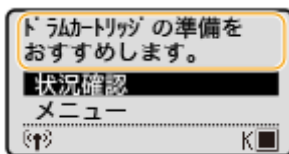
- [メッセージが表示されたときは\(P. 247\)](#)
- [ドラムカートリッジの交換手順\(P. 248\)](#)

メッセージが表示されたときは

ドラムカートリッジ残量によってメッセージの内容が異なります。メッセージに従って、新しいドラムカートリッジの用意（[消耗品\(P. 263\)](#)）や交換（[ドラムカートリッジの交換手順\(P. 248\)](#)）を行ってください。

<ドラムカートリッジの準備をおすすめします。>

ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。



MEMO

このメッセージが表示されているとき

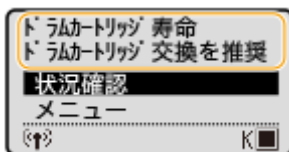
- 印刷時は、そのまま印刷を続けることができます。

このメッセージが表示されるタイミングを設定する

- ドラムカートリッジが残り何%になったらこのメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。[<カートリッジ準備お知らせの表示タイミング>\(P. 226\)](#)

<ドラムカートリッジ 寿命ドラムカートリッジ 交換を推奨>

ドラムカートリッジが寿命に達しました。基本的には交換することをおすすめしますが、強制的に印刷を継続することも可能です。ただし、この場合、印刷品質は保証しかねます。



<状況確認>

<状況確認>を選ぶ ▶ <エラー情報/お知らせ> ▶ <ドラムカートリッジ寿命>を選んでドラムカートリッジの交換手順を表示する



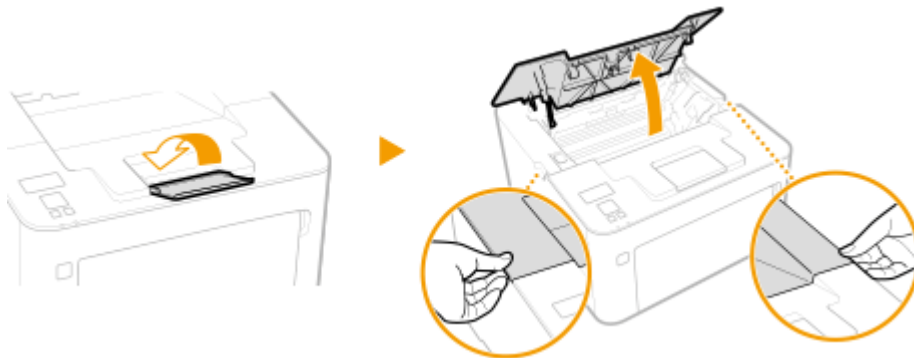
消耗品を交換する

- 戻るキーを長押しし、<レポート出力>画面で消耗品ステータスレポートを印刷してカートリッジ名称を確認します。▶**レポートやリストを印刷する(P. 255)**

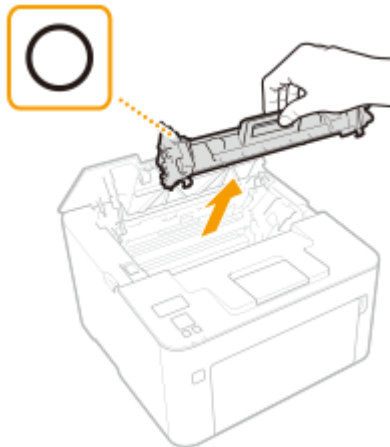
ドラムカートリッジの交換手順

ドラムカートリッジの交換の際は、画面にも簡易的な交換手順が表示されます。以下の手順とあわせてご確認ください。

1 排紙ストッパーを閉じたあと、トナーカバーを開ける

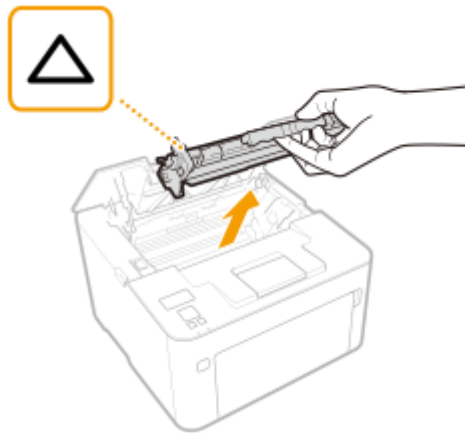


2 トナーカートリッジを取り出す



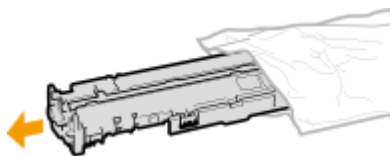
トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

3 ドラムカートリッジを取り出す

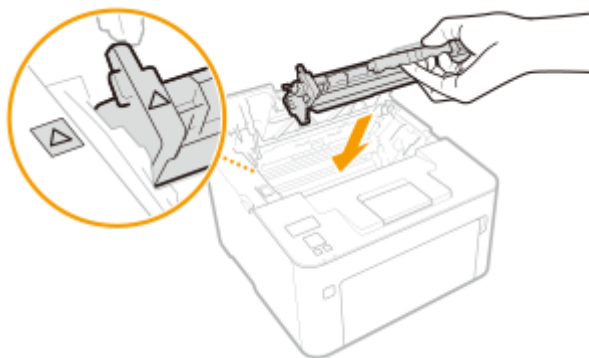


ドラムカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、ドラムカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。ドラムカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。ドラムカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

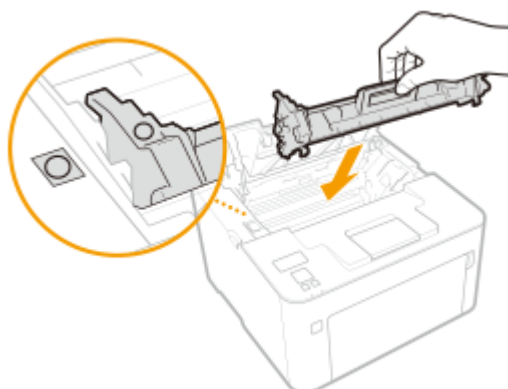
4 新しいドラムカートリッジを梱包材から取り出す



5 ドラムカートリッジを交換する



6 トナーカートリッジを取り付ける



7 トナーカバーを閉じる



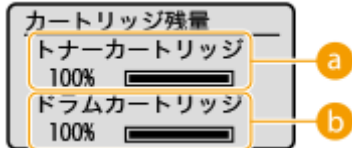
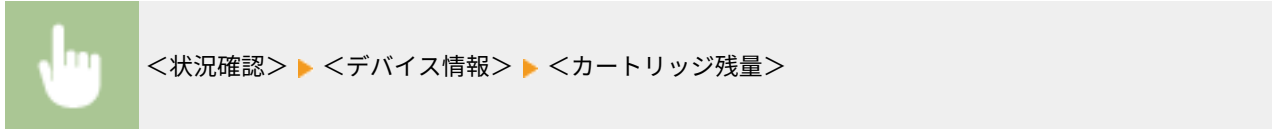
関連項目

●消耗品(P. 263)

消耗品の残量を確認する

423Y-051

トナーカートリッジなどの残量は以下の手順で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジを用意しておく必要がないか確認してください。



a トナーカートリッジ残量表示

トナーカートリッジの残量を表示します。

b ドラムカートリッジ残量表示

ドラムカートリッジの残量を表示します。

MEMO

- 表示されるトナーカートリッジまたはドラムカートリッジの残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。
- トナーカートリッジまたはドラムカートリッジがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

関連項目

- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 243)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 247)
- ▶ 消耗品(P. 263)

本機を移動する

423Y-052

本機は重量物です。けがなどの事故を未然に防ぐためにも、移動するときは必ず次の手順に従ってください。なお、移動する前に、安全に関する注意事項を確認してください。▶安全にお使いいただくために(P. 2)

1 本機とパソコンの電源を切る

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

2 接続されているケーブルやコードをイラストの番号順に抜く

- USB ケーブル (4)、LAN ケーブル (5) の有無は接続環境によって異なります。

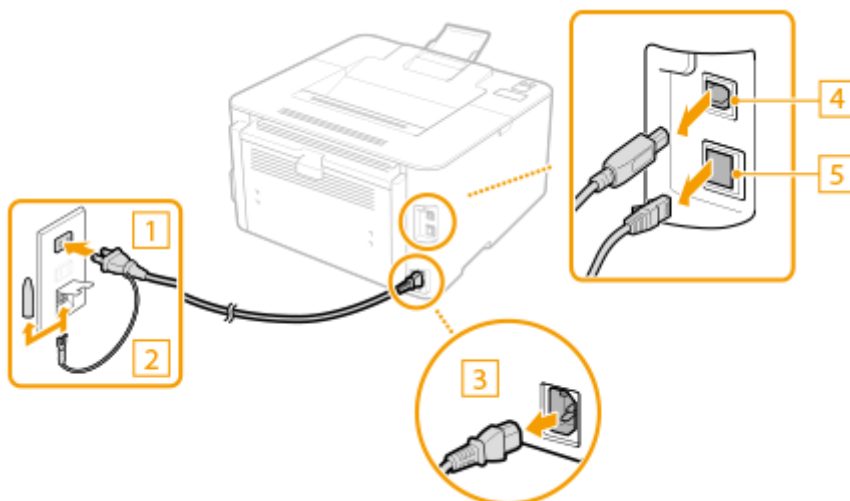
1 電源プラグ

2 アース線

3 電源コード

4 USB ケーブル

5 LAN ケーブル

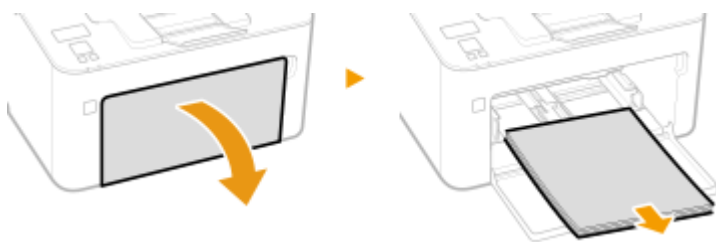


3 長距離を移動する場合はトナーカートリッジとドラムカートリッジを取り出す

- ▶トナーカートリッジの交換手順(P. 244)
- ▶ドラムカートリッジの交換手順(P. 248)

4 前カバーを開けて用紙を取り出す

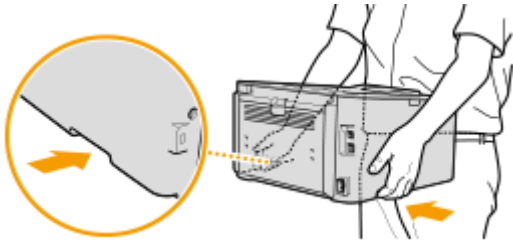
- 用紙ガイドが引き出されている場合は、給紙カセットに収まるように戻します。



5 前カバーや排紙ストッパーなどをすべて閉じ、移動場所に運ぶ

- 本機の重さを確認してから、無理のないように持ち運んでください。▶本体(P. 318)

- 運搬用取っ手をつかんで本体を持ち上げます。



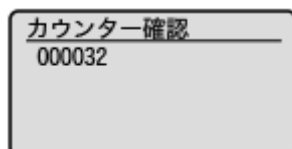
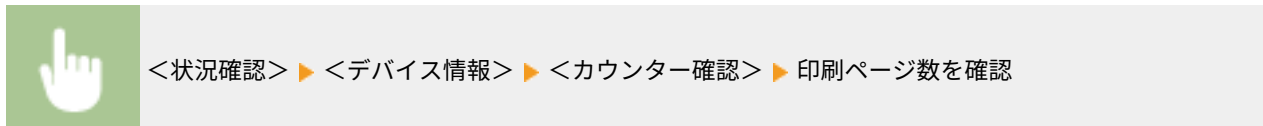
6 移動場所にゆっくりおろす

- 移動後の設置手順については、「はじめにお読みください」を参照してください。▶**マニュアルの種類と内容 (P. 330)**

印刷ページ数を確認する

423Y-053

これまでに行った印刷の総ページ数を確認できます。パソコンからの印刷だけでなく、リストについても印刷枚数にカウントされます。



レポートやリストを印刷する

423Y-054

本機の設定項目の設定内容などをレポートやリストとして印刷して確認することができます。

- 設定内容のリストを印刷する(P. 255)
- 本機の使用状況のレポートを印刷する(P. 255)

設定内容のリストを印刷する

本機に登録した情報や設定内容をリストにして印刷することができます。

ユーザーデータリスト

本機の設定項目（●設定メニュー一覧(P. 202)）とその内容をリストで確認できます。



<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <ユーザーデータリスト> ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認する ▶ <OK> ▶ <はい>

本機の使用状況のレポートを印刷する

本機の状態のレポートを印刷することができます。

ECO レポート

月々の印刷枚数と電力消費量をレポートで確認できます。使用状況から用紙の節約や節電をするためのアドバイスが印刷されます。



<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <ECO レポート> ▶ 画面に表示されている用紙がセットされていることを確認する ▶ <OK> ▶ <はい>



- 消費電力量は、本機の使用状況や環境によって異なることがあります。

消耗品ステータスレポート

本機にセットされている消耗品の状態をレポートで確認できます。



<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <消耗品ステータスレポート> ▶ 画面に表示されている用紙が
セットされていることを確認する ▶ <OK> ▶ <はい>

カートリッジログレポート

トナーカートリッジやドラムカートリッジの利用実績などをレポートで確認できます。



<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <カートリッジログレポート> ▶ 画面に表示されている用紙が
セットされていることを確認する ▶ <OK> ▶ <はい>

無償保証や保守サービスについて

423Y-055

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただく製品向けに、保守サービスをパッケージ化した「キャノンサービスパック（CSP）」と契約型の保守サービス制度「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」を用意しています。

「キャノンサービスパック（CSP）」や「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」は、電話による障害の解決支援や設置先での修理対応、安定した運用稼働のための定期点検（CCGのみ）を実施します。

- ▶無償保証について(P. 258)
- ▶キャノンサービスパック（CSP）(P. 259)
- ▶キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）(P. 261)

無償保証について

423Y-056

弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器情報をご登録いただくことで、お買い上げ日から1年間無償保証サービスを提供いたします。

下記ホームページからご登録をお願いいたします。

canon.jp/biz-regists

ご登録後に保証書を電子発行（ウェブサイトでの閲覧および印刷）いたしますので、印刷の上、大切に保管願います。

無償保証の保守サービスをお受けになるためには、ご登録後に電子発行される保証書、お買い上げ日が確認できる書面（納品書、領収書等）をあわせて、お買上げ販売店またはサービス実施店にご提示ください。

キヤノンサービスパック (CSP)

423Y-057

キヤノンサービスパック（以下 CSP）は、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*1）がパッケージ化された保守サービス商品です。無償保証期間を含めた複数年パック（3年、4年、5年）、または保証期間後の1年パックから選択することができます。

*1 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

CSP のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CSP の料金に含まれているため、部品代（*1）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CSP は、故障が発生した際に修理・調整をおこなうサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：コールセンターの的確な対応

CSP は保守専用のコールセンターで障害の内容を承ります。障害の内容に応じて復旧方法のアドバイスやサービス実施店への修理手配などの的確な対応を行ないます。

修理受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

- ご連絡先の電話番号はお客様 ID シールに記載しております。
- 祝祭日、年末年始等のキヤノンマーケティングジャパンが指定する休日を除きます。

安心 4：簡単購入、簡単登録

CSP はパッケージ化された商品のため簡単に購入することができます。また、契約書による契約手続きは不要で、CSP 購入後の保守登録は WEB、FAX、郵送で申請できます。

安心 5：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。
- 条件によっては契約をお受けできない場合があります。



- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
Canon.jp/csp

購入時の注意

購入タイミング

CSP スタンダードは対象製品の販売と同時にご購入ください。

CSP 保証延長は、無償保証期間経過後に CSP 保証延長を付ける場合、無償保証期間が終了する 3 ヶ月前から終了日までにご購入ください。CSP スタンダード 3 年、4 年パックの保守期間経過後に CSP を付ける場合は、保守期間が終了する 3 ヶ月前から保守終了日までにご購入ください。

サービス提供可能期間

CSP のサービス提供可能期間は延長期間を含め、対象製品お買い上げより最大 5 年間です。

CSP の登録期間

CSP のご購入後お早めにご登録ください。

CSP の登録申請後に発送する ID シールに障害発生時の電話連絡先を記載しています。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CSP の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG)

423Y-058

キヤノン・ケア・ギャランティ (以下 CCG) は、無償保証期間後にいつでも締結可能 (*1) な年間契約型の保守サービス制度で、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代 (*2) が含まれています。

*1 ご契約を申し込まれる機器が正常に稼働していない場合は、ご契約できません。

*2 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

キヤノン保守契約制度のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CCG の料金に含まれているため、部品代 (*2) やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。(CCG は、故障が発生した際に修理・調整を行うサービスです)

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、製品の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：保守内容のカスタマイズ

保守料金の支払い方法 (一括払い/月払い) や契約の自動更新、点検作業の追加など、お客様のご要望に合わせて契約内容をカスタマイズすることが可能です。(*3)

安心 4：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。(*3)

*3 条件によっては契約をお受けできない場合があります。



- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
Canon.jp/ccg

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CCG の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品 (キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等) の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2.前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

消耗品

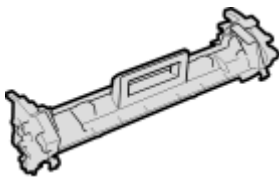
423Y-059

本機の消耗品やその交換目安について説明します。消耗品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。消耗品のお取り扱いおよび保管に際しては、注意事項をお守りください。最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



- 消耗品のお取り扱いおよび保管に関しては、本製品に同梱されている「はじめにお読みください」の注意事項をお守りください。
- 本機の設置環境や印刷する用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

■ トナーカートリッジ



付属のトナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数*と質量は、次のとおりです。

- 平均印字可能枚数*
1,000 枚
- 質量
平均 0.3 Kg

交換用のトナーカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正トナーカートリッジ	トナーカートリッジの平均印字可能枚数と質量
Canon Toner Cartridge 051 (キヤノントナーカートリッジ 051)	<ul style="list-style-type: none"> ● 平均印字可能枚数* 1,700 枚 ● 質量 平均 0.3 Kg
Canon Toner Cartridge 051 H (キヤノントナーカートリッジ 051H)	<ul style="list-style-type: none"> ● 平均印字可能枚数* 4,100 枚 ● 質量 平均 0.4 Kg

*国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19752）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。



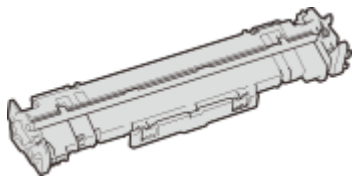
トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

- トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
global.canon/ctc



- トナーカートリッジを交換するとき **トナーカートリッジを交換する(P. 243)**

■ドラムカートリッジ



付属のドラムカートリッジ

付属のドラムカートリッジの平均印字可能枚数と質量は、次のとおりです。

- 平均印字可能枚数*
23,000 枚
- 質量
平均 0.2 Kg

交換用のドラムカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正ドラムカートリッジ	ドラムカートリッジの平均印字可能枚数と質量
Canon Drum Cartridge 051 (キヤノンドラムカートリッジ 051)	<ul style="list-style-type: none"> 平均印字可能枚数* 23,000 枚 質量 平均 0.2 Kg

*平均印字可能枚数は、弊社評価基準において、A4 普通紙を 2 枚ずつ間隔をあけて（2 枚間欠）印刷した場合です。



ドラムカートリッジの偽造品に関するご注意

- ドラムカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

global.canon/ctc



- ドラムカートリッジを交換するとき ▶ **ドラムカートリッジを交換する(P. 247)**

困ったときは

困ったときは	267
よくあるトラブル	269
設置／設定のトラブル	270
印刷（プリント）のトラブル	274
正しく印刷できない	277
きれいに印刷できない	279
用紙がしわになったり、カールしたりする	288
用紙が正しく送られない	290
メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される	291
メッセージごとの対処方法	292
エラーコードごとの対処方法	302
紙が詰まったら	303
本体内部に用紙が詰まった	304
トラブルが解決しないときは	308

困ったときは

423Y-05A

トラブルが発生した場合は、お問い合わせいただく前に、まず本章で対処方法を確認してください。

■よくあるトラブル

本機の動作がおかしいときや、故障かな？と思ったときなどの対処方法について説明します。▶よくあるトラブル(P. 269)



■正しく印刷できない

きれいに印刷できないときや、用紙にしわやカールが発生したときの対処方法について説明します。▶正しく印刷できない(P. 277)



■メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される

ディスプレイにメッセージやエラーコード（3桁の数字）が表示された場合の対処方法について説明します。▶メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される(P. 291)



■紙が詰まったら

用紙が詰まったときの対処方法について説明します。▶紙が詰まったら(P. 303)



■トラブルが解決しないときは

トラブルが解決しないときのお問い合わせ先についてご紹介しています。▶トラブルが解決しないときは(P. 308)

困ったときは



よくあるトラブル

423Y-05C

本機をご使用中にトラブルが発生した場合、お問い合わせの前にこの項目をチェックしてください。それでもなお、トラブルが解消されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

次の項目をチェックしてください

➔電源は入っていますか？／電源コードは接続されていますか？

- 電源が入っていても本機に反応がない場合、一度電源を切り、電源コードが正しく接続されているか確認して、再度電源を入れてください。電源コードの接続については、「はじめにお読みください」を参照してください。▶**マニュアルの種類と内容(P. 330)**

➔LAN ケーブル、USB ケーブルは正しく接続されていますか？

- 正しく接続されているか確認してください。
▶**本体背面(P. 80)**

➔スリープモードになっていませんか？

- 一定時間何も操作をしないと、省エネのために自動的に節電状態（スリープモード）になり、操作ができなくなります。スリープモードを解除するには電源スイッチ以外のキーを押してください。

➔ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？

- トラブルが発生するとメッセージが表示されます。▶**メッセージごとの対処方法(P. 292)**

チェックしても解決しないときは

トラブルの状況に合った項目を選んでください。

- ▶**設置／設定のトラブル(P. 270)**
- ▶**印刷（プリント）のトラブル(P. 274)**

設置／設定のトラブル

423Y-05E

あわせて **よくあるトラブル(P. 269)** をご覧ください。

- 無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル(P. 270)
- USB 接続のトラブル(P. 273)
- プリントサーバー経由のトラブル(P. 273)

無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル

無線 LAN と有線 LAN を同時に接続できない。

- 無線 LAN と有線 LAN を同時に接続することはできません。USB と無線 LAN、USB と有線 LAN はそれぞれ同時にお使いいただけます。

リモート UI が表示されない。

- < HTTP を使用 > や < リモート UI を使用 > の設定が < ON > になっていますか？
 - HTTP 通信を無効にする(P. 182)
 - リモート UI を無効にする(P. 183)
- 無線 LAN で接続している場合、ホーム画面に Wi-Fi アイコンが表示されていて、IP アドレスが正しく設定されているかを確認してからリモート UI を起動しなおしてください。
 - ホーム画面(P. 89)
 - ネットワークの設定を確認する(P. 46)
- 有線 LAN で接続している場合、ケーブルが正しく接続され、IP アドレスが正しく設定されているかを確認してからリモート UI を起動しなおしてください。
 - 有線 LAN に接続する(P. 25)
 - ネットワークの設定を確認する(P. 46)
- プロキシサーバーをお使いではありませんか？その場合は、ウェブブラウザのプロキシサーバーの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本機の IP アドレスを追加してください。
- ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったためにリモート UI が表示されなくなったときは、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター >、< IPv6 アドレスフィルター >、または < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。
 - ファイアウォールで通信制限する(P. 157)
 - < IPv4 アドレスフィルター > (P. 232)
 - < IPv6 アドレスフィルター > (P. 232)
 - < MAC アドレスフィルター > (P. 233)

ネットワークにつながらない。

- IP アドレスの設定に失敗している可能性があります。再度 IP アドレスを設定しなおしてください。 **IP アドレスを設定する(P. 39)**
- 無線 LAN で接続する場合は、本機がネットワークに接続できる状態か、確認してください。 **無線 LAN に接続できないときは(P. 271)**

設定された IP アドレスがわからない。▶ネットワークの設定を確認する(P. 46)

有線 LAN から無線 LAN へ、無線 LAN から有線 LAN への変更ができない。

- 有線 LAN、無線 LAN を変更するときには本機の操作パネルからも切り替え操作を行いましたか？これを行わないと本機は接続方法を変更できません。▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 24)

接続したい無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーがわからない。

- 無線 LAN ルーター本体または箱に記載がないか確認してください。
- Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタントを使って、無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーを確認してください。▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)

アクセスポイント一覧に、接続したい無線 LAN ルーターの SSID が表示されない。

- メモした無線 LAN ルーターの SSID が間違っていないか確認してください。▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)
- 無線 LAN ルーターの SSID が公開されていない（ステルス機能*を使用している）場合は、無線 LAN ルーターで SSID が公開されるように設定してください。

*無線 LAN ルーターの SSID を他の機器が自動検出できないようにする機能です。

- 本機がネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶無線 LAN に接続できないときは(P. 271)

意図しない接続先に自動的にダイヤルアップする（ネットワークにダイヤルアップルーターが接続されている場合）。

- ダイヤルアップルーターでブロードキャストを通す必要がない場合は、ダイヤルアップルーターの設定はブロードキャストを通さない設定にしてください。ダイヤルアップルーターでブロードキャストを通す必要がある場合は、設定が正しいかどうか確認してください。
- DNS サーバーが外部のネットワークにある場合は、本機が接続されているネットワーク上の機器に接続する場合でも、接続先はホスト名ではなく、IP アドレスを使用して設定してください。
- 本機が接続されているネットワーク上に DNS サーバーがあり、DNS サーバーに外部のネットワークに接続されている機器の情報が登録されている場合は、その設定が正しいかどうか確認してください。

無線 LAN に接続できないときは



1 パソコンの状態を確認する

- パソコンと無線 LAN ルーターの設定は完了していますか？
- 無線 LAN ルーターのケーブル類（電源ケーブルや LAN ケーブルなど）が抜けていませんか？
- 無線 LAN ルーターの電源が入っていますか？

上記を確認しても解決しない場合：

- 各機器の電源をいったん切り、再度入れなおしてください。
- 少し時間をおいて、再度ネットワークに接続できるか確認してください。





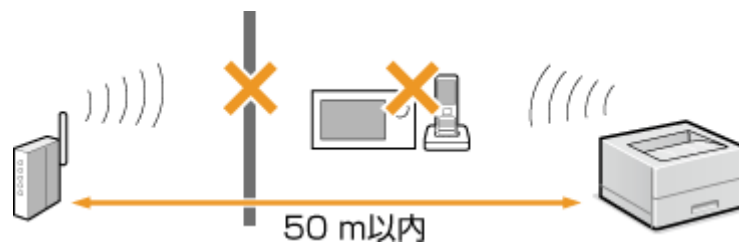
本機の電源が入っているか確認する

- 電源が入っているときは、いったん切ってから、再度入れなおしてください。



本機と無線 LAN ルーターの設置場所を確認する

- 本機と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていませんか？
- 本機と無線 LAN ルーターの間に壁などの障害物がありませんか？
- 近くに電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器がありませんか？



以下の設定をしない

- ▶ WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 28)
- ▶ WPS PIN コード方式で設定する(P. 30)
- ▶ 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)
- ▶ すべて入力して設定する(P. 35)



手動入力での設定が必要な場合

無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、手動入力で設定してください（▶すべて入力して設定する(P. 35)）。

- ANY 拒否*がオンになっている
- 自動生成した WEP キー（16 進数）が設定されている
- ステルス機能がオンになっている

*接続しようとしている機器が SSID を「ANY」または「空白」に設定している場合、無線 LAN ルーターが接続を拒否する機能です。

無線 LAN ルーター側の設定変更が必要な場合

無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、ルーター側の設定を変更してください。

- MAC アドレスフィルタリングが設定されている
- IEEE 802.11n のみで通信している状態で、WEP を選択しているか、WPA/WPA2 の暗号化方式を TKIP に設定している

USB 接続のトラブル

通信できない。

- USB ケーブルを交換してください。USB ケーブルが長い場合は短いものに変更してください。
- USB ハブを使用しているときは、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続するようにしてください。

プリントサーバー経由のトラブル

接続するプリントサーバーが見つからない。

- プリントサーバーとパソコンが正しく接続されていますか？
- プリントサーバーは起動されていますか？
- プリントサーバーに接続する権限はありますか？不明な場合は、サーバーの管理者にお問い合わせください。
- [ネットワーク探索] は有効になっていますか？ ▶ **[ネットワーク探索] を有効にする(P. 337)**

共有プリンターに接続できない。

- ネットワーク上でプリントサーバー内のプリンターは表示されますか？表示されない場合は、ネットワークやサーバーの管理者にお問い合わせください。 ▶ **プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 338)**

印刷（プリント）のトラブル

423Y-05F

あわせて **よくあるトラブル(P. 269)** をご覧ください。

きれいに印刷できない。または用紙にしわやカールが発生する。 **正しく印刷できない (P. 277)**

印刷できない。

- Windows のテストページは印刷できますか？印刷できるときは、本機やプリンタードライバーに問題はありません。アプリケーションの印刷設定を確認してください。 **Windows のテストページの印刷方法(P. 339)**

テストページが印刷されないときは、お使いの環境に応じた項目をチェックしてください。

■ 無線 LAN 接続の場合

- 無線 LAN の接続状態（電波強度）を確認してください。 **ネットワークの設定を確認する(P. 46)**



- 接続状態が悪いときは、次のことを試してください。
 - 無線 LAN ルーターのチャンネルを変更してください。複数の無線 LAN ルーターがある場合は、チャンネルの間隔を 5 チャンネル以上離してください。
 - 無線 LAN ルーターの電波出力を変更できる場合は、出力を上げてください。
- パソコンが無線 LAN 接続の場合に、本機とパソコンが接続している無線 LAN ルーターの SSID は同じですか？異なるときは本機の無線 LAN 接続の設定をやりなおしてください。
 - ネットワークの設定を確認する(P. 46)**
 - パソコンが接続している SSID を確認する(P. 343)**
 - 無線 LAN に接続する(P. 26)**



無線 LAN 接続の設定をやりなおすとき

- 接続する無線 LAN ルーターはパソコンが接続している SSID と同じものを選んでください。
 - 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときは、ポートを作成してください。
 - プリンターポートの確認方法(P. 341)**
 - 印刷ポートの設定をする(P. 51)**
 - ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったために本機にアクセスできなくなったときは、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター >、 < IPv6 アドレスフィルター >、または < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。
 - ファイアウォールで通信制限する(P. 157)**
 - < IPv4 アドレスフィルター > (P. 232)**
 - < IPv6 アドレスフィルター > (P. 232)**
 - < MAC アドレスフィルター > (P. 233)**
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- プリンタードライバーをインストールしなおしてください。 **ドライバーをインストールする(P. 73)**

- ネットワーク上の他のパソコンから印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ 有線 LAN 接続の場合

- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときは、ポートを作成してください。
 - ▶ **プリンターポートの確認方法(P. 341)**
 - ▶ **印刷ポートの設定をする(P. 51)**
- ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったために本機にアクセスできなくなったときは、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター >、 < IPv6 アドレスフィルター >、または < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。
 - ▶ **ファイアウォールで通信制限する(P. 157)**
 - ▶ **< IPv4 アドレスフィルター > (P. 232)**
 - ▶ **< IPv6 アドレスフィルター > (P. 232)**
 - ▶ **< MAC アドレスフィルター > (P. 233)**
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- プリンタードライバーをインストールしなおしてください。▶ **ドライバーをインストールする(P. 73)**
- ネットワーク上の他のパソコンから印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ USB 接続の場合

- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときやわからないときは、プリンタードライバーをインストールしなおしてください。インストールしなおすと自動的に正しいポートが作成されます。
 - ▶ **プリンターポートの確認方法(P. 341)**
 - ▶ **ドライバーをインストールする(P. 73)**
- 双方向通信は有効になっていますか？双方向通信を有効にしたときは、パソコンと本機を再起動してください。
 - ▶ **双方向通信の確認方法(P. 342)**
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- パソコンの他の USB ポートに接続してください。
- 他のパソコンに USB 接続して印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ プリントサーバー経由の場合

- プリントサーバーから印刷できますか？プリントサーバーから印刷できるときは、プリントサーバーとお使いのパソコンの接続を確認してください。▶ **プリントサーバー経由のトラブル(P. 273)**
 - セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
 - プリンタードライバーをインストールしなおしてください。▶ **ドライバーをインストールする(P. 73)**
 - 他のパソコンからプリントサーバーを介して印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。
-
- エラーが起きていませんか？ジョブ履歴を確認してください。▶ **印刷状況や履歴を確認する(P. 126)**

印刷が遅く感じる。*

- メモリー内に蓄積されているデータを印刷または削除してください。

* メモリー残量が少なくなると動作が遅くなることがあります。ただし、これはパソコンなどでも起こる現象で異常ではありません。

Google Cloud Print で印刷できない。▶Google Cloud Print を使う(P. 144)

印刷を開始するまでに時間がかかる。

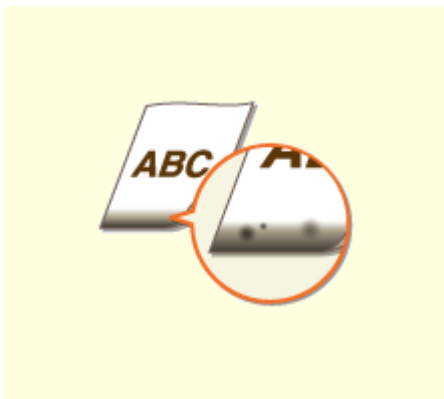
- 幅の狭い用紙を印刷しませんでしたか？幅の狭い用紙を印刷したあとは、印刷品質を保つために本体の冷却を行うことがあります、その場合は次の印刷を開始するまでに時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。冷却が終わると、印刷が再開されます。

正しく印刷できない

423Y-05H

きれいに印刷できないとき、または用紙にしわやカールが発生したときは、こちらの対処方法をお試しください。それでもなお、改善されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■画質に問題がある ▶きれいに印刷できない(P. 279)



▶用紙の端が汚れる(P. 279)



▶にじんだような汚れが付く(P. 279)



▶印刷しない部分に残像が現れる(P. 280)



▶トナーが飛び散ったような汚れが付く(P. 280)



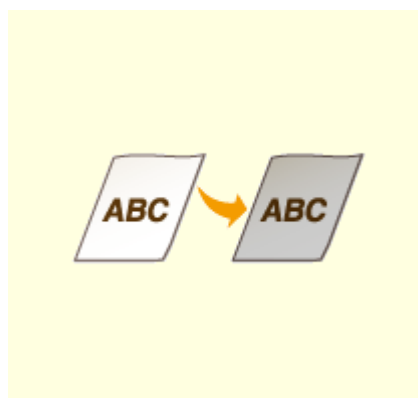
▶印刷がかすれる(P. 281)



▶ページの一部が印刷されない(P. 282)



▶すじ(線)が入る／印字ムラが出る(P. 283)



▶印字が全体的に黒ずむ(P. 284)



▶部分的に白く抜ける(P. 285)



▶点状の汚れが付く(P. 286)



▶用紙のウラが汚れる(P. 286)



▶プリントしたバーコードが読み取れない(P. 287)

■出力紙に問題がある ▶用紙がしわになったり、カールしたりする(P. 288)



▶しわになる(P. 288)



▶カールする(P. 288)

■給紙がおかしい ▶用紙が正しく送られない(P. 290)



▶斜めに印刷される(P. 290)



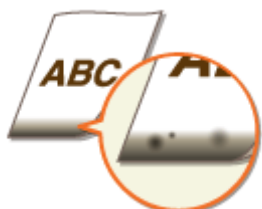
▶用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる(P. 290)

きれいに印刷できない

423Y-05J

本体内部の汚れが印刷結果に影響する場合があります。まず、本体のお手入れを行ってください。▶**日常のお手入れ(P. 240)**

用紙の端が汚れる



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
 - ▶用紙について(P. 321)
 - ▶用紙をセットする(P. 96)
 - ▶用紙サイズと種類を設定する(P. 111)

→ 余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷していませんか？

- プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この現象が起こることがあります。本機で印刷できる範囲は、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 10 mm）を除いた部分です。印刷する文書の周囲に余白を確保してください。
[仕上げ] タブ ▶ [処理オプション] ▶ [印字領域を広げて印刷] ▶ [しない]

にじんだような汚れが付く



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶用紙について(P. 321)
 - ▶用紙をセットする(P. 96)
- 適切な用紙を使用しても改善されない場合は、＜特殊印字モード A＞に設定を変更すると改善されることがあります。＜モード 1＞よりも＜モード 2＞の方が印刷品質を向上させることができます。▶**＜特殊処理＞(P. 226)**

印刷しない部分に残像が現れる



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶ **用紙について(P. 321)**
 - ▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶ **トナーカートリッジを交換する(P. 243)**

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶ **ドラムカートリッジを交換する(P. 247)**

トナーが飛び散ったような汚れが付く



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶ **用紙について(P. 321)**
 - ▶ **用紙をセットする(P. 96)**
- <特殊印字モード U>を< ON >に設定すると改善されることがあります。▶ **<特殊処理>(P. 226)**

→ 紙粉や粉塵の多い用紙を使用していませんか？

- 用紙に紙粉や粉塵が多く含まれていると、印刷時に汚れが付くことがあります。＜特殊印字モード L＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶＜特殊処理＞(P. 226)

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

印刷がかすれる



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
 - ▶用紙について(P. 321)
 - ▶用紙をセットする(P. 96)
 - ▶用紙サイズと種類を設定する(P. 111)

→ 紙粉の多い用紙を使用していませんか？

- 紙粉の多い用紙を使用すると、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。＜特殊印字モード G＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶＜特殊処理＞(P. 226)

→ 表面の粗い用紙を使用していますか？

- 表面の粗い用紙を使用すると、画像がかすれることがあります。＜特殊印字モード Q＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶＜特殊処理＞(P. 226)



- ＜ON＞に設定すると、画質が変わることがあります。

→ 湿度が高い環境で使用していませんか？

- <特殊印字モード T>を<ON>に設定すると改善されることがあります。▶<特殊処理>(P. 226)



- <ON>に設定すると、低湿度環境で使用しているときに画像や文字がにじむことがあります。

→ すでに印刷された用紙のウラ面に印刷しましたか？

- すでに印刷された用紙のウラ面に印刷すると薄くなる場合があります。<特殊印字モード R>を<ON>に設定すると改善されることがあります。▶<特殊処理>(P. 226)



- <ON>に設定したときは、オモテ面を印刷してから一定時間が経過したときや湿度環境によっては、画質が変わったり、紙づまりが発生したりする場合があります。

→ 適切な環境で使用していますか？

- 適切な場所へ設置しなおしてください。
 - ▶設置について(P. 3)
 - ▶本機を移動する(P. 252)

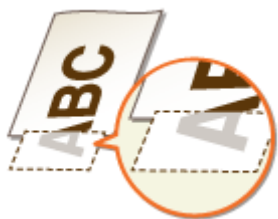
→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、使用環境やドラムカートリッジの内部の劣化により、寿命がくることがあります。▶ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

ページの一部が印刷されない



→ 余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷していませんか？

- プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この現象が起こることがあります。本機で印刷できる範囲は、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 10 mm）を除いた部分です。印刷する文書の周囲に余白を確保してください。
[仕上げ] タブ ▶ [処理オプション] ▶ [印字領域を広げて印刷] ▶ [しない]

→ 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、文書の一部が欠けて印刷されることがあります。
▶ **用紙をセットする(P. 96)**

すじ（線）が入る／印字ムラが出る



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
▶ **用紙について(P. 321)**
▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ 定着器のクリーニングはしていますか？

- 定着器をクリーニングしてください。
▶ **定着器を清掃する(P. 242)**

→ 表面の粗い用紙を使用していますか？

- 表面の粗い用紙を使用すると、画像がかすれることがあります。＜特殊印字モード Q＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶ **＜特殊処理＞(P. 226)**



- ＜ON＞に設定すると、画質が変わることがあります。

→ 湿度が高い環境で使用していませんか？

- ＜特殊印字モード T＞の設定を変更してください。＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶ **＜特殊処理＞(P. 226)**



- ＜ON＞に設定すると、低湿度環境で使用しているときに画像や文字がにじむことがあります。

→ 紙粉の多い用紙を使用していませんか？

- 紙粉の多い用紙を使用すると、画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。＜特殊印字モード G＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶＜特殊処理＞(P. 226)

→ はがきに印刷するとき印刷がかすれたり印字ムラが出ますか？

- ＜はがき定着改善モード＞の設定を変更してください。＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶＜はがき定着改善モード＞(P. 229)



- ＜ON＞に設定すると、用紙がカールすることがあります。

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

印字が全体的に黒ずむ



→ 印刷したはがきが全体的に黒ずみますか？

- ＜はがき下地補正＞の設定を変更してください。設定すると改善されることがあります。▶＜はがき下地補正＞(P. 229)



- 設定を有効にすると、線が細くなったり、印刷しない部分に残像が現れたりすることがあります。また、印刷濃度が薄くなる場合があります。

→ 特定の用紙を使用していませんか？

- お使いの用紙によっては、印刷面が黒ずむことがあります。用紙を確認して、別の用紙に変更してください。▶ **用紙について(P. 321)**
- <特殊印字モード U>または<特殊印字モード G>を<ON>に設定すると、改善されることがあります。▶ **<特殊処理>(P. 226)**



- 設定を有効にしても改善の効果が得られないことがあります。

→ 適切な環境で使用していますか？

- 適切な場所へ設置しなおしてください。
 - ▶ **設置について(P. 3)**
 - ▶ **本機を移動する(P. 252)**
- トナーカートリッジを適切な場所に保管し、2～3時間してから再度、印刷してみてください。不具合が改善される場合があります。それでも改善されない場合は、トナーカートリッジを交換してください。▶ **トナーカートリッジを交換する(P. 243)**
- オプションの環境ヒーターを装着すると、改善されることがあります。
 - ▶ **オプション機器について(P. 329)**

→ ドラムカートリッジを直射日光が当たる場所に長時間置いていませんか？

- ドラムカートリッジを適切な場所に保管し、2～3時間してから再度、印刷してみてください。不具合が改善される場合があります。それでも改善されない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。▶ **ドラムカートリッジを交換する(P. 247)**

部分的に白く抜ける



→ 湿った用紙を使用していませんか？

- 適切な用紙に交換してください。
 - ▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 - ▶ **用紙について(P. 321)**
 - ▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ トナーカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やトナーカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

→ ドラムカートリッジ残量が少なくなっていますか？

- ドラムカートリッジの残量を確認して、必要に応じてドラムカートリッジを交換してください。
- ドラムカートリッジの残量にかかわらず、本機の使用環境やドラムカートリッジ内部の劣化により寿命に達している場合があります。▶ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

点状の汚れが付く



→ 定着器のクリーニングはしていますか？

- 定着器をクリーニングしてください。▶定着器を清掃する(P. 242)

用紙のウラが汚れる



→ 印刷データのサイズよりも小さい紙をセットしていませんか？

- 印刷データのサイズとセットしている用紙サイズが合っているか確認してください。

→ 定着器のクリーニングはしていますか？

- 定着器をクリーニングしてください。▶定着器を清掃する(P. 242)

➔ 両面印刷したときに汚れが付きますか？

- 両面印刷時に、用紙のウラ面が汚れてしまうことがあります。＜特殊印字モード R＞を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。▶＜特殊処理＞(P. 226)



- ＜ON＞に設定すると画質が変わる場合があります。また、印刷して一定時間経過していたり、周囲の湿度によっては用紙がつまったりする場合があります。

プリントしたバーコードが読み取れない



➔ 小さなバーコードや、線の太いバーコードを使っていませんか？

- バーコードを大きくしてください。
- ＜線幅選択＞の設定を変更すると改善されることがあります。▶＜特殊処理＞(P. 226)

用紙がしわになったり、カールしたりする

423Y-05K

しわになる



→ 用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を斜めにセットしたり、積載制限ガイドを超えてセットしたりするとしわになることがあります。
 ▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ 湿った用紙を使用していませんか？

- 適切な用紙に交換してください。
 ▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
 ▶ **用紙について(P. 321)**
 ▶ **用紙をセットする(P. 96)**

カールする



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
 ▶ **用紙について(P. 321)**
 ▶ **用紙をセットする(P. 96)**
 ▶ **用紙サイズと種類を設定する(P. 111)**
- <用紙種類>をより薄い用紙の設定に変更してください。たとえば<普通紙 (71~89 g/m²)>に設定していた場合は、<普通紙 L (61~70 g/m²)>または<普通紙 L2 (60 g/m²)>に設定を変更してください。

▶用紙サイズと種類を設定する(P. 111)

▶用紙について(P. 321)

- 文書を印刷する面（用紙のオモテとウラ）を逆にして、用紙をセットしなおしてください。



- お使いの用紙によっては、まれに症状が悪化することがあります。そのような場合は元の印刷面に戻してください。

→ 湿った用紙を使用していませんか？

- 適切な用紙に交換してください。

▶用紙をセットする(P. 96)

用紙が正しく送られない

423Y-05L

斜めに印刷される



→ 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、斜めに印刷されます。▶ **用紙をセットする(P. 96)**

→ カールしたはがきまたは封筒に印刷していませんか？

- カールを取ってから印刷してください。▶ **封筒・はがきをセットする(P. 104)**

用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる



→ 用紙を適切にセットしていますか？

- 用紙をよくさばき、紙が貼り付かないようにしてください。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。▶ **用紙をセットする(P. 96)**
- セットした用紙の枚数や、使用している用紙が適切か確認してください。
 - ▶ **用紙について(P. 321)**
 - ▶ **用紙をセットする(P. 96)**
- 異なるサイズや異なる種類の用紙をいっしょにセットしていないか確認してください。
- 用紙の厚さによっては正しく給紙されない場合があります。その場合は、用紙の向きを逆にするか、用紙を裏返しにしてください。

メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される

423Y-05R

本機のディスプレイにメッセージが表示されたり、「#」で始まる番号（エラーコード）が表示されたりしたときは、次の参照先から対処方法を確認してください。

- ▶メッセージごとの対処方法(P. 292)
- ▶エラーコードごとの対処方法(P. 302)

メッセージごとの対処方法

423Y-05S

印刷処理で異常が発生したときや、本機と通信ができないときなど、操作に支障が生じた場合は画面にメッセージが表示されます。メッセージの詳細については以下をご覧ください。

- ▶英数字(P. 292)
- ▶あ〜お(P. 293)
- ▶か〜こ(P. 293)
- ▶さ〜そ(P. 295)
- ▶た〜と(P. 295)
- ▶な〜の(P. 298)
- ▶は〜ほ(P. 299)
- ▶ま〜も(P. 299)
- ▶や〜よ(P. 300)
- ▶ら〜ろ(P. 300)

英数字

Google クラウド プリント使用不可。サーバ-通信エラー発生

何らかのエラーが発生し、クラウドプリントができない。

- 無線 LAN または有線 LAN に正しく接続されているか確認してください。
 - ▶無線 LAN に接続する(P. 26)
 - ▶有線 LAN に接続する(P. 25)
- クラウドプリントで使用しているポートがファイアウォールなどでブロックされている可能性があります。お使いのパソコンで 5222 ポートが使用可能な状態か確認してください。
- ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、プロキシサーバーと本機のプロキシ設定が正しいか確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。▶プロキシを設定する(P. 164)

Google クラウド プリント使用不可。サーバ-認証失敗。

クラウドプリントのサーバ認証ができなかった。または登録情報の取得に失敗した。

- 本機の日付/時刻の設定が正しいか確認してください。▶<日付/時刻の設定>(P. 218)

WEP キーが正しく設定されていません。WEP 設定を確認して下さい

接続したい無線 LAN ルーターのネットワークキー (WEP キー) が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー (WEP キー) を確認し、設定しなおしてください。
 - ▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)
 - ▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)
 - ▶すべて入力して設定する(P. 35)

本機の認証方式が<共有キー>で設定されているのに、無線 LAN ルーター側は「オープン (Open System)」で設定されている。

- アクセスポイント選択方式で接続するか、手動入力方式で WEP の認証方式を<オープンシステム>に変更して接続しなおしてください。
 - ▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)

▶すべて入力して設定する(P. 35)

- 無線 LAN ルーターで WEP の認証方式を「共有 (Shared Key)」に変更したあと、接続しなおしてください。変更方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

WPS 接続できませんでした。

WPS で自動設定を試みましたが、何らかのエラーが発生して接続に失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターが WPS に対応しているか確認してください。また、他の接続方式 (AOSS/らくらく無線スタート) に対応している可能性もあります。

WPS に対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶**設置/設定のトラブル(P. 270)**

WPS に対応していない場合

他の接続方式で設定してください。▶**無線 LAN に接続する(P. 26)**

あ～お

アクセスポイントが見つかりません。

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定を試みましたが、所定の時間内に無線 LAN ルーターを検出できなかった。

- 制限時間に注意して接続しなおしてください。
 - ▶**WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 28)**
 - ▶**WPS PIN コード方式で設定する(P. 30)**

接続方式の選択を間違えた。

- 正しい方式を選択して接続しなおしてください。▶**WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式) (P. 28)**

無線 LAN ルーターの SSID の入力内容に間違いがある。

- SSID を正しく入力しなおしてください。
 - ▶**SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)**
 - ▶**すべて入力して設定する(P. 35)**

ネットワーク側の設定に問題があり、無線 LAN ルーターを検出できなかった。

- ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶**設置/設定のトラブル(P. 270)**
- 解決しない場合は、無線 LAN ルーターのセキュリティ設定を確認してください。

か～こ

カートリッジ通信エラー 他社トナーカートリッジ または偽造品がセットされている可能性があります。

トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジが故障している可能性がある。

- トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。▶**トナーカートリッジの交換手順(P. 244)**

カートリッジ 通信エラー 他社ドラムカートリッジ または偽造品がセットされている可能性があります。

ドラムカートリッジが正しくセットされていないか、ドラムカートリッジが故障している可能性がある。

- ドラムカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、ドラムカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。▶ **ドラムカートリッジの交換手順(P. 248)**

開始できませんでした。

PC でかんたん接続（ケーブルレスセットアップ）開始中にエラーが発生した。

- 戻るキーを押して前の画面に戻り、＜PC でかんたん接続＞を再度実行してください。
- ＜PC でかんたん接続＞を再度実行しても同じメッセージが表示される場合は、いったん本体の電源を切って再起動してください。

共有キー認証ができませんでした。WEP 設定を確認してください。

接続したい無線 LAN ルーターのネットワークキー（WEP キー）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー（WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。
▶ **SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)**
▶ **すべて入力して設定する(P. 35)**
- アクセスポイント選択方式で接続するか、手動入力方式で WEP の認証方式を＜オープンシステム＞に変更して接続しなおしてください。
▶ **無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)**
▶ **すべて入力して設定する(P. 35)**

本機の認証方式は＜共有キー＞に設定されているが、無線 LAN ルーターの認証方式が「オープン（Open System）」に設定されている。

- 無線 LAN ルーターで WEP の認証方式を「共有（Shared Key）」に変更したあと、接続しなおしてください。変更方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

クリーニングできませんでした。

クリーニング中に紙づまりが起きた。

- つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットし、もう一度クリーニングを実行してください。
▶ **紙がつまったら(P. 303)**
▶ **定着器を清掃する(P. 242)**

現在日時を設定できませんでした。

ネットワークで何らかのエラーが発生して通信にタイムアウトで失敗した。

- 本機の接続しているネットワークの環境を確認してください。
- ＜現在日時の設定＞で時刻を手動設定するか、[SNTP 設定] で [SNTP を使用する] のチェックボックスからチェックを外してください。
▶ **現在日時を設定する(P. 20)**
▶ **SNTP の設定をする(P. 71)**

さ～そ

主電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店または担当サービスにご連絡ください。

本体に何らかのエラーが発生している。

- 電源スイッチを切り、10 秒以上待ち、再度電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご連絡の際、表示された< Ennn-nnnn >をお知らせください。

接続できませんでした。

何らかのエラーが発生し、アクセスポイントモードでの接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、いったん電源を切って再起動してください。▶**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）（P. 132）**

接続できませんでした PSK 設定を確認してください。

接続したい無線 LAN ルーターのネットワークキー（PSK）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー（PSK）を確認し、設定しなおしてください。
 - ▶**SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)**
 - ▶**無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)**
 - ▶**すべて入力して設定する(P. 35)**
- ネットワークキーを確認しても解決しない場合は、ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶**設置／設定のトラブル(P. 270)**

た～と

タイムアウトにより PC でかんたん接続を終了しました。

パソコンに接続できないまま PC でかんたん接続（ケーブルレスセットアップ）の開始から 30 分経過した。

- 戻るキーを押して前の画面に戻り、< PC でかんたん接続 >を再度実行してください。

ダイレクト接続が切断されました。

モバイル機器との接続が切断された。

- ダイレクト接続しなおしてください。▶**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）（P. 132）**

ダイレクト接続が切断されました。ネットワーク接続を確認してください。

モバイル機器との接続が切断された。

- ダイレクト接続しなおしてください。▶**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）（P. 132）**

ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。別の無線機器を接続する場合は、現在接続中の機器を切断してください。

ダイレクト接続中のモバイル機器の数が最大に達した。

- 別のモバイル機器をダイレクト接続するには、現在接続中のモバイル機器を切断してから接続しなおしてください。▶ **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 132)**

ダイレクト接続を開始できません。

アクセスポイントモード開始中にエラーが発生した。

- 「192.168.22.xx」以外の IP アドレスに設定してください。それでも接続できない場合は、サブネットマスクの設定を確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。▶ **IPv4 アドレスを設定する (P. 40)**

ダイレクト接続を開始できません。ネットワーク接続を確認してください。

本機がアクセスポイントに接続していない状態で、アクセスポイントモードを開始した。

- 本機をアクセスポイントに接続したあと、アクセスポイントモードを開始してください。

他社トナーカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。▶ **消耗品(P. 263)**

他社ドラムカートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。

キヤノン純正ドラムカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジの使用をおすすめします。▶ **消耗品(P. 263)**

正しい認証情報を設定してください。

クライアント認証情報（鍵ペアと証明書、ユーザー名とパスワード、および CA 証明書）が正しく設定されていない。

- 設定した認証方式および認証情報（鍵ペアと証明書、ユーザー名とパスワード、および CA 証明書）を確認してください。▶ **IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)**

通信先から応答がありませんでした。

ネットワークケーブルが抜けているか、スイッチで問題が発生している可能性がある。

- ネットワークケーブルおよびスイッチの状況を確認してください。

トナーカートリッジが寿命になりました。

トナーカートリッジが寿命に達した。

- トナーカートリッジを交換してください。▶ **トナーカートリッジを交換する(P. 243)**

トナーカートリッジ 残量を正しく表示できません。

トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジが故障している可能性がある。

- トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。▶消耗品(P. 263)

トナーカートリッジ 寿命 トナーカートリッジ 交換を推奨

トナーカートリッジが寿命に達した。

- トナーカートリッジの交換をおすすめします。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

トナーカートリッジ 寿命 トナーカートリッジ を交換してください。

トナーカートリッジが寿命に達した。

- トナーカートリッジを交換してください。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

トナーカートリッジ の準備をおすすめします。

トナーカートリッジの交換時期が近づいた。

- 大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。▶消耗品(P. 263)

トナーカートリッジをセットしてください。

トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない。

- トナーカートリッジを正しくセットしてください。▶トナーカートリッジを交換する(P. 243)

ドラムカートリッジが寿命になりました。

ドラムカートリッジが寿命に達した。

- ドラムカートリッジを交換してください。▶ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

ドラムカートリッジ 残量を正しく表示できません。

ドラムカートリッジが正しくセットされていないか、ドラムカートリッジが故障している可能性がある。

- ドラムカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、ドラムカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。▶ドラムカートリッジを交換する(P. 247)

キヤノン純正ドラムカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジの使用をおすすめします。▶消耗品(P. 263)

ドラムカートリッジ 寿命 ドラムカートリッジ 交換を推奨

ドラムカートリッジが寿命に達した。

- ドラムカートリッジの交換をおすすめします。▶**ドラムカートリッジを交換する(P. 247)**

ドラムカートリッジ 寿命ドラムカートリッジ を交換してください。

ドラムカートリッジが寿命に達した。

- ドラムカートリッジを交換してください。▶**ドラムカートリッジを交換する(P. 247)**

ドラムカートリッジ の準備をおすすめします。

ドラムカートリッジの交換時期が近づいた。

- 大量にプリントするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします。▶**消耗品(P. 263)**

ドラムカートリッジをセットしてください。

ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない。

- ドラムカートリッジを正しくセットしてください。▶**ドラムカートリッジを交換する(P. 247)**

な～の

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。

無線 LAN ルーターのネットワークキー (WPA/WPA2-PSK または WEP キー) が正しく入力されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー (WPA/WPA2-PSK または WEP キー) を確認し、設定しなおしてください。ネットワークキーの確認方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
 - ▶**SSID やネットワークキーを確認する(P. 38)**
 - ▶**無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 32)**
 - ▶**すべて入力して設定する(P. 35)**

認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。

[IEEE 802.1X 設定] の設定内容に不備がある。

- [ログイン名] が正しく設定されているか確認してください。
- [TLS を使用する]、[TTLS を使用する]、[PEAP を使用する] の中の少なくとも 1 つにチェックマークが付いているか確認してください。
- TLS を使用する場合、鍵ペアが登録されているか確認してください。
- TTLS または PEAP を使用する場合、ユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。▶**IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)**

認証方式の設定を確認してください。

本機で設定した認証方式と RADIUS サーバーで設定した認証方式が一致していない。

- 本機と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致しているかを確認して、正しい認証方式を設定してください。▶**IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 176)**

は～ほ

ホストから応答がありませんでした。

本機がネットワークに正しく接続されていない。

- 本機とネットワークの設定を再度確認し、接続しなおしてください。▶ **ネットワーク環境を設定する(P. 22)**

本体の充電が切れたため、時刻が更新されませんでした。時刻の設定が正しくないと Google クラウドプリントを使用できません。

本体の充電が切れたため、正しい時刻設定を維持できなかった。

- 時刻を正しく設定しなおしてください。▶ **現在日時を設定する(P. 20)**

ま～も

無線 LAN 通信できませんでした。(無線 LAN 接続の場合)

無線 LAN 接続の設定中に何らかのエラーが発生した。

- いったん電源を切って再起動し、設定しなおしてください。
- 再起動しても解決しない場合は、ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶ **設置／設定のトラブル(P. 270)**
- 無線 LAN の接続を確認しても解決しない場合は、無線 LAN ルーターのセキュリティ設定を確認してください。

無線 LAN 通信できませんでした。(無線 LAN 通信の場合)

何らかのエラーが発生し、無線 LAN 通信が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、いったん電源を切って再起動してください。

無線機器からの接続を検知できませんでした

所定の時間内にモバイル機器を検出できなかった。

- 制限時間に注意して接続しなおしてください。▶ **ダイレクト接続する (アクセスポイントモード) (P. 132)**

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止しますプリントしますか?

メモリー容量が不足して原稿を読み込めなかった。

- 読み込まれたページまで印刷するか、読み込みを中止するかを選択してください。中止した場合は、原稿を分割して読み込みなおすか、読み込み設定を変更してください。

や～よ

用紙がつまりました。

紙がつまった。

- つまった用紙や原稿を取り除いて、もう一度印刷してください（印刷は、自動で再開される場合もあります）。
▶ **紙がつまったら(P. 303)**

用紙と設定サイズが不一致

操作パネルでの用紙サイズ設定と、実際にセットしている用紙サイズが合っていない。

- <用紙設定>に設定されている用紙サイズと、実際にセットされている用紙サイズを合わせてください。

すでにセットされている用紙を使う場合

<用紙設定>の設定内容を、セットされている用紙のサイズに合わせて変更してください。▶ **用紙サイズと種類を設定する(P. 111)**



- パソコンから印刷するときは、プリンタードライバーの用紙サイズが実際の用紙のサイズと合っているかどうかも確認してください。

設定を変えずに用紙をセットしなおす場合

<用紙設定>で設定されているサイズの用紙をセットしてください。▶ **用紙をセットする(P. 96)**

用紙なし: XXXXX*

* XXXXX には<カセット 1>または<手差し>が表示されます。

給紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。

- 用紙をセットしてください。▶ **用紙をセットする(P. 96)**

レポートやリストをプリントできる用紙がセットされていない。

- レポートやリストは、A4 またはレターサイズの用紙にプリントできます。A4 またはレターサイズの用紙をセットし、用紙サイズを設定してください。
▶ **用紙をセットする(P. 96)**
▶ **用紙サイズと種類を設定する(P. 111)**

ら～ろ

冷却中です。しばらくお待ちください。

定着器の温度が上昇している。

- 定着器の温度が下がるまでしばらくお待ちください。定着器の温度が下がると、メッセージの表示が消えます。

冷却中です。しばらくたってから、もう一度実行してください。

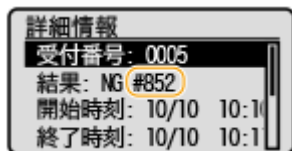
定着器の温度が上昇している。

- 定着器の温度が下がるまでしばらくお待ちください。定着器の温度が下がったあとに、再度操作してください。

エラーコードごとの対処方法

423Y-05U

印刷できなかったときなど、何らかのエラーが起これると、そのエラーが3桁の数字（エラーコード）として、ジョブ履歴の画面に表示されます。各エラーコードが表示された原因とその解決方法について、以下で確認してください。なお、ジョブ履歴の画面については、[▶<状況確認>画面\(P. 90\)](#)を参照してください。



852

使用中に何らかの原因で電源が切れた。

- 電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれているかどうか確認してください。

853

処理できるデータ量を超えたため印刷できなかった。

- 大量ページの文書を印刷しようとしたときなどに発生します。一度に印刷するページを減らすか、印刷待機中や印刷中の文書がないときに印刷してください。それでも印刷できない場合は、文書データに不具合がないか確認してください。

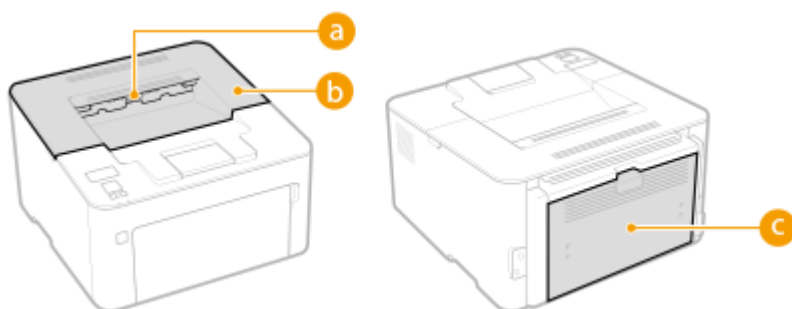
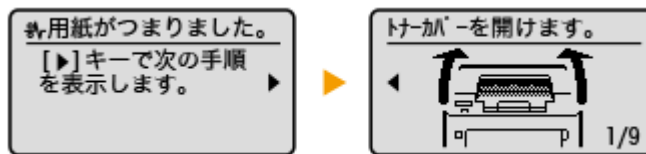
パソコン側から印刷を中止した。

- 印刷データがパソコンから本機に送信されているときに操作を中止すると、このエラーコードが表示されますが、異常ではありません。必要に応じてもう一度印刷してください。

紙が詰まったら

423Y-05W

紙が詰まると、画面に「用紙が詰まりました。」と表示され、▶を押すと簡易的な対処方法が表示されます。画面を見ても対処方法がわからないときは、以下の参照先を確認し、詰まった紙を取り除いてください。



a 排紙トレイ

▶ 本体内部に用紙が詰まった(P. 304)

b 本体内部

▶ 本体内部に用紙が詰まった(P. 304)

c 後ろカバー

▶ 本体内部に用紙が詰まった(P. 304)



作業するときは電源を切らない

- 電源を切ると、印刷中のデータが消去されます。

用紙が破れたとき

- 切れ端が残らないように、すべて取り除いてください。

紙づまりが繰り返し起こるとき

- 用紙を平らな場所でそろえてから本機にセットしてください。
- お使いの用紙が本機に適しているか確認してください。▶ **用紙について(P. 321)**
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。
- 表面が粗い用紙を使用するときは、<用紙種類>を<ポンド紙 1 (60~104 g/m²)>または<ポンド紙 2 (105~163 g/m²)>に設定してください。
 - ▶ **給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 112)**
 - ▶ **手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 113)**
 - ▶ **パソコンから印刷する(P. 122)**

つまった用紙を本体から無理に取り除かない

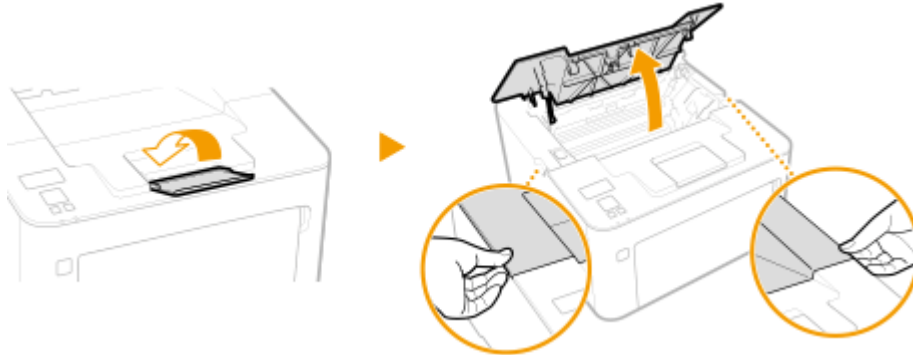
- 無理に取り除こうとすると、部品などを損傷する恐れがあります。どうしても取り除けない場合は、お近くのキャノン販売店または「キャノンお客様相談センター」にご連絡ください。▶ **トラブルが解決しないときは(P. 308)**

本体内部に用紙がつまった

423Y-05X

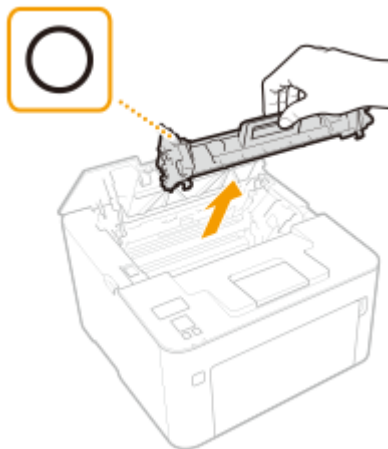
以下の手順に従って用紙を取り除いてください。つまっている用紙がかんたんに取り除けない場合は無理に引き抜こうとせず、メッセージに表示されている別の位置の手順を行ってください。

1 排紙ストッパーを閉じ、トナーカバーを開ける



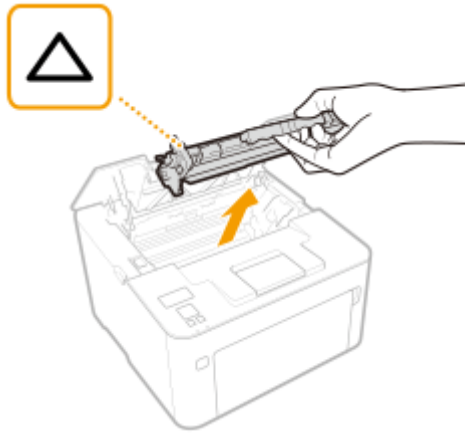
2 カートリッジを取り出す

1 トナーカートリッジを取り出す



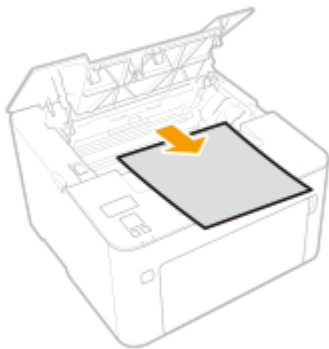
トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、トナーカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。トナーカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。トナーカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

2 ドラムカートリッジを取り出す



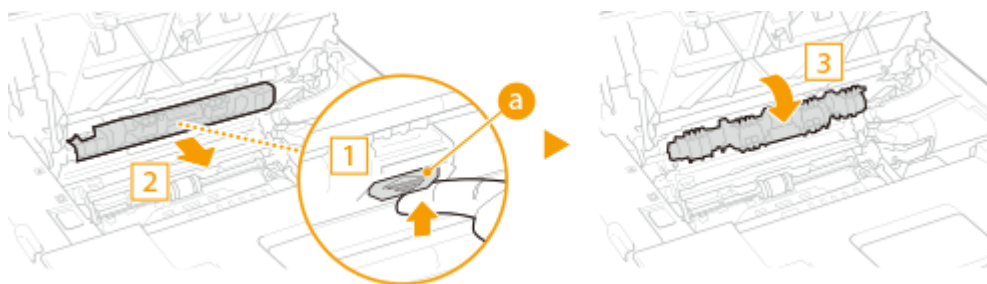
ドラムカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。また、ドラムカートリッジに何かを当てるなどの衝撃を与えないでください。ドラムカートリッジに残ったトナーが漏れることがあります。ドラムカートリッジをスロットと同じ角度でゆっくり取り出してください。

3 用紙をゆっくり引き抜く

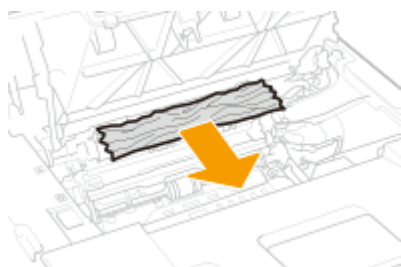


4 排紙ガイド内部に用紙が詰まっているか確認する

- 1 ボタン (a) を押しながら、排紙ガイドを手前に引き出す



- 2 用紙をゆっくり引き抜く

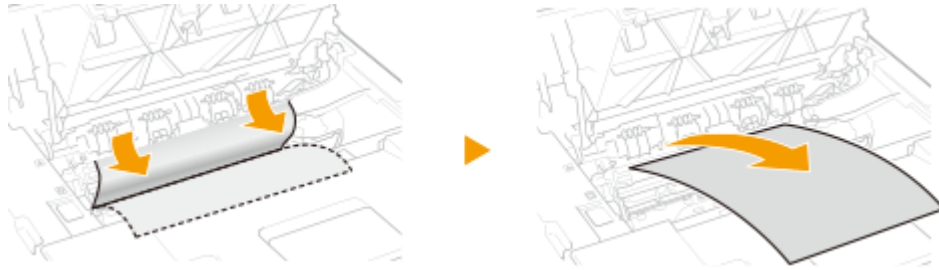


3 排紙ガイドを閉める

5 本体内部に用紙がつまっているか確認する

1 用紙をゆっくり引き抜く

- 用紙の両側を持ち、用紙の先端を下方方向に引き出し、上に引き抜きます。

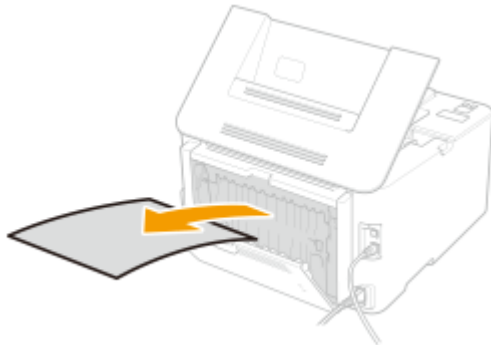


6 後ろカバー内部に用紙がつまっているか確認する

1 後ろカバーを開ける



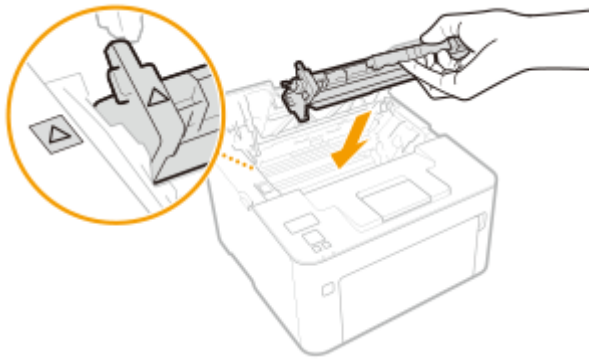
2 用紙をゆっくり引き抜く



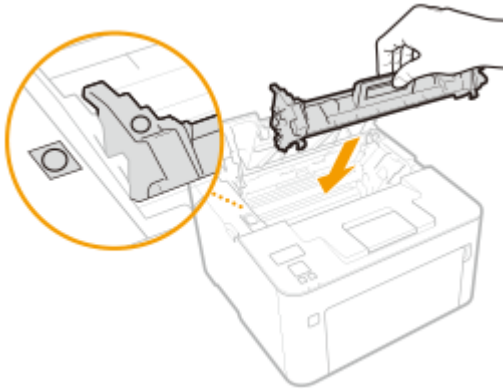
3 後ろカバーを閉める

7 カートリッジを取り付ける

1 ドラムカートリッジを取り付ける



2 トナーカートリッジを取り付ける



8 トナーカバーを閉める

⇒ 紙づまりのメッセージが消えて、印刷可能な状態になります。

トラブルが解決しないときは

423Y-05Y

トラブルが解決しないときは、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。



自力で分解修理しない

- ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

■ お問い合わせの際は

あらかじめ次の情報をお手元にご用意ください。

- 製品名 (LBP162/LBP162L/LBP161)
- 購入先の販売店
- トラブルの内容 (具体的な操作内容とその結果など)
- シリアルナンバー (本体背面のラベルに記載)



操作パネルでシリアルナンバーを確認する

- <状況確認> ▶ <デバイス情報> ▶ <シリアル No.>で確認することもできます。

付録

付録	310
第三者のソフトウェアについて	311
活用術	312
節約してエコロジー	313
効率アップの使いこなし術	314
まだあるこんな使い方	315
おもな仕様	317
本体	318
用紙について	321
プリント機能	324
管理機能	325
サポート環境	326
ネットワーク環境	327
オプション機器について	329
マニュアルの種類と内容	330
ユーザズガイドの使いかた	331
ユーザズガイドの画面構成	332
ユーザズガイドの読みかた	335
Windows の基本操作	337
メニュールートマップ	345
おことわり	346

付録

423Y-060

本機の仕様、ユーザーズガイドの使いかた、免責事項や著作権など、お客様に知っておいていただきたい情報を記載しています。必要に応じてお読みください。

■仕様を調べる

本体の仕様、ネットワーク環境、プリント機能などに関する仕様を調べたいときにご覧ください。



▶おもな仕様(P. 317)

■本機のマニュアルについて調べる

本機の機能や操作方法を調べるための各種マニュアルや、ユーザーズガイド（本マニュアル）の使いかたを調べたいときにご覧ください。



▶マニュアルの種類と内容(P. 330)

▶ユーザーズガイドの使いかた(P. 331)

■その他

役立つ情報、免責、著作権などを知りたいときにご覧ください。



▶第三者のソフトウェアについて(P. 311)

▶活用術(P. 312)

▶Windowsの基本操作(P. 337)

▶メニュールートマップ(P. 345)

▶おことわり(P. 346)

第三者のソフトウェアについて

423Y-061

第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



活用術

423Y-062

カテゴリー別に本機を活用するヒントをご紹介します。用途やシーンに合わせて、便利で役に立つ活用術をお試しください。

- ▶節約してエコロジー(P. 313)
- ▶効率アップの使いこなし術(P. 314)
- ▶まだあるこんな使い方(P. 315)

節約してエコロジー

423Y-063



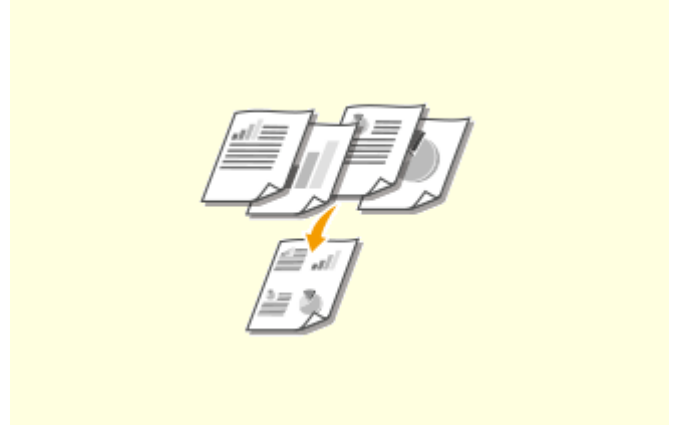
用紙やトナーの使用量を抑える、電力量を少なくする、などの節約法をご紹介します。



両面印刷で用紙枚数を半分に

パソコンから文書を印刷するときに両面機能が使えます。大量印刷はもちろん、数ページの少量印刷でも両面機能で積極的に用紙を節約してください。複数ページを1枚の用紙にまとめて印刷する集約印刷と組み合わせることも可能。最大32ページ分の文書が1枚にまとめられ大変エコロジーです。

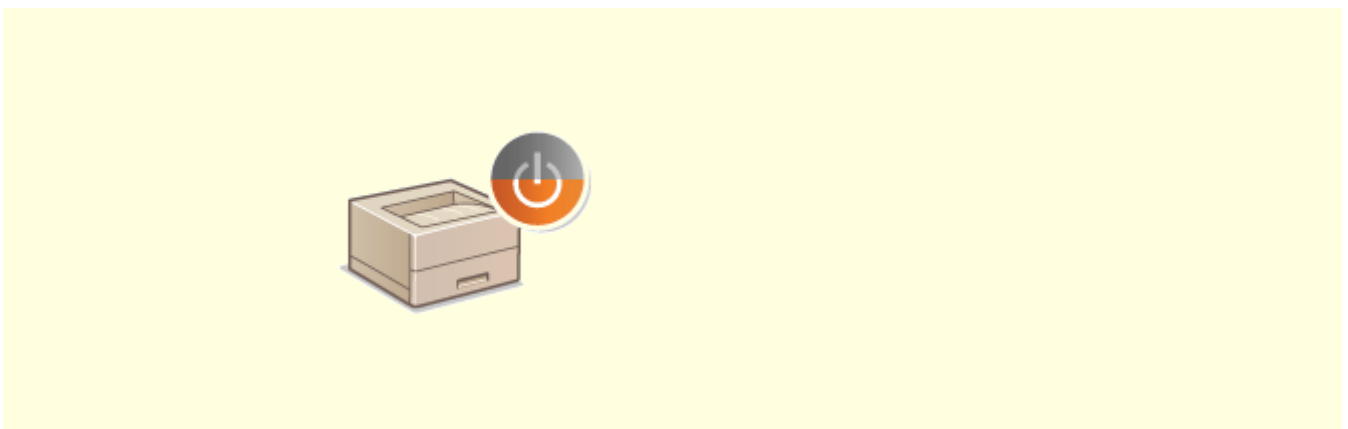
▶ [パソコンから印刷する\(P. 122\)](#)



複数原稿を用紙1枚にまとめて印刷

オフィスに積み重ねられたファイルの山。探すのにも一苦労です。そんなときにはこの機能を使ってスッキリさせましょう。1枚の用紙に複数の原稿をまとめて縮小印刷でき、資料のスリム化にはうってつけです。両面印刷とあわせて使えばさらに効果的! 「整理整頓」と「用紙節約」を同時に実現できます。

▶ [パソコンから印刷する\(P. 122\)](#)



節電モードでエコロジー

操作時以外は徹底して消費電力を抑える「スリープモード」。一定時間使わないでいると、電源を切ることなく最低限の電力消費に抑えこみます。必要なときはスピーディに立ち上がり、ストレスを感じさせません。見えないところでコストダウン&省エネのお手伝いをします。

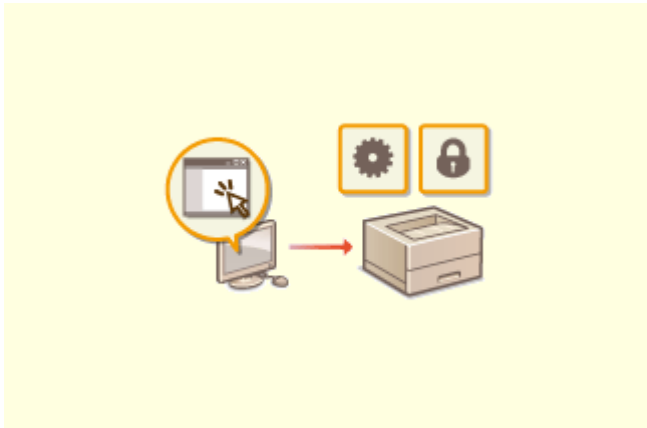
▶ [スリープモードにする\(P. 119\)](#)

効率アップの使いこなし術

423Y-064



複雑な操作をかたんに。本機が効率アップのお手伝いをします。



デスクにしながら本機を設定

デスクのパソコンから本機を遠隔管理できます。トナーの残量を確認できるだけでなく、項目が多い設定も広い画面でラクラクこなせます。手間を省いて、時間を節約しましょう。

▶ [パソコンから本機を管理する \(リモート UI\) \(P. 184\)](#)



直感的な操作ですばやく印刷設定

プリンタードライバーのプレビューイメージ上の直感的な操作で、ページレイアウト、とじ方向や片面・両面の切り替えなどが容易に設定できます。かんたんなクリック操作でイメージをつかみながら設定できるので便利です。

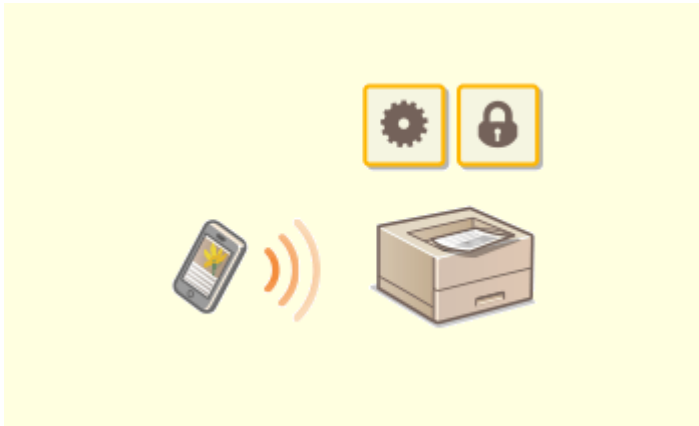
▶ [パソコンから印刷する \(P. 122\)](#)

まだあるこんな使い方

423Y-065



自宅、オフィス、外出先。さまざまなシーンで使える便利な機能がそろっています。



スマートフォン／タブレットを活用

タブレットを使って出張の移動時間に仕上げた企画書をすぐに印刷したい！そんなときは、Canon PRINT Business を使うと便利です。また、無線 LAN ルーターのない環境でもモバイル機器から無線で直接本機に接続することもできます。

PC レス、迅速、かんたん！スピード時代に相応しい機能が仕事や趣味をいっそう充実させます。

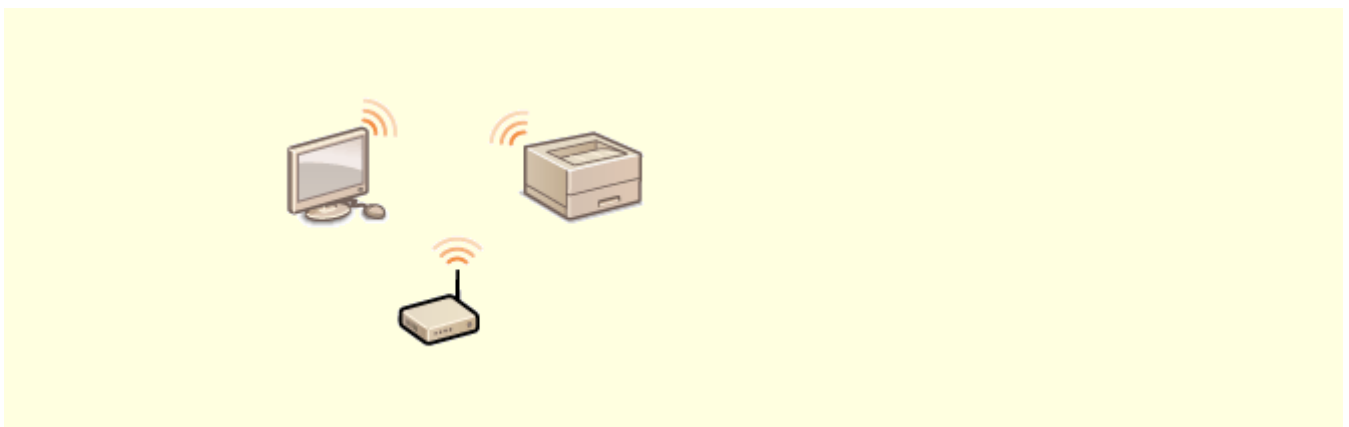
▶ **モバイル機器と連携する(P. 129)**



Google Cloud Print でどこでも手元から印刷

出張中、タブレットを使って車中で仕上げた企画書。取材の合間にスマートフォンで撮影した写真。Google Cloud Print を使えば、離れた場所からでもオフィスや自宅にある本機で印刷できます。

▶ **Google Cloud Print を使う(P. 144)**



無線 LAN でケーブルレス接続

ケーブルを使わず無線でパソコンと接続できるので、オフィスはスッキリ。狭いスペースはもちろんのこと、洗練された見映えの店舗でも設置場所に困りません。難しいような接続設定もボタン操作でかんたんに完了。初めての方でも心配ありません。

▶ **無線 LAN に接続する(P. 26)**

おもな仕様

423Y-066

本製品が改良されて仕様変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になったりすることがありますので、ご了承ください。本製品に関する情報は、キヤノンホームページ (<https://global.canon>) を参照してください。

■ 本体に関する仕様について

- ▶ 本体(P. 318)
- ▶ 用紙について(P. 321)

■ 機能に関する仕様について

- ▶ プrint機能(P. 324)
- ▶ 管理機能(P. 325)

■ お使いになる環境について

- ▶ サポート環境(P. 326)
- ▶ ネットワーク環境(P. 327)

本体

423Y-067



- 給紙箇所ごとの用紙サイズ・種類については「[用紙について\(P. 321\)](#)」を参照ください。

機種名	Canon Satera LBP162 / LBP162L / LBP161
形式	デスクトップ
カラー対応	白黒
書き込み解像度	600 × 600 dpi
階調	256 階調
使用可能な用紙	<p>用紙サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大：215.9 × 355.6 mm^{*1} 最小：76.2 × 127.0 mm^{*1} <p>用紙坪量</p> <ul style="list-style-type: none"> 給紙カセット：60～163 g/m² 手差しトレイ：60～163 g/m²
用紙種類	用紙について(P. 321)
ウォームアップタイム ^{*2}	<p>主電源立ち上げ時</p> <p>15.0 秒以下</p> <p>スリープモードからの立ち上げ時</p> <p>1.6 秒以下</p>
ファーストプリントタイム (A4)	約 5.2 秒
連続印刷速度 ^{*3} (A4 普通紙等倍)	28.0 枚/分
給紙方式／給紙容量 ^{*4}	<p>給紙カセット</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通紙 (60～80 g/m²)：250 枚 普通紙 (81～90 g/m²)：170 枚 厚紙 (91～105 g/m²)：170 枚

	<ul style="list-style-type: none"> ● 厚紙 (106 ~ 163 g/m²) : 100 枚 ● ボンド紙 : 100 枚 ● 再生紙 : 100 枚 ● ラベル用紙 : 100 枚 ● 封筒 : 10 枚 <p>手差しトレイ</p> <p>1 枚</p>
排紙方式／排紙容量 *4	<p>排紙トレイ</p> <p>100 枚 (68 g/m²)</p>
電源	AC 100 V、6.2A、50 Hz/60 Hz
消費電力 *2	<p>最大消費電力：</p> <p>1,030 W 以下</p> <p>スリープモード時</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 約 0.6 W (USB 接続) ● 約 0.6 W (有線 LAN 接続) ● 約 0.6 W (無線 LAN 接続) <p>電源スイッチ切断時</p> <p>0.5 W 以下</p>
<p>エネルギー消費効率</p> <p>(省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値)</p>	<p>LBP162：</p> <p>44 kWh/年 (区分名：プリンター C)</p> <p>LBP162L：</p> <p>45 kWh/年 (区分名：プリンター C)</p> <p>LBP161：</p> <p>43 kWh/年 (区分名：プリンター C)</p>
大きさ (幅×奥行×高さ)	371 × 404 × 225 mm
質量	<p>本体 *5</p> <p>約 7.0 Kg</p> <p>消耗品</p> <p>● 消耗品(P. 263)</p>
機械占有寸法 *6 (幅×奥行×高さ)	371 × 618 × 363 mm
メモリー容量	RAM : 256 MB

使用環境	温度：10℃～30℃ 湿度：20～80%（相対湿度・結露しないこと）
------	---------------------------------------

*1 手差しトレイを含む

*2 使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

*3 A4 片面等倍時。普通紙、同一データを連続印刷した場合の自社試験による速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向などによっては印刷速度が低下します。また連続印刷時に、プリンター本体の温度調整や画質調整などのため動作を休止もしくは遅くさせる場合があります。

*4 設置環境や使用する用紙によって異なることがあります。

*5 トナーカートリッジとドラムカートリッジを除く

*6 前カバー、後ろカバー、トナーカバーを開いたサイズ

用紙について

423Y-068

本機で使用できる用紙は以下のとおりです。

■ 使用可能な用紙サイズ

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ	給紙カセット	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*1}
A4	○	○	○
B5	○	○	×
A5 ^{*2}	○	○	×
A6 ^{*3}	○	○	×
リーガル	○	○	○
レター	○	○	○
ステートメント	○	○	×
エグゼクティブ	○	○	×
Oficio	○	○	○
Oficio (Brazil)	○	○	○
Oficio (Mexico)	○	○	○
Letter (Government)	○	○	×
Legal (Government)	○	○	×
Foolscap	○	○	○
Foolscap (Australia)	○	○	×
Legal (India)	○	○	○

用紙サイズ	給紙カセット	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*1}
F4A	○	○	○
はがき	○	○	×
往復はがき	○	○	×
4面はがき	○	○	×
封筒 長形 3号	○	○	×
封筒 洋形長 3号	○	○	×
ユーザー設定サイズ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	×

^{*1} 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*2} 横向きに用紙をセットした場合は、プリンタードライバーからのみ指定できます。

^{*3} プリンタードライバーからのみ使用できます。

^{*4} 76.2 × 127 mm ~ 215.9 × 355.6 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

■ 使用可能な用紙種類

本機は、非塩素用紙を使用できます。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙の種類		給紙カセット	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*1}
普通紙	71 ~ 89 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
普通紙 L	61 ~ 70 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
普通紙 L2	60 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
厚紙 1	90 ~ 105 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
厚紙 2	106 ~ 120 g/m ²	○	○	×
厚紙 3	121 ~ 163 g/m ²	○	○	×
厚紙 4 ^{*3}	121 ~ 163 g/m ²	○	○	×

用紙の種類		給紙カセット	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*1}
色紙	61 ~ 70 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
ボンド紙 1	60 ~ 104 g/m ²	○	○	○ ^{*2}
ボンド紙 2	105 ~ 163 g/m ²	○	○	×
再生紙		○	○	○ ^{*2}
ラベル用紙		○	○	×
はがき ^{*4}		○	○	×
封筒		○	○	×
封筒 H ^{*5}		○	○	×

^{*1} 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*2} 使用できる用紙サイズは A4、リーガル、レター、Oficio、Oficio (Brazil)、Oficio (Mexico)、Legal (India)、Foolscap、F4A です。

^{*3} 121 ~ 163 g/m² の用紙を <厚紙 3> の設定で使用したときに、トナーが十分に定着せずかすれる場合は、こちらの用紙種類を選んでください。

^{*4} インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

^{*5} 用紙種類を <封筒> に設定したときに、トナーが十分に定着せずかすれる場合は、こちらの用紙種類を選んでください。

プリント機能

423Y-069

■ CARPS2 プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	🔴用紙について(P. 321)
連続印刷速度	🔴本体(P. 318)
解像度	データ処理 1200 × 1200 dpi、600 × 600 dpi
ページ記述言語	CARPS2
対応プロトコル	🔴ネットワーク環境(P. 327)
内蔵フォント	なし
インターフェイス	USB USB 1.1 Full-Speed、USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠) 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

管理機能

423Y-06A

■ ファイアウォールを設定する場合

- 指定できる IP アドレス（IP アドレスの範囲）は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 4 です。
- 指定できる MAC アドレスは最大 10 です。

■ 鍵と証明書の登録について

- 鍵や CA 証明書をパソコンからインストールする場合は、次の条件を満たしているか確認してください。

形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 鍵：PKCS#12 ● CA 証明書：X.509 DER 形式/PEM 形式
ファイルの拡張子	<ul style="list-style-type: none"> ● 鍵：「.p12」、「.pfx」 ● CA 証明書：「.cer」
公開鍵のアルゴリズム (および鍵長)	RSA (512 ビット ^{*1} 、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット)、ECDSA (P256、P384、P521)
証明書の署名アルゴリズム	SHA1-RSA ^{*2} 、SHA256-RSA、SHA384-RSA ^{*3} 、SHA512-RSA ^{*3} 、MD5-RSA ^{*4} 、MD2-RSA ^{*4} 、SHA1-ECDSA ^{*2} 、SHA256-ECDSA、SHA384-ECDSA、SHA512-ECDSA

^{*1} 署名アルゴリズムが SHA-1 または SHA-256 の場合のみ使用できます。

^{*2} 鍵生成の鍵と証明書署名要求 (CSR) またはリモート UI からのインストール時のみ使用できます。

^{*3} 鍵のアルゴリズムが 1024 ビット以上の場合のみ使用できます。

^{*4} リモート UI からのインストール時のみ使用できます。



- 証明書失効リスト (CRL) には対応していません。

サポート環境

423Y-06C

リモート UI の使用環境 ^{*1}	<p>Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Windows Vista/7/8.1/10 ● Microsoft Internet Explorer 11 以降 ● Microsoft Edge <p>macOS</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Mac OS X 10.6 以降 ● Safari 3.2.1 以降 <p>iOS</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Safari <p>Android</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Chrome
ユーザーズガイドの使用環境	<p>Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorer 9 以降 ● Microsoft Edge ● Firefox ● Firefox ESR ● Chrome^{*2} <p>macOS</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Safari ● Firefox ● Chrome^{*2} <p>Linux</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Firefox <p>iOS</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Safari^{*2} <p>Android</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Chrome^{*2}

*1 ウェブブラウザの設定で Cookie と JavaScript を利用できるようにしておいてください。

*2 インターネット上のマニュアル閲覧時のみ

ネットワーク環境

423Y-06E

■ ネットワーク仕様（共通）

対応プロトコル	通信プロトコル TCP/IP（フレームタイプ：Ethernet II） 印刷プロトコル <ul style="list-style-type: none"> ● LPD ● RAW ● IPP ● IPPS ● WSD ● Mopria ● Google Cloud Print ● AirPrint ● Windows10 Mobile Print
---------	--

■ ネットワーク仕様（有線）

インターフェイス	10Base-T、100Base-TX（RJ-45）
----------	----------------------------

■ ネットワーク仕様（無線）

準拠規格	IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
伝送方式	IEEE 802.11b（変調方式：DS-SS） IEEE 802.11g（変調方式：OFDM 方式） IEEE 802.11n（変調方式：OFDM 方式）
周波数範囲	2.412 ～ 2.472 GHz
最大周波数電力	15.9 dBm
通信モード	<ul style="list-style-type: none"> ● インフラストラクチャーモード ● アクセスポイントモード
セキュリティ（暗号方式）	インフラストラクチャーモード時 <ul style="list-style-type: none"> ● 128（104）/64（40）bit WEP ● WPA-PSK（TKIP/AES-CCMP） ● WPA2-PSK（TKIP/AES-CCMP）

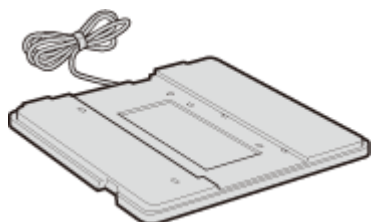
	アクセスポイントモード時 WPA2-PSK (AES-CCMP)
設定方法	らくらく無線スタート、AOSS、WPS (Wi-Fi Protected Setup)、手動設定

オプション機器について

423Y-06W

本機の機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション機器を用意しています。オプション機器は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

環境ヒーター EH-C



用紙の吸湿を低減させるためのヒーターです（本体とは別に電源が必要となります）。




取り付け方法



マニュアルの種類と内容

423Y-06F

本機では、次のマニュアルを提供しています。目的と用途に合わせてお使いください。

はじめにお読みください		はじめにこのマニュアルをお読みください。箱を開けて梱包材を取り外す作業から、本機を使用できる状態にするまでの設定を説明しています。 
ユーザーズガイド (本マニュアル)		ウェブブラウザを使って閲覧するマニュアルで、本機のすべての機能を説明しています。使用目的から調べたり、キーワードを入力して目的のページを検索したりできます。▶ ユーザーズガイドの使いかた(P. 331)

ユーザーズガイドの使いかた

423Y-06H

ユーザーズガイドはパソコンやモバイル機器で見るマニュアルで、本機のすべての機能が掲載されています。使用目的から調べることができ、キーワードを入力して目的のページをすばやく検索することもできます。ここでは、ユーザーズガイドの画面構成や読みかたについて説明します。また、ユーザーズガイドの表示を設定することもできます。

■ユーザーズガイドの画面構成

ユーザーズガイドを構成する画面や配置されているボタンなどの使いかたについて説明します。▶[ユーザーズガイドの画面構成\(P. 332\)](#)

■ユーザーズガイドの読みかた

ユーザーズガイドで使われているマークの意味や、操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンをどのように表記しているかなど、ユーザーズガイドをお読みになる上で知っておいていただきたいことについて説明します。▶[ユーザーズガイドの読みかた\(P. 335\)](#)

■ユーザーズガイドの表示を設定する

ユーザーズガイドの文字サイズを変更したり、ユーザーズガイドを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。



- PDF 形式のマニュアルを見るとき、Adobe Reader が使用できない場合は、Vivid Document Imaging Technologies 社製の PDF Preview などをお使いください。



探したい内容を見つける

もくじから探す

- 画面左に配置されている「もくじ」から項目を選ぶことで目的のページを探します。

検索して探す

- 「印刷設定」、「トナーカートリッジ」のようなキーワードを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から目的のページを探します。「ネットワークに接続」のような文章をキーワードとすることもできます。また、複数のキーワードをスペース（空白）で区切る AND 検索にも対応しています。検索画面の内容や操作方法については、▶[検索\(P. 333\)](#) を参照してください。

ユーザーズガイドの画面構成

423Y-06J

ユーザーズガイドはいくつかの画面に分かれていて、それぞれ内容が異なります。

トップページ

ユーザーズガイドを起動すると最初に表示されるページです。



をクリックすると、章の下にある項目もすべて表示されます。 をクリックすると元の表示に戻ります。



クリックすると、もくじと検索の表示を切り替えることができます。もくじ表示中に 、検索表示中に を連続してクリックすると、表示／非表示が切り替わります。



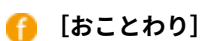
文字サイズやレイアウトなど、ユーザーズガイドの表示方法を設定できます。



ユーザーズガイドの見かたや検索のしかたなどが記載されています。



クリックすると、前後のページを表示します。



本機の使用にあたり、注意していただきたいことが記載されています。

本文ページ

機能の使いかたや設定方法が説明されています。



a ナビゲーション

どの章のどの項目を見ているのかを確認することができます。



クリックすると、該当するページにジャンプします。元に戻るときはウェブブラウザの [戻る] ボタンをクリックします。



▼ をクリックすると、隠れていた詳細説明が表示されます。▲ をクリックすると表示が閉じます。



現在表示しているページの先頭に戻ります。

検索

🔍 をクリックすると検索画面が表示されます。キーワード検索を利用して目的のページを探すときに使います。



a [キーワードを入力]

キーワードを入力して **Q** をクリックすると、検索結果が表示されます。複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページが検索できます。また、キーワードをダブルクォーテーションで囲むと完全に一致するページのみを検索できます。

b 検索結果

指定したキーワードを含むすべてのページが表示されますので、この中から目的のページを探し、項目名をクリックします。



- 指定したキーワードは、検索結果に太字で表示されます。

ユーザーズガイドの読みかた

423Y-06K

ユーザーズガイドで使われるマークやボタン、画面などについて説明します。なお、警告事項や注意事項については、本製品に同梱されている「はじめにお読みください」の「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。あわせてご確認ください。

マークについて

安全上のご注意、取り扱い上の制限／注意、知っておくと便利なこと、などにはマークがついています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



MEMO



操作の参考となることや補足説明が書かれています。

便利な機能



知っておくと便利な機能や、使いかたのヒントなどを記載しています。

キーについて

操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンなどを次のように表記しています。

種類	ユーザーズガイドでの表記例
操作パネル上のキー	 
操作パネル上のディスプレイ	<タイマー設定> <用紙がつまりました。>
パソコン画面上のボタンなど	[詳細設定]

▲ / ▼ / について

操作パネルの ▲ / ▼ /  は、設定などで目的の項目を選ぶときに使いますが、ユーザーズガイドでは記載を省略しています。▲ / ▼ で <XXXXX> を選び、 を押す操作をユーザーズガイドでは以下のように表記しています。

- 1 <XXXXX> を選ぶ

パソコンの画面について

お使いの機種や OS によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。また、ドライバーやソフトウェアはバージョンアップによって画面内容が変更されている場合があります。

イラストについて

トナーカートリッジのイラストは、Canon Toner Cartridge 051 のものを掲載しています。

Windows の基本操作

423Y-06R

- ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 337)
- ▶ [ネットワーク探索] を有効にする(P. 337)
- ▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 338)
- ▶ [ソフトウェア/マニュアルセットアップ] 画面の表示方法(P. 339)
- ▶ Windows のテストページの印刷方法(P. 339)
- ▶ プロセッサバージョンの確認方法(P. 340)
- ▶ プリンターポートの確認方法(P. 341)
- ▶ 双方向通信の確認方法(P. 342)
- ▶ パソコンが接続している SSID を確認する(P. 343)
- ▶ Windows ストアアプリから印刷するときは(P. 344)



- お使いのパソコンによっては操作が異なる場合があります。

■ プリンターフォルダーの表示方法

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。


Windows 10

[] ▶ [Windows システム ツール] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ハードウェアとサウンド] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をダブルクリックします。

Windows Server 2016

[] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ハードウェア] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

■ [ネットワーク探索] を有効にする

ネットワーク上のパソコンを確認するときは、[ネットワーク探索] を有効に設定してください。

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。


Windows 10

[

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選ぶ ▶ [ネットワークと共有センター] をダブルクリック ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows Server 2016

[

■ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法**1 エクスプローラーを表示する****Windows Vista/7/Server 2008**

[スタート] ▶ [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [エクスプローラ] を選びます。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

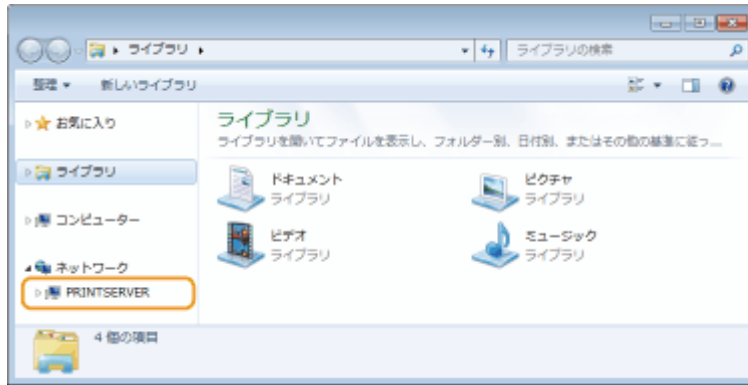
[スタート] を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 10/Server 2016

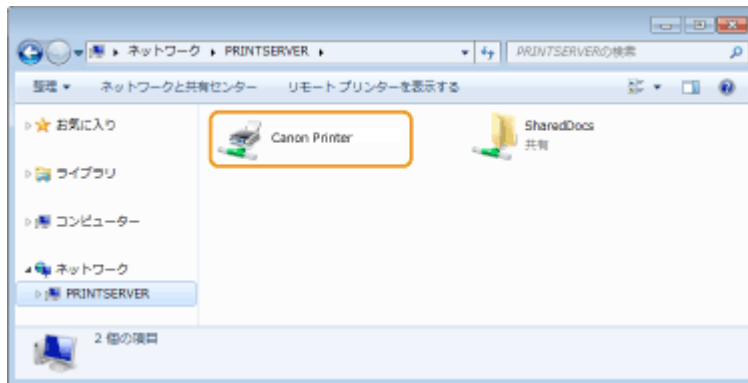
[

2 [ネットワーク] または [マイネットワーク] からプリントサーバーを選ぶ

- ネットワーク上のパソコンを確認するには、ネットワーク探索を有効にしたり、ネットワーク上でパソコンを検索したりする必要がある場合があります。



⇒ 共有プリンターが表示されます。



■ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法

CD-ROM/DVD-ROM をセットしても、[ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。ここでは CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] に「D:\MInst.exe」と入力 ▶ キーボードの [ENTER] キーを押します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 10

検索ボックスに「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

Windows Server 2016

[🔍] をクリック ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

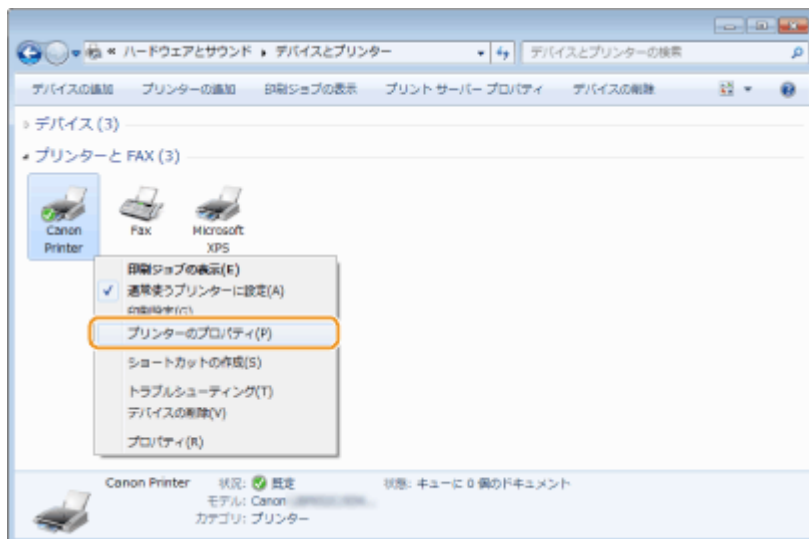
■ Windows のテストページの印刷方法

Windows のテストページを印刷して、プリンタードライバの動作を確認することができます。

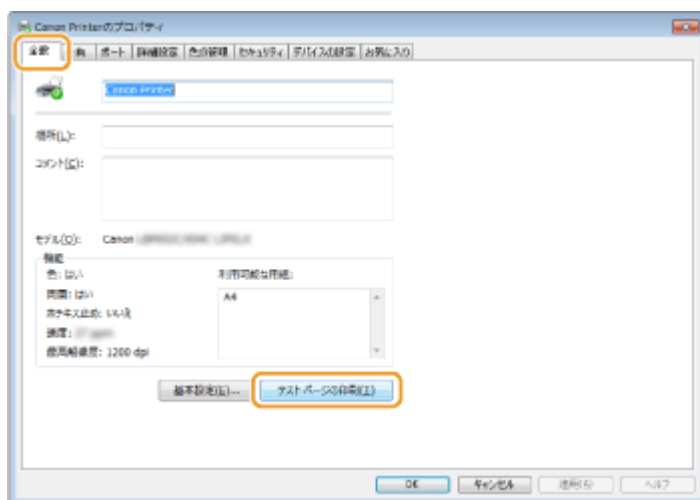
1 給紙カセットに、A4 サイズの用紙をセットする ▶ 給紙カセットにセットする(P. 98)

2 プリンターフォルダーを表示する ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 337)

3 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



4 [全般] タブで [テストページの印刷] をクリックする



▶▶▶ テストページが印刷されます。

■ プロセッサバージョンの確認方法

お使いの Windows が、32 ビット版か 64 ビット版かわからない場合は、次の手順で確認することができます。

1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10/Server 2016

手順 2 へ進んでください。

2 [システム] を表示する**Windows Vista/7/8/Server 2008 R2/Server 2012**

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows 10/Server 2016

[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [バージョン情報] を選びます。

Windows Server 2008

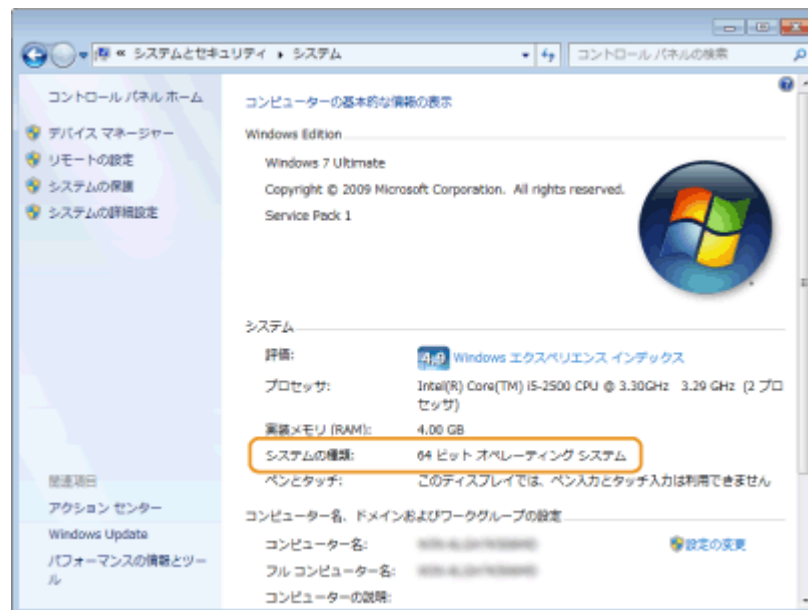
[システム] をダブルクリックします。

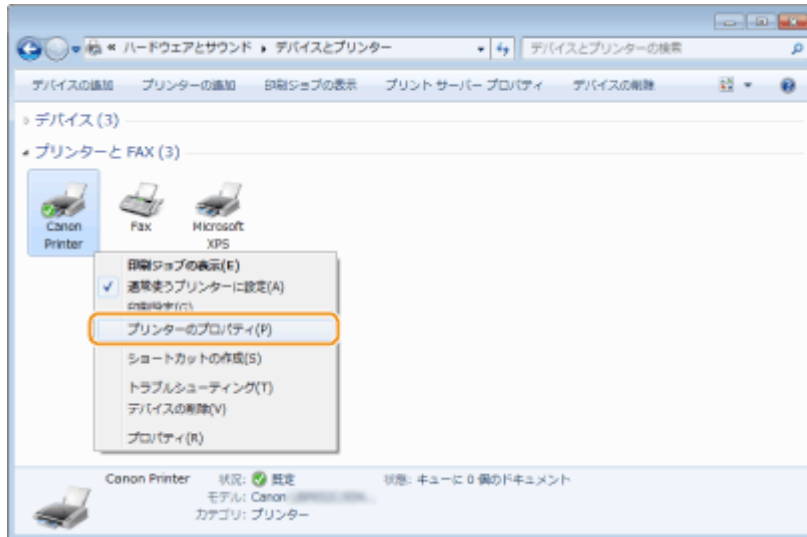
3 プロセッサバージョンを確認する**32 ビット版のとき**

[32 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

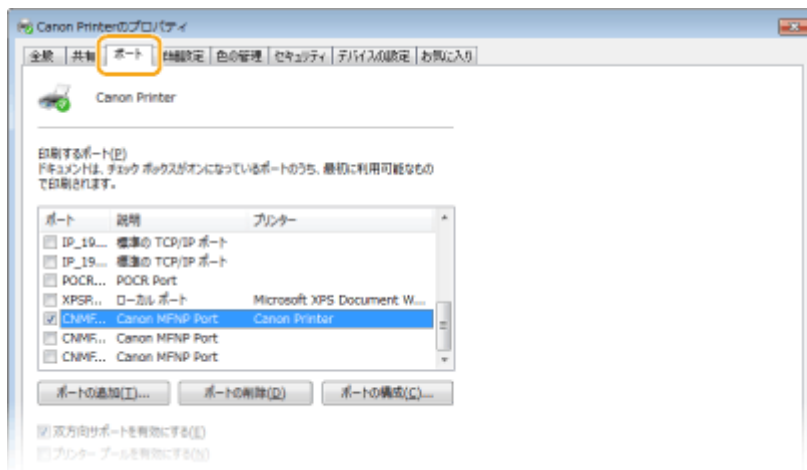
64 ビット版のとき

[64 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

**■ プリンターポートの確認方法****1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 337)****2 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする**



3 [ポート] タブでポートが正しく選択されていることを確認する



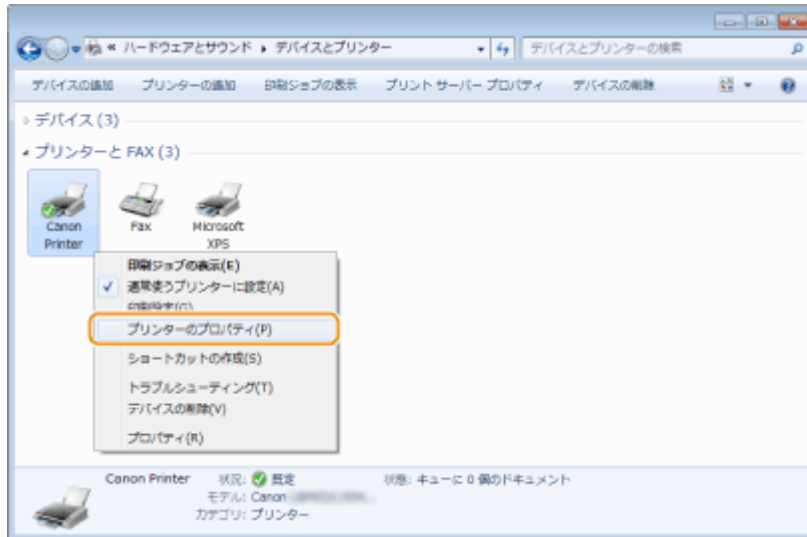
ネットワーク接続の場合に本機の IP アドレスを変更したとき

- 選択されているポートの [説明] が [Canon MFNP Port] の場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されますので、新しいポートを追加する必要はありません。[Standard TCP/IP Port] の場合は、新しいポートを追加する必要があります。▶印刷ポートの設定をする(P. 51)

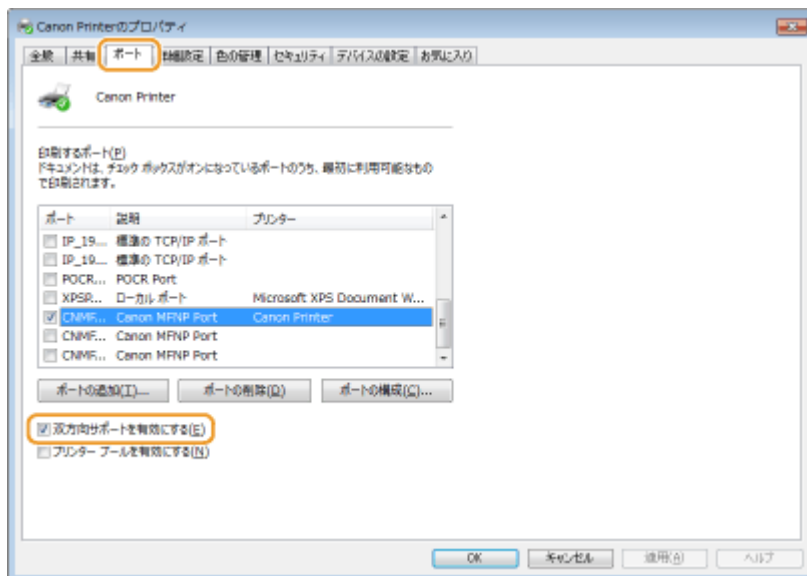
■ 双方向通信の確認方法

1 プリンターフォルダーを表示する ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 337)

2 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する



■ パソコンが接続している SSID を確認する

パソコンが無線 LAN でネットワークに接続されている場合、タスクトレイに表示されている 、、 または をクリックすると、接続している無線 LAN ルーターの SSID が表示されます。



■ Windows ストアアプリから印刷するときは

Server 2012

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows 10

Windows ストアアプリの [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。



- この方法で印刷した場合は、使用できる印刷設定は制限されます。
- 「印刷するには入力が必要です。デスクトップへ移動します。」というメッセージが表示されたときは、デスクトップに移動し、表示されているダイアログボックスに従って操作してください。メッセージは印刷時にユーザー名を確認するように設定しているときなどに表示されます。

メニュールートマップ

423Y-06S

本機の画面に表示される設定項目については、メニュールートマップ（PDF マニュアル）を参照してください。

[>> PDF メニュールートマップ](#)

おことわり

423Y-06U

■国際エネルギースタープログラムについて



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

■IPv6 Ready Logo について



本製品は、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得した IPv6 Protocol Stack を利用しています。

■高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

■物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。)

■免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

■商標について

Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X および Safari は、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

Google Cloud Print、Google Chrome、Android は、Google Inc.の登録商標または商標です。

「AOSS™」は株式会社バッファローの商標です。

らくらく無線スタートは NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

This product contains the Universal Font Scaling Technology or UFST® under license from Monotype Imaging, Inc. UFST® is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions. Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Ver_181220

■著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

■原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法

- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

■資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済みプリンターの受け入れ場所について

使用済みとなったプリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済みプリンターのリサイクルを推進しています。

使用済みのプリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みトナーカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。

使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

V_190107

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

別途固有のライセンス条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
bldimake	2
FreeType	3
snmp	8
Incl	11
JPEG	12
math	13
mDNSResponder	14
mDNSResponder (mDNSShared 部分)	18
OpenSSL	19
xpm	23

bldimake

Copyright (c) 1985, 1986, 1987, 1988 The Open Group

All right Reserved.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

FreeType

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

=====

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

=====

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package`, `FreeType Project`, and `FreeType archive` refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project`, be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and

documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- o Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also

encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues,
specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

--- end of FTL.TXT ---

snmp

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written

* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as

* the following conditions are aheared to. The following conditions

* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation

* included with this distribution is covered by the same copyright terms

* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in

* the code are not to be removed.

* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution

* as the author of the parts of the library used.

* This can be in the form of a textual message at program startup or

* in documentation (online or textual) provided with the package.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

* 1. Redistributions of source code must retain the copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

* documentation and/or other materials provided with the distribution.

* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software

* must display the following acknowledgement:

* "This product includes cryptographic software written by

* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library

* being used are not cryptographic related :-).

* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from

* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND

* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE

* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE

* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL

* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY

* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF

* SUCH DAMAGE.

*

* The licence and distribution terms for any publically available version or

* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be

* copied and put under another distribution licence

* [including the GNU Public Licence.]

*/

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University

Copyright 1989 TGV, Incorporated

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and TGV not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU AND TGV DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU OR TGV BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Incl

Copyright (c) 1994-96 SunSoft, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SUNSOFT INC. OR ITS PARENT COMPANY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of SunSoft, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from SunSoft, Inc.

JPEG

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group."

math

Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

copysignf.c:* Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

math_private.h:* Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

powf.c:* Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

scalbnf.c:* Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code

control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms

and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of

purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner] Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

mDNSResponder (mDNSShared 部分)

* Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice,

* this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,

* this list of conditions and the following disclaimer in the documentation

* and/or other materials provided with the distribution.

* 3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its

* contributors may be used to endorse or promote products derived from this

* software without specific prior written permission.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY

* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY

* DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND

* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT

* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS

* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*/

OpenSSL

OpenSSL License

```
/* =====  
* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.  
*  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
* modification, are permitted provided that the following conditions  
* are met:  
*  
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
*  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in  
* the documentation and/or other materials provided with the  
* distribution.  
*  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this  
* software must display the following acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"  
*  
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to  
* endorse or promote products derived from this software without  
* prior written permission. For written permission, please contact  
* openssl-core@openssl.org.  
*  
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"  
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written  
* permission of the OpenSSL Project.  
*  
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following  
* acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"  
*  
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
```

* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

*

* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

*/

Original SSLey License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written

* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as

* the following conditions are aheared to. The following conditions

* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation

* included with this distribution is covered by the same copyright terms

* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in

* the code are not to be removed.

* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution

* as the author of the parts of the library used.

* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

xpm

Copyright (c) 1989-95 GROUPE BULL

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL GROUPE BULL BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of GROUPE BULL shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from GROUPE BULL.